官報

昭和十一年十月十日
第二千九百三十四號　土曜日

省令

◉逓信省令第五十號

海事資源調査規則中左ノ通改正ス

昭和十一年十月十日

逓信大臣　頼母木桂吉

第二條　總噸數二十噸以上ノ汽船ノ所有者又ハ船長ハ左ノ各號ノ區別ニ從ヒ調査原票ヲ當該船舶ニ備附ケ其ノ記載事項ヲ常ニ船舶ノ現狀ニ對應シタルモノト爲シ置クヘシ

一　總噸數五百噸以上ノ汽船ニ付テハ第一號及第二號書式ニ依ル調査原票

二　總噸數二十噸以上五百噸未滿ノ汽船ニ付テハ第三號書式ニ依ル調査原票

第三條　總噸數二十噸以上ノ汽船ノ所有者又ハ船長ハ當該船舶ニ付船舶安全法ノ規定ニ依リ定期檢査又ハ中間檢査ヲ受ケントスルトキハ前條ニ依ル調査原票ノ寫二通ヲ報告書トシテ逓信大臣ニ提出スヘシ

第四條　總噸數百噸以上ノ汽船ノ所有者又ハ船長ハ當該船舶ニ付初メテ定期檢査ヲ受ケントスルトキハ總噸數五百噸以上ノ汽船ニ付テハ左ノ各號ノ船圖ヲ、總噸數百噸以上五百噸未滿ノ汽船ニ付テハ第一號ノ船圖ヲ前條ノ報告書各通ニ添附スヘシ

一　船體一般配置圖
(イ)　艤裝
(ロ)　夏期滿載吃水線ノ位置
(ハ)　各甲板及艙內ニ於ケル室、艙、庫等ノ配置
(ニ)　各甲板ニ於ケル諸設備ノ配置、揚貨機ノ力量竝動臂ノ力量及最大使用範圍

二　船體容積圖
(イ)　各甲板及艙內ニ於ケル貨物、燃料、食糧、水等ヲ搭載スル室、艙、庫等ノ位置及容積
(ロ)　室艙吃水及滿載吃水間ノ各吃水ニ於ケル載貨重量、排水重量、單位吃水差浮沈重量及單位縱傾斜力率ヲ示ス尺度(空船狀態ニ於テ積載シタルモノノ名稱及重量ヲ附記スヘシ)
(ハ)　滿載吃水線標示

三　船體部諸管配置圖
水管、油管、汽管、氣管及附屬喞筒ノ配置

四　機關一般配置圖
機關室內諸機關及附屬諸管ノ配置

五　電線裝置圖
發電機、電動機、配電盤、白熱電燈、電線等ノ配置

六　通信裝置圖
傳令機、回轉通信機、回轉方向指示機、舵角指示機、傳聲管、電話等ノ配置

七　通風裝置圖
電動、汽動及機動通風裝置竝自然通風器ノ配置

前項船圖中第二號(ロ)及(ハ)ニ付テハ二十五分ノ一以上、第四號ニ付テハ五十分ノ一以上、其ノ他ニ付テハ二百分ノ一以上ノ縮尺ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

外國ニ於テ製造シタル汽船ニ付第一項第五號乃至第七號ノ船圖ヲ作成スルコト困難ナルトキハ其ノ事由ヲ具シ之カ添附ヲ省略スルコトヲ得

第五條　第二條ノ調査原票ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ所有者又ハ船長ハ變更ヲ生シタル日ヨリ一月以內ニ其ノ事項ヲ記載シタル報告書二通ヲ逓信大臣ニ提出スヘシ前條第一項ノ規定ニ依リ提出シタル船圖ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

第二十二條　本令ノ規定ニ依リ逓信大臣ニ提出スヘキ報告書ニシテ第三條及第五條ニ依ルモノニ付テハ船舶安全法ノ規定ニ依リ檢査ヲ申請スヘキ管海官廳(第五條ノ場合ニ於テ變更事項ニ付檢査ヲ受ケサルトキハ最寄管海官廳ヲ經由スヘシ

前項ノ外逓信大臣ニ提出スヘキ報告書ニシテ第六條及第七條ニ依ルモノニ付テハ船舶ノ船籍港、第八條、第十條乃至第十二條、第十四條乃至第十六條及第二十條ニ依ルモノニ付テハ運送業者又ハ造船業者ノ住所又ハ主タル營業所ノ所在地、第十七條ニ依ルモノニ付テハ宿泊所ノ所在地、第十八條及第二十一條ニ依ルモノニ付テハ造船工場所在地、第十九條ニ依ルモノニ付テハ船舶ノ製造地ヲ管轄スル逓信局長ヲ經由スヘシ

附屬書式中第一號乃至第三號書式ヲ別記ノ通改ム

附　則

本令ハ昭和十一年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ提出シタル船圖ニシテ本令第四條第一項第一號乃至第四號ニ相當スルモノノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ所有者又ハ船長ハ本令第五條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スヘシ軍需調査令第十二條及第十三條ノ規定ニ依リ提出シタル船圖ニ付亦同シ

船舶ノ用途、船體、機關、設備、積載力等ニ付テノ報告及之カ變更ノ報告ニ付テハ船舶所有者當該船舶ニ付本令施行後最初ノ定期檢査又ハ中間檢査ヲ受クル迄ハ仍從前ノ規定ニ依ル

目次抄錄

◉省令　海事資源調査規則中改正　三〇一
◉告示　伊丹飛行場設置　三〇七
他　私立訓和高等女學校ヲ組合立ニ變更改稱其他　三〇七

重要輸出品檢査區域中追加其他　三〇八
國級支字補入逓信日附印　三一四
鋼線等制引逓賃其他　三一七
◉彙報　水路告示第四十號　三一九
九月三十日現在預金部狀況　三二六

昭和十一年第一回模範收穫高　三二六
◉在外公館報告　關印輸出入品相場關係　三二七
致國不慣切下決定　三二七
伊國關稅改正　三二七
伊國物價關係及輸出入制度變更　三二七

エジプト貨幣價切下ニ關スル件　三二七
◉廣告　商標登錄外國人ノ氏名ノ表示ニ關スル件　三二八
試驗公告　三二八
轉出移住案內　三二八
◉就任及辭令二(論功行賞)　七頁

官報　第二九三四號　昭和十一年十月十日　土曜日

本文

2934

(別記)

海事資源調査規則ニ依ル總噸數五百噸以上ノ汽船調査原票

第一號書式

新造|購入|變更 (1)

昭和 年 月 日現在

船名	汽船 丸 (振假名ヲ附スヘシ)	所有者ノ住所及氏名又ハ名稱					
		借入人ノ住所及氏名又ハ名稱					
船籍港		船舶番號		信號符字		排水量(常備吃水ニテ)	噸
總噸數	噸	純噸數	噸	最强速力	節	航海速力(½滿載狀態ニテ)	節
用途 (2)				資格	第 級船	航行區域	區域
使用航路 (3)							
製造年月日	進水 年 月 日	主汽罐 年 月 日		主機 年 月 日			
製造所名及其ノ所在地	船體	主汽罐		主機			
最近定期又ハ中間檢査終了シタル年月日	昭和 年 月 日	證書有效期間	自至 昭和 年 月 日	最近出渠シタル年月日	昭和 年 月 日		

船體	材料		構造種類 (5)		甲板層數 (6)		支水隔壁ノ數	
	尺度 (4)	長サ 米	二重底ノ位置及長サ (7)	米	上甲板舷墻ノ高サ	米	特殊構造 (8)	
		幅 米	船首形 (9)		船尾形 (10)		機關室ノ位置	
		深サ 米	船樓種類 (11)	樓	樓		樓	
	吃水 滿載	船首 米	船尾 米	平均 米	檣 名稱 / 下檣ノ材料 / 上甲板ヨリ檣頂迄ノ高サ		水線上部外板ノ塗色	
	吃水 空艙	米	米	米	前檣	米	甲板室外側ノ塗色	
	空艙ニテ航行スル爲ニ要スル脚荷ノ重量			噸	檣	米	煙突ノ數及塗色 (12)	
					檣	米		
	乾舷	(13)船ノ長サノ中央ニ於ケル甲板ノ上面ノ延長ト外板ノ外面トノ交點ヨリ乾舷甲板ヲ標示スル水平線ノ上緣ニ至ル垂直距離				粍	夏期乾舷	水平線ノ上緣ヨリ下方へ 粍

機關	主汽罐	種類 數 制限汽壓 瓩/平方糎	直徑及長サ 粍	總受熱面積 平方米	總火床面積 平方米
	補汽罐	種類 數 制限汽壓 瓩/平方糎	直徑及長サ 粍	總受熱面積 平方米	總火床面積 平方米
	汽機	種類 (14) 數 實(軸)馬力 最大 計畫	筒徑及行長 粍	回轉數 計畫	過熱蒸汽使用ノ有無
	發動機	種類 (15) 型式 (15) 數	軸馬力 最大 計畫	筒徑及行長 粍	回轉數 計畫
	推進器	材料 數 徑 粍	前進回轉方向(後方ヨリ見ルモノトス)	蒸化器ノ力量(1日ニ付)	養罐水 噸 蒸溜水 噸
	發電機	電壓 「ヴオルト」 容量 「キロワツト」 數		用途	
	電動機	容量 「キロワツト」 數		用途	
	燃炭罐ノ數	主汽罐 補汽罐	燃油罐ノ數 主汽罐 補汽罐	標準狀態ニ於ケル水容量合計 主汽罐 補汽罐 噸	重油噴油器 種類 數
	製氷機	種類 力量合計 「キロカロリー」		操舵機ノ數 手動 汽(電)動	
	冷藏用冷却器	種類 力量合計 「キロカロリー」		揚錨機ノ數 手動 汽(電)動	
	特殊用喞筒	油艙船給油喞筒一時間ノ供給量 噸		救助用喞筒一時間ノ排水量 噸	
	航海速力ニテ航行スル場合ニ於ケル一日ノ消費量	石炭ノ場合 石炭 噸	內部油 立	外部油 立	養罐水 噸
		重油ノ場合 重油 噸	內部油 立	外部油 立	
	過去一年間ニ於ケル燃料消費量	石炭 內國炭 外國炭 噸	罐用重油 內國油 外國油 噸	「ディーゼル」油 內國油 外國油 噸	

設備	無線電信機 方式	送信機 長波用	送信機 短波用	受信機 長波用	受信機 短波用	無線方位測定機	型式 數	無線電信執務時間 (16)
		出力 入力 數	出力 入力 數	何球式 數	何球式 數	探照燈	燭光 數	無線電信聽守時間 (16)
						白熱電燈ノ數		機動通風器備付ノ範圍

旅客室及豫備 名稱/事項	一等客室	二等客室	特別三等客室	三等客室	豫備船員室
室數					
床數 (17)					

公室 名稱/事項	長サ(米)	幅(米)	容積(立方米)	「ソーファ」數
(20)				(18)

船員室	「ソーファ」數 (18)					
	定員 (19)					
浴室ノ數	一等客用	二等客用	特三客用	三等客用	船員用	
便所ノ數	(21)大小	大小	大小	大小	大小	病室 床數

端艇	總數 總容積 立方米	救命艇 數 容積 (22) 立方米	普通艇 數 容積 (22) 立方米	救命機艇 數 容積 (22) 立方米
	普通機艇 數 容積 (22) 立方米	傳馬 數 容積 (22) 立方米	端艇鈎 組數	無線電信ノ設備アル端艇數
救命具	筏ノ定員	浮器ノ定員	胴衣ノ數	舷梯 幅 粍 數
冷藏庫容積	立方米	炊米具 種類 數	一回ニ炊キ得ル總量 瓩	一回ノ炊米ニ要スル時間 分
石炭庫容量	常用 噸	豫備 噸	燃料油庫容量 常用 噸	豫備 噸

備 二重底及水艙 名稱/事項	第一二重底	第二二重底	第三二重底	第四二重底	第	第	第	船首水艙	船尾水艙	深水艙	水槽
常用搭載物											(23)
容量	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸
兼用搭載物	(24)										

乘組員職別標準員數	船長	運轉士	機關長	機關士	事務長	事務員	無線通信員	船醫	甲板部員	機關部員	其ノ他

※管海官廳名 檢査官吏記名捺印		備考	

海事資源調査規則ニ依ル總噸數五百噸以上ノ汽船調査原票

第二號書式

昭和 年 月 日現在

船名	汽船 丸		
積 載貨重量	噸	載貨容積	內容積 外容積 立方米

揚貨裝置	名稱/事項	第一	第二	第三				
艙口	長サ及幅	米×米	米×米	米×米	米×米	米×米	米×米	米×米
艙口	所屬船艙	第 番艙	第 番艙	第 番艙	第 番艙	第 番艙	第 番艙	第 番艙
揚貨機	種類及數	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇
揚貨機	力量	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸
動臂	材料及數	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇
動臂	長サ	米	米	米	米	米	米	米
動臂	力量	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸

上甲板暴露部 位置/事項	甲板ノ材料	艙口ノ數	面積(平方米)	搭載シ得ル艀舟數
前部	(25)		(26)	(27)
中央部				
後部				

上甲板上船艙 船艙別/事項	甲板ノ材料	載貨門ノ數	通風管ノ數	舷窓ノ數	排水孔ノ數	直上甲板材料	甲板間ノ內高(米)	直上甲板艙口 長サ及幅(米)	直上甲板艙口 數	戶口 高サ及幅(米)	戶口 數	面積(平方米)	容積(立方米)
船首樓	(25)									(28)		(26)	(29)內 外
船橋樓													內 外
船尾樓													內 外

第二 船艙別/事項	甲板ノ材料	載貨門 長サ及高サ(米)	載貨門 數	通風管 徑(粍)	通風管 數	舷窓ノ數	排水孔ノ數	甲板間ノ內高(米)	上下艙口緣材間ノ內高(米)	直上甲板艙口 長サ及幅(米)	直上甲板艙口 數	長サ(米)	面積(平方米)	容積(立方米)
第一	(25)												(26)	(29)內 外
第二														內 外
第三														內 外

第2934号 本文

第2934号 本文

載	甲板船艙	第四													內　外
		第五													內　外
		第六													內　外
		第七													內　外
		計　(一)													內　外
	第三甲板船艙	第一													內　外
		第二													內　外
		第三													內　外
		第四													內　外
		第五													內　外
		第六													內　外
		第七													內　外
		計　(二)													內　外
	合計(一)+(二)														內　外

	事項＼艙別	船底內張ノ有無	通風管 徑 (粍)	通風管 數	直上甲板艙口 長サ及幅 (米)	直上甲板艙口 數	直上甲板下最小內高 (米)	長サ (米)	面積 (平方米)	容積 (立方米)	艙梁上ニ假甲板ヲ張リ得ル場合記入スヘキ事項	事項＼艙別	艙梁ヨリ直上甲板迄ノ內高 (米)	面積 (平方米)
艙內	第一	(30)							(26)	(29)內　外		第一		
	第二									內　外		第二		
	第三									內　外		第三		
	第四									內　外		第四		
	第五									內　外		第五		
	第六									內　外		第六		
力	第七									內　外		第七		
	計									內　外		計		

事項＼位置	上甲板暴露部	船首樓內	船橋樓內	船尾樓內	第二甲板	第三甲板	第四甲板	艙內	假甲板	合計
設置シ得ル寢棚數	(31)									
設置シ得ル馬欄數	(32)									

(第一號及第二號書式)　記載心得

(イ)一般記載心得　一、記入スヘキ事項ナキ欄ニハ斜線ヲ施スヘシ

二、不詳ノモノハ不詳ト記入スヘシ

三、數量ハ「アラビヤ」數字ヲ以テ記入スヘシ

四、米單位ノモノハ小數以下二位迄、以下四捨五入スヘシ

五、常設旅客室ノ部分ノ船艙ニ付テハ載貨門、直上甲板ノ艙口以外ノ事項ハ記入ヲ要セス

旅客室ヲ隨時ニ貨物艙ニ變更スル船舶ニ付テハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載シ且船艙欄ノ事項ヲ全部記入スヘシ

六、本紙ニ記入シ盡スコト能ハサルトキハ附箋シテ記入スヘシ

七、漁船ニ在リテハ「航行區域」欄ニ從業制限ヲ記入スヘシ

(ロ)對照符號ニ依ル記載心得

(1)新造、購入、變更　新造、購入又ハ變更ニ依リ初メテ備附クヘキ調査原票ニハ新造、購入又ハ變更ノ別ヲ明ニスヘシ

(2)用途　旅客船、貨客船、貨物船、油艙船、連絡船等ノ別ヲ記入スヘシ

(3)使用航路　航路名稱、發航地、寄港地、到達地又ハ主トシテ航行スル區域及定期船、不定期船ノ別ヲ記入スヘシ

(4)尺度　船舶國籍證書ニ依ルヘシ

船體　(5)構造種類　重構船、輕構船、全通船樓船、遮浪甲板船等ノ別ヲ記入スヘシ

(6)甲板層數　前部ト後部トニ於テ數ヲ異ニスル場合ハ之ヲ明カニシテ記入スヘシ

(7)二重底ノ位置及長サ　全通ノモノハ單ニ全通ト記入スヘシ

(8)特殊構造　「トランク」型船、碎氷船、淺吃水船等ヲ記入スヘシ

(9)船首形　垂直、傾斜、彎曲等ト記入スヘシ

(10)船尾形　普通形、巡洋艦形等ト記入スヘシ

(11)船樓種類　船首樓、船橋樓、船尾樓、船首樓ニ連續スル船橋樓、船尾樓、船首樓、船橋樓ニ連續スル船尾樓、船首樓、船橋樓ニ連續スル低船尾樓、船首樓、船橋樓、低船尾樓、船尾樓、船首樓、船橋樓、船首樓、船橋樓、低船尾樓等ノ如ク各船樓ノ種類竝配列ヲ記入スヘシ

(12)煙突ノ數及塗色　塗色ハ地色及標示ヲ記入スヘシ

(13)乾舷　船舶檢查證書ニ依ルヘシ

機關　(14)主汽機　種類　三聯成汽機、廢汽「タービン」附三聯成汽機、「タービン」汽機（「パーソンス」式 二段減速裝置附）等ノ如ク記入スヘシ

(15)主發動機　種類　燒球式發動機(2衝程單働2筒)、「ディーゼル」式發動機(2衝程複動8筒)等ノ如ク記入スヘシ

型式　無注水式、「ズルツアー」型空氣噴油式、「マン」型無氣噴油式等ノ如ク記入スヘシ

設備　(16)無線電信執務時間／無線電信聽守時間｝　無休、何時間、不定等ト記入スヘシ

(17)床數　客棚等ノ場合ハ其ノ段數及面積ヲ記入スヘシ

(18)「ソーファ」數　長サ1.80米幅0.60米以上ノモノヲ記入スヘシ

(19)定員　旅客定員ハ船舶檢查證書ニ依ルヘシ

(20)名稱　各等級別ニ食堂、談話室、喫煙室、讀書室等ヲ記入スヘシ

(21)便所ノ數　大便所、小便所ノ數ヲ記入スヘシ

(22)容積　端艇ニ表示シタルモノヲ記入スヘシ

(23)水槽　船體ト別體ノモノヲ記入スヘシ

(24)兼用搭載物　常用搭載物以外ノ物ヲ搭載シ得ル裝置アル場合其ノ搭載物ノ名稱ヲ記入スヘシ

積載力　(25)甲板ノ材料　鋼甲板ニ木甲板アルモノハ鋼及木ト記入スヘシ

(26)面積　艙口、室、揚貨機等ヲ除キタルモノヲ記入スヘシ

(27)搭載シ得ル艀舟ノ數　艀舟ノ長サ10.20米幅2.10米重量2瓲トシ之ヲ搭載シ得ル(艙口ヲ除ク)場合ニ記入スヘシ但シ端艇鈎及揚貨機ニハ無關係トス

(28)戸口　船樓ノ前後端壁ニアルモノヲ記入スヘシ

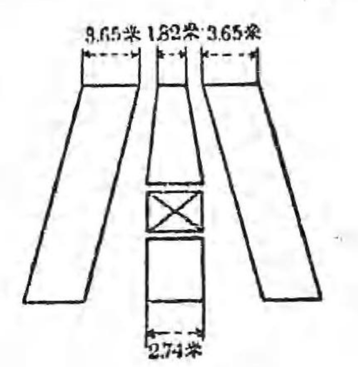
(29)容積　內容積及外容積ヲ記入スヘシ

(30)船底內張ノ有無　艙口直下等一部分ノミニ有ル場合ハ其ノ旨ヲ併セ記入スヘシ

(31)設置シ得ル寢棚數　寢棚數ハ兵員ノミヲ搭載スル場合ヲ假定シテ算定スヘシ

(一)寢棚ハ3.34平方米ヲ一箇トシテ計算スヘシ

(二)寢棚ハ其ノ短邊ヲ1.82米、2.74米又ハ3.65米トシ右圖ノ例ニ依リ配置スルモノトス



(三)甲板間ノ高サ1.82米以上ナルトキハ寢棚ハ二段ニ設クルモノトシテ計算スヘシ

(四)寢棚ヲ二列以上ニ設クルトキハ各列間ニ0.73米以上ノ通路ヲ要ス

(32)設置シ得ル馬欄數　馬欄數ハ馬匹ノミヲ搭載スル場合ヲ假定シテ算定スヘシ　此ノ場合ニ於テハ寢棚數ヲ算定シタル室ニ付テモ重複シテ算定スヘシ

(一)馬欄ハ長サ2.43米幅0.91米ヲ一箇トシテ計算スヘシ

(二)第二甲板、第三甲板又ハ艙內ニ馬欄ヲ設置スルニハ甲板間ノ高サ2.13米以上ナルコトヲ要ス

(三)馬欄ハ縱軸ニ直角ニ設置シ二列ナルトキハ中央ニ幅1.21米以上ノ通路ヲ剩シテ馬首ヲ相對セシメ三列ナルトキハ二列ハ馬首ヲ以テ相對セシメ其ノ中央ニ幅1.21米以上ノ通路ヲ中央ノ馬欄ノ後端(馬尾ノ方)ト舷側ノ馬欄トノ間ニ幅0.91米以上ノ通路ヲ剩シ四列ナルトキハ各二列ノ馬欄ヲ馬首ヲ以テ相對セシメ其ノ各ノ馬首相對スル馬欄ノ中央ニ幅1.21米以上ノ通路ヲ剩スモノトス此ノ場合ニ於テ馬尾相接スル中央二列ノ馬欄間ニハ通路ヲ要セス

(四)第二甲板以下ニ馬匹ヲ搭載スルニハ艙口ノ長サ幅共2.43米以上ナルコトヲ要ス

※本欄ノ記載ハ取扱管海官廳ニ於テ行フモノトス

第三號書式

海事資源調査規則ニ依ル總噸數二十噸以上五百噸未滿ノ汽船調査原票

新造｜購入｜變更 (1)
昭和　年　月　日現在

船名	汽船　丸 (振假名ヲ附スヘシ)	所有者ノ住所及氏名又ハ名稱									
		借入人ノ住所及氏名又ハ名稱									
船籍港		船舶番號		信號符字		資格	第　級船				
總噸數	噸	純噸數	噸	最强速力	節	航海速力(1/2載貨狀態ニテ)	節				
航行區域		用途	(旅客船、貨物船、曳船等又漁船ニ在リテハ業務ノ種類)								
使用航路	(航路名稱、發航地、寄港地及到達地又ハ主トシテ航行スル區域)										
製造年月日	進水　年　月　日	主汽罐　年　月　日	主機	年　月　日							
製造所名及其ノ所在地	船體	主汽罐	主機								
最近定期又ハ中間檢査終了シタル年月日	昭和　年　月　日	證書有效期間 自至	昭和　年　月　日	最近出渠シタル年月日	昭和　年　月　日						
船體	材料		構造種類(2)		甲板層數		支水隔壁ノ數				
	尺度(3)	長サ　米	幅　米	深サ　米	吃水	滿載	船首　米	船尾　米	平均　米		
	單底二重底ノ別	一部二重底ノモノハ其ノ長サ　米	檣ノ高サ(4)	前檣　米	正檣　米	空艙	船首　米	船尾　米	平均　米		
機關	主汽罐	種類	數	制限汽壓　瓩/平方糎	直徑及長サ　粍	總受熱面積　平方米	總火床面積　平方米				
	汽機	種類	數	實(軸)馬力 最大 計畫	回轉數 計畫	筒徑及行長　粍					
	發動機	種類	型式	數	軸馬力 最大 計畫	回轉數 計畫	筒徑及行長　粍				
	推進器	材料	種類	數	發電機	電壓「ヴオルト」容量「キロワツト」數	操舵機ノ數	汽(電)動 手動			
	航海速力ニテ航行スル場合ニ於ケル一日ノ消費量	石炭　瓲	重油　瓲	輕油　瓲	養罐水　瓲						
	過去一年間ニ於ケル燃料消費量	石炭　瓲	重油　瓲	輕油　瓲							
設備	無線電信機	方式	送信機 長波用 出力	入力	數	送信機 短波用 出力	入力	數	受信機 長波用 何球式	數	受信機 短波用 何球式 / 數
	無線方位測定機	型式	數								
	旅客定員	一等	二等	三等	冷藏庫容積　立方米	端艇鈎ノ組數					
	端艇	救命艇　數　容積(5)　立方米	普通艇　數　容積(5)　立方米	傳馬　數　容積(5)　立方米	總數	總容積　立方米					
	石炭庫容量　瓲	燃料油庫容量　瓲	養罐水貯藏量　瓲	飲用水貯藏量　瓲							
乘組員職務別標準員數	船長	運轉士	機關長	機關士	事務長	事務員	無線通信員	船醫	甲板部員	機關部員	其ノ他
積載力	載貨重量　瓲	載貨容積	內容積(7)	外容積(8)　立方米	載貨門ノ數						
	船艙	事項＼名稱	(6)				揚貨裝置	裝置アル艙口	數		
		艙內容積	(7)內　外　立方米	內　外　立方米	內　外　立方米	內　外　立方米		揚貨機	種類　汽(電)動　數		
		甲板間容積	內　外　立方米	內　外　立方米	內　外　立方米	內　外　立方米		力量及材料	瓲		
	艙	附屬艙口	長サ×幅　米	長サ×幅　米	長サ×幅　米	長サ×幅　米		動臂	長サ　米　數		
※管海官廳名 檢査官吏記名捺印		備考									

記載心得

(イ)一般記載心得
一、記入スヘキ事項ナキ欄ニハ斜線ヲ施スヘシ
二、不詳ノモノハ不詳ト記入スヘシ
三、數量ハ「アラビヤ」數字ヲ以テ記入スヘシ
四、米單位ノモノハ小數以下二位迄、以下四捨五入スヘシ
五、常設旅客室ノ部分ノ船艙ノ積載力ニ付テハ附屬艙口以外ノ事項ハ記入ヲ要セス

六、本紙ニ記入シ盡スコト能ハサルトキハ附箋シテ記入スヘシ
七、漁船ニ在リテハ「航行區域」欄ニ從業制限ヲ記入スヘシ

(ロ)對照符號ニ依ル記載心得
(1)新造、購入又ハ變更ニ依リ初メテ備附クヘキ調査原票ニハ新造、購入又ハ變更ノ別ヲ明ニスヘシ
(2)鋼船ニ在リテハ重構船、輕構船、全通船樓船、遮浪甲板船、木船ニ在リテハ重甲板船、輕甲板船ノ別ヲ記入スヘシ
(3)船舶國籍證書ニ依ルヘシ
(4)上甲板ヨリ檣頂ニ至ル高サヲ記入スヘシ
(5)端艇ニ表示スルモノニ依ルヘシ
(6)第一、第二、第三等又ハ前艙、後艙等ト記入スヘシ
(7)內トアルハ內容積、外トアルハ外容積トス內容積ハ肋骨又ハ船側內張ノ內面及梁ノ下面迄ヲ測リ外容積ハ鋼船ノ艙側ニ內張ヲ張詰メサル箇所ニ限リ肋骨ノ外面及梁ノ上面迄測リ之ヲ記入スヘシ
(8)外容積ハ外容積ヲ測リタル船艙ニ付テハ外容積ヲトリ其ノ他ノ船艙ニ付テハ內容積ヲトリ之等ヲ合計シタルモノヲ記入スヘシ
※本欄ノ記載ハ取扱管海官廳ニ於テ行フモノトス

〔參照〕

昭和四年十一月二十七日　遞信省令　第四十八號　海事資源調査規則抄錄

第二條　總噸數五百噸以上ノ汽船ノ所有者ハ第一號及第二號書式ニ依リ船舶ノ用途、船體、機關、設備及積載力等ニ付每年十二月末日ノ狀況ニ基キ報告書各二通ヲ作成シ翌年二月末日迄ニ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第三條　總噸數二十噸以上五百噸未滿ノ汽船ノ所有者ハ第三號書式ニ依リ船舶ノ用途、船體、機關、設備及積載力等ニ付每年十二月末日ノ狀況ニ基キ報告書二通ヲ作成シ翌年二月末日迄ニ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

第四條　新造、購入其ノ他ノ事由ニ依リ新ニ日本ノ國籍ヲ取得シタル總噸數二十噸以上ノ汽船ノ所有者ハ國籍取得ノ際ノ狀況ニ基キ夫々前二條ニ規定セル報告書ヲ作成シ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

前項ノ報告書各通ニハ總噸數五百噸以上ノ汽船ニ付テハ左ノ各號ノ船圖、又總噸數百噸以上五百噸未滿ノ汽船ニ付テハ第一號ノ船圖ヲ添附スヘシ

一　船體一般配置圖
(イ)側面
(ロ)夏季滿載吃水線ノ位置
(ハ)各甲板及艙內ニ於ケル客室、艙、庫等ノ配置
(ニ)各甲板ニ於ケル諸設備ノ配置、揚貨機ノ力量及動臂ノ力量竝最大使用範圍

二　船艙及容積圖
(イ)各甲板及艙內ニ於ケル貨物、燃料、食糧及水等ヲ搭載スル室、艙、庫等ノ位置及容積
(ロ)空艙吃水及滿載吃水間ノ各吃水ニ於ケル載貨重量、排水重量、單位吃水差排水重量、單位縱傾斜力率ヲ示ス尺度(空艙狀態ニ於テ積載セルモノノ名稱及重量ヲ附記スヘシ)
(ハ)滿載吃水線標示

三　船體部諸管配置圖
水管、油管、氣管及附屬喞筒ノ配置

四　機關一般配置圖
機關室內諸機關及附屬諸管ノ配置

五　電氣裝置圖
發電機、電動機、配電盤、白熱電燈、電線等ノ配置

六　通信裝置圖
傳令機、回轉通信機、回轉方向指示機、舵角指示機、傳聲管、電話等ノ配置

七　通風裝置圖
電動及汽動通風裝置及自然通風器ノ配置

前項船圖中第二號(ロ)及(ハ)ニ付テハ二十五分ノ一以上、第四號ニ付テハ五十分ノ一以上其ノ他ニ付テハ二百分ノ一以上ノ縮尺ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

外國ニ於テ製造シタル汽船ニシテ第二項第五號乃至第七號ノ船圖ヲ作成スルコト困難ナルトキハ其ノ事由ヲ具シ之カ添附ヲ省略スルコトヲ得

第一項ノ國籍取得カ七月一日以後ニ係ルトキハ前二條ノ規定ニ依リ其ノ年十二月末日現在ニテ作成スヘキ報告書ハ之ヲ提出スルコトヲ要セス

第五條　前三條ノ規定ニ依リ提出セル報告書ノ記載事項ニ著シキ變更ヲ生シタルトキハ所有者ハ遲滯ナク其ノ事項ヲ記載シタル報告書二通ヲ作成シ之ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ前條第二項ノ規定ニ依リ提出セル船圖ノ記載事項ニ著シキ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

第二十二條　本令ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ提出スヘキ報告書夫々第二條乃至第七條ニ依ルモノニ付テハ船舶ノ船籍港、第八條、第十條乃至第十二條、第十四條乃至第十六條ノ二及第二十條ニ依ルモノニ付テハ運送業者又ハ造船業者ノ住所又ハ主タル營業所ノ所在地、第十七條ニ依ルモノニ付テハ宿泊所ノ所在地、第十八條及第二十一條ニ依ルモノニ付テハ造船工場所在地又第十九條ニ依ルモノニ付テハ船舶ノ製造地ヲ管轄スル遞信局長ヲ經由スヘシ

告示

◎大藏省告示第二百九十九號

大阪稅務監督局管內伊丹稅務署ヲ昭和十一年十月十日兵庫縣川邊郡伊丹町伊丹字中ノ町四百六番地ニ移轉ス

昭和十一年十月十日　大藏大臣　馬場鍈一

◎大藏省告示第三百號

私設保稅工場ニ於ケル作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類追加方ノ件左ノ通許可アリタリ

昭和十一年十月十日　大藏大臣　馬場鍈一

一、保稅工場ノ位置、名稱及許可年月日　名古屋市南區磯端町一丁目一番地　日本配合飼料株式會社私設保稅工場　昭和十一年九月二十一日

一、追加スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　豌豆
(ロ)內國貨物　豌豆屑

◎大藏省告示第三百一號

製造煙草定價左ノ通相定ム

昭和十一年十月十日　大藏大臣　馬場鍈一

種類	名稱	裝置區分	定價(一箇當)
專賣局製造兩切紙卷煙草	チエリー(細卷)	五十本繒入	四五錢

◎大藏省告示第三百二號

外國爲替管理法ニ基ク命令ノ件第十七條第二項ニ基キ株式會社臺灣銀行ヨリ昭和十一年十月一日以後左記店舖ニ於テ外國爲替業務ヲ營ムベキ旨屆出アリタリ

昭和十一年十月十日　大藏大臣　馬場鍈一

株式會社臺灣銀行大連出張所

◎文部省告示第三百三十八號

千葉縣長生郡茂原町ニ設置セル私立靜和高等女學校ヲ昭和十一年十月ヨリ長生郡靜和高等女學校町村組合立ニ變更シ千葉縣靜和高等女學校ト改稱ノ件昭和十一年十月一日認可セリ

昭和十一年十月十日　文部大臣　平生釟三郎

◎文部省告示第三百三十九號

兵庫縣津名郡志筑町ニ設置セル兵庫縣志筑實科高等女學校ヲ昭和十二年四月ヨリ高等女學校ニ變更シ兵庫縣志筑高等女學校ト改稱ノ件昭和十一年十月八日認可セリ

昭和十一年十月十日　文部大臣　平生釟三郎

第2934号 本文

◉商工省告示第八十三號

重要輸出品取締法施行規則第九條第二項ノ規定ニ依リ重要輸出品檢査標準左ノ通定メ昭和十一年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年十月十日　商工大臣　小川鄉太郎

重要輸出品檢査標準

左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ合格ト爲スコトヲ得ズ

製帽用眞田

麻眞田

一　不良ナル麻又ハ著シク品位ヲ異ニスル麻ヲ使用シタルモノ
二　瑕疵、汚染又ハ變色著シキモノ
三　編方著シク粗笨又ハ不齊ナルモノ
四　繼合不良ナルモノ、一反中六箇所以上假繼アルモノ又ハ三碼以內ニ二箇所以上ノ假繼アルモノ
五　一反ノ長左ノ寸法ニ滿タザルモノ但シ特別ノ事由アルモノハ此ノ限ニ在ラズ
　ペダリン眞田　七二碼
　其ノ他ノ眞田　八〇碼
六　幅著シク不同ナルモノ又ハ商習慣ニ合致セザルモノ
七　編成後引伸シタルモノ
八　乾燥不十分ナルモノ
九　腐朽シタルモノ又ハ脆弱トナリタルモノ
十　色澤不良又ハ不均等ナルモノ
十一　仕立商習慣ニ合致セザルモノ
十二　ペダリン眞田ニシテビスコースペーパーノ質不良ナルモノ又ハ其ノ卷方不齊ナルモノ
十三　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

麥稈眞田及經木眞田

一　不良ナル材料又ハ著シク品位ヲ異ニスル材料ヲ使用シタルモノ
二　瑕疵、汚染又ハ變色著シキモノ
三　編方著シク粗笨又ハ不齊ナルモノ
四　切斷又ハ假繼アルモノ
五　幅著シク不同ナルモノ
六　編成後引伸シタルモノ
七　乾燥不十分ナルモノ
八　腐朽シタルモノ又ハ脆弱トナリタルモノ
九　色澤不良又ハ不均等ナルモノ
十　漂白不良ナルモノ
十一　仕上不良ナルモノ
十二　仕立商習慣ニ合致セザルモノ
十三　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

燐寸

一　頭藥又ハ軸木ノ乾燥不十分ナルモノ
二　頭藥離脫又ハ破碎シ易キモノ
三　頭藥ノ發火又ハ燃燒不良ナルモノ
四　火登不良ナルモノ
五　燃燒ノ際著シク煤煙ヲ發スルモノ
六　發火ノ際爆發シ又ハ火滓ヲ飛散スルモノ
七　水蒸氣ヲ飽和シタル攝氏四〇度乃至四一度ノ空氣中ニ硫黃燐寸ニ在リテハ六時間、其ノ他ノ燐寸ニ在リテハ三時間放置シタル後完全ニ燃燒シ得ザルモノ
八　硫黃燐寸ノ頭藥ニシテ攝氏七五度ノ空氣中ニ放置シタルトキ一時間以內ニ自然發火ヲ爲スモノ
九　摩擦藥ニシテ頭藥ニ適合セザルモノ、塗布薄キニ過グルモノ又ハ容易ニ剝離スルモノ
十　軸木ニシテ太一・五粍角未滿ノモノ又ハ折レ易キモノ
十一　一箱中頭藥ノ附著量不十分ナル軸木、頭藥ノ爲接著シタル軸木及折軸ノ總數五パーセント以上混入シタルモノ
十二　一箱中ノ軸木著シク不揃ナルモノ
十三　小箱ニシテ剝離、損傷セルモノ又ハ抽斗ノ容易ニ脫出スルモノ
十四　小箱生地ノ厚一〇〇枚ニ付硫化燐燐寸ニ在リテハ外箱三九・四粍未滿、抽斗三〇・三粍未滿、其ノ他ノ燐寸ニ在リテハ外箱五四・五粍未滿、抽斗三六・四粍未滿ノモノ
十五　軸木ノ詰方亂雜ナルモノ又ハ其ノ容數不適當ナルモノ
十六　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

硝子製品

光珠

一　形體不整ナルモノ又ハ紐孔中心ヲ外レタルモノ
二　瑕疵著シキモノ
三　色澤不良ナルモノ
四　質不良ナルモノ
五　容易ニ褪色又ハ變色スル虞アルモノ
六　銀引又ハ裏止不良ナルモノ
七　一連中ニ於ケル珠ノ配列不整ナルモノ
八　珠ノ大又ハ數表示ノモノニ比シ著シク差異アルモノ
九　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

腕環

一　形體不整ナルモノ
二　損傷アルモノ又ハ氣泡、不熔解物其ノ他ノ瑕疵著シキモノ
三　色澤不良ナルモノ
四　太不均等ナルモノ
五　條ノ外周輪ノ內徑四・四五糎以下ノモノニ在リテハ七・九粍以下、輪ノ內徑四・四五糎ヲ超ユルモノニ在リテハ九・四粍以下ノモノ但シ細條ノモノニシテ其ノ旨ヲ表示シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
六　質不良ナルモノ
七　上掛ケ其ノ他透明ヲ要スル部分ノ硝子ニシテ著シク不透明ナルモノ又ハ曇アルモノ
八　銀引不良ナルモノ
九　型附不鮮明又ハ不齊ナルモノ
十　繼方不良ナルモノ
十一　繼目ヲ通ル直徑線ト直角ナル直徑線ニ沿ヒテ輪ヲ牽引シ之ヲ破碎スルニ要スル力一・五瓩以下ノモノ但シ細條ノモノニシテ其ノ旨ヲ表示シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
十二　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

光珠及腕環以外ノ硝子製品

一　形體不整ナルモノ
二　損傷アルモノ又ハ氣泡、不熔解物其ノ他ノ瑕疵著シキモノ
三　透明ナルベキ生地ニシテ著シク不透明ナルモノ又ハ曇アルモノ
四　質不良ナルモノ
五　燒鈍不十分ナルモノ
六　仕上不良ナルモノ
七　鑛泉壜ニシテ耐壓力一平方糎ニ付三・一六瓩未滿ノモノ
八　曹達壜又ハラムネ壜ニシテ耐壓力一平方糎ニ付七・〇三瓩未滿ノモノ
九　コップ又ハ壜ニシテ攝氏四〇度ノ溫度差ニ耐ヘザルモノ
十　模造眞珠ニシテ珠不揃ナルモノ
十一　模造眞珠ニシテ容易ニ褪色又ハ變色スル虞アルモノ
十二　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

琺瑯鐵器

一　形體不整ナルモノ
二　罅、剝離、色斑其ノ他ノ缺點著シキモノ
三　色澤不鮮明ナルモノ

四　組合物ニシテ色澤ニ著シク差異アルモノ
五　鐵生地ノ厚製品ノ大ニ比シ薄キニ過グルモノ
六　鐵生地ニシテ龜裂其ノ他ノ瑕疵アルモノ
七　胴、底其ノ他ノ主要部分ヲ接合シタルモノニシテ其ノ旨ヲ表示セザルモノ
八　上引琺瑯薄キニ過グルモノ
九　緣取又ハ繪附不良ナルモノ
十　直徑三・六糎、重量一九〇瓦ノ鐵球ヲ三〇糎ノ高ヨリ落下セシムルトキ其ノ衝擊面ノ上引琺瑯剝落スルモノ
十一　前號ノ鐵球ヲ四五糎ノ高ヨリ落下セシムルトキ其ノ衝擊面ノ琺瑯全ク剝落スルモノ
十二　煮沸ニ使用スルモノニシテ攝氏二〇〇度ニ熱シタル爐中ニ三〇分間放置シタル後水中ニ於テ攝氏二〇度ニ急冷シタルトキ龜裂ヲ生ズルモノ
十三　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

莫大小製品

一　形體不整ナルモノ
二　生地ノ原絲不良ナルモノ
三　生地著シク粗笨ナルモノ又ハ不當ニ引延シタルモノ
四　生地ノ厚不均等ナルモノ
五　商習慣ニ合致セザル寸法ニ仕立テタルモノ但シ特別ノ事由アルモノニシテ豫メ檢査機關ノ承認ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
六　生地ニ人造絹絲ヲ使用シ其ノ旨明示セザルモノ
七　組合物ニシテ品位、形狀又ハ大著シク不同ナルモノ
八　縫合其ノ他ノ加工粗雜ナルモノ又ハ不完全ナルモノ
九　伸縮ヲ要スル箇所ニシテ生地ノ伸度ニ副ハザル縫合ヲ爲シタルモノ
十　縫絲ニシテ絹絲ニ在リテハ單絲、其ノ他ノ絲ニ在リテハ單絲又ハ双絲ヲ使用シタルモノ
十一　伸縮ヲ要スル箇所ノ綿縫絲ニシテ薄地ノモノニ在リテハ八〇番ヨリ、其ノ他ノモノニ在リテハ四二番ヨリ細キモノヲ使用シタルモノ
十二　縫合ノ送リ一吋ニ付肌衣ニ在リテハ一〇針未滿、手袋ニ在リテハ一五針未滿、靴下ニ在リテハ一二針未滿ノモノ
十三　精練、漂白其ノ他ノ整理不良ナルモノ
十四　染色、起毛其ノ他ノ加工不良ナルモノ
十五　染色加工品ニシテ容易ニ變色又ハ褪色スル虞アルモノ
十六　瑕疵、汚染其ノ他ノ缺點著シキモノ
十七　鈕釦、ホック、ファスナー其ノ他ノ附屬品不適當ナルモノ又ハ其ノ取附不良ナルモノ
十八　鈕釦ノ取附ニ人造絹絲ヲ使用シタルモノ又ハ二〇番三合絲ヨリ細キ綿絲ヲ使用シタルモノ
十九　鈕釦附ニ絲尻ノ兩端ヲ結合セザルモノ(機械附ノモノヲ除ク)
二十　穴縫ノ兩留四回未滿ノモノ
二十一　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

刷子

一　形體不整ナルモノ
二　瑕疵、汚染其ノ他ノ缺點著シキモノ
三　毛刈不良ナルモノ
四　折レ易キ毛ヲ使用シタルモノ
五　獸毛ニシテ漂白又ハ洗滌不十分ナルモノ
六　齒刷子ニシテ獸毛以外ノ毛ヲ使用シタルモノ
七　木柄ニシテ乾燥不十分ナルモノ
八　毛植ニ綿三合絲、麻双絲又ハ絹双絲以外ノ絲ヲ使用シタルモノ
九　手植ノ刷子ニシテ毛植ニ鐵線、三〇番ヨリ細キ綿三合絲若ハ麻双絲又ハ直徑〇・一八粍未滿ノ針金ヲ使用シタルモノ
十　機械植ノ齒刷子ニシテ毛植ニ厚〇・一五粍未滿ノ金屬製平線ヲ使用シタルモノ
十一　機械植ノ木柄又ハセルロイド柄ノ刷子ニシテ毛植ニ厚〇・一八粍未滿ノ金屬製平線又ハ直徑〇・四一粍未滿ノ金屬製丸線ヲ使用シタルモノ
十二　齒刷子柄ニシテ植毛部又ハ頸部ノ厚左ノ寸法ニ該當セザルモノ
　骨製　二・八粍以上
　セルロイド製　三・〇粍以上
　竹製　四・〇粍以上
十三　セルロイド齒刷子柄ニシテ穿孔前ノ量目左表ノ標準ニ該當セザルモノ

長	量目
一一・〇糎以上一一・五糎未滿	瓦以上 二・六
一一・五糎以上一二・〇糎未滿	二・八
一二・〇糎以上一二・五糎未滿	三・〇
一二・五糎以上一三・〇糎未滿	三・二
一三・〇糎以上一三・五糎未滿	三・四
一三・五糎以上一四・〇糎未滿	三・六
一四・〇糎以上一四・五糎未滿	三・九
一四・五糎以上一五・〇糎未滿	四・三
一五・〇糎以上一五・五糎未滿	四・九
一五・五糎以上一六・〇糎未滿	五・四
一六・〇糎以上	六・〇

十四　毛拔ケ易キモノ
十五　植毛量不十分ナルモノ
十六　仕上不良ナルモノ
十七　毛質、柄ノ質又ハ植毛方法ノ表示ヲ詐リタルモノ
十八　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

櫛

セルロイド製品

一　形體不整ナルモノ
二　瑕疵著シキモノ
三　變形、變色又ハ變質ノ虞アル生地ヲ使用シタルモノ
四　製品ノ大ニ比シ生地薄キニ過グルモノ
五　接合部離レ易キモノ
六　齒、齒元又ハ齒先著シク不揃ナルモノ
七　齒ノ先附又ハ根摺不良ナルモノ
八　齒折レ易キモノ又ハ接齒ヲ爲シタルモノ
九　面取、研磨其ノ他ノ仕上加工不良ナルモノ
十　彩色又ハ繪附不良ナルモノ
十一　輪櫛ニシテ長一八糎未滿ノモノ
十二　裝飾品若ハ附屬品不良ナルモノ又ハ其ノ取附不完全ナルモノ
十三　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

玩具

一　形體不整ナルモノ
二　瑕疵又ハ汚染著シキモノ
三　變形、變色又ハ變質ノ虞アル生地ヲ使用シタルモノ
四　生地ノ厚著シク不均齊ナルモノ又ハ製品ノ大ニ比シ生地薄キニ過グルモノ
五　接合部離レ易キモノ

第2934号 本文

第2934号　本文

第2934号 本文

八〇番以上双絲	四〇番單絲	一二〇	六二	一三〇	六五	同	同
八〇番以上双絲	三〇番單絲	一二〇	五八	一三〇	六〇	同	同
八〇番以上双絲	八〇番双絲	一三〇	六〇	一三〇	六二	同	同
八〇番以上双絲	六〇番双絲	一二〇	五五	一二〇	六〇	同	同
八〇番以上双絲	四二番双絲	一〇五	五〇	一二〇	五〇	同	同
八〇番以上双絲	三二番双絲	一一〇	三三	一二〇	三五	同	同
八〇番以上双絲	四二番三合絲	一一〇	三二	一二〇	三五	同	同
八〇番以上双絲	三二番三合絲	一一〇	三〇	一二〇	三二	同	同

備考

一 經絲ノ數本表ノ數ヲ超過スルモノニ在リテハ五本ヲ超過スル每ニ緯絲ノ數本表ノ數ヨリ一本宛少キヲ妨ゲズ

二 經絲ノ數一吋間八〇本以上ノモノハ其ノ名稱ノ如何ニ拘ラズポプリンニ非ザルコト明カナル場合ノ外之ヲポプリント看做ス但シ一〇〇番以上ノ合絲ヲ經絲ニ使用シタルモノ又ハ色絲若ハ晒絲ヲ以テ織リタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

三 經絲ニ八〇番以上ノ双絲ヲ、緯絲ニ六〇番、四〇番又ハ三〇番ノ單絲ヲ使用シタル紋織ニシテ緯絲ノ數本表ノ數ヲ超過スルモノニ在リテハ一本ヲ超過スル每ニ經絲ノ數一五本以內ニ於テ本表ノ數ヨリ五本宛少キヲ妨ゲズ

四 經絲ニ四二番ノ双絲ヲ、緯絲ニ三〇番又ハ二〇番ノ單絲ヲ使用シ經絲ノ數一吋間五五本以上八〇本未滿ノモノ(色絲ヲ使用シタルモノヲ含ム)ハ其ノ名稱ノ如何ニ拘ラズポプリンニ非ザルコト明カナル場合ノ外之ヲポプリント看做ス此ノ場合ニ於テハ其ノ密度左表ニ該當スルモノニ非ザレバ之ヲ合格ト爲スコトヲ得ズ

緯絲番手	密度(一吋間) 經絲數	緯絲數
二〇番單絲	七〇本以上七九本以下	四四本以上
三〇番單絲	七〇本以上七九本以下	四八

五 綿小倉織(整理前)

	經絲標準番手	緯絲標準番手竝ニ經緯絲總數(一吋間) 八番以下	一一番以下	一四番以下	一八番以下	二一番以下	二四番以下	三二番以下	三三番以上	長	幅
甲種	八番以下	五六本以上	六三本以上	七〇本以上	八〇本以上	—本以上	—本以上	—本以上	—本以上	一五碼以上、二〇碼以上又ハ二五碼以上	二七吋以上
乙種	一一番以下	七〇	七三	八〇	八七	一〇〇	一〇三	—	—	同	同
丙種	一四番以下	八三	八七	九〇	九三	一〇七	一一〇	一二〇	—	同	同
丁種	一八番以下	九〇	九三	九七	一〇〇	一一三	一一七	一三〇	一四〇	同	同
戊種	二一番以下	一〇〇	一〇三	一〇七	一一三	一二〇	一二七	一四〇	一五〇	同	同
己種	二四番以下	一一三	一一三	一一七	一二三	一三〇	一三四	一五〇	一六〇	同	同
庚種	三二番以下	一三〇	一三四	一三七	一四四	一五〇	一五七	一七四	一八〇	同	同
辛種	三三番以上	一四七	一四七	一四七	一五四	一六〇	一六七	一八七	一九七	同	同

備考

一 本表ニ於テ綿小倉織トハ經緯絲共色絲又ハ晒絲ヲ以テ製織シ且經絲又ハ緯絲ニ双絲ヲ使用シタルモノ又ハ經絲又ハ緯絲ニ一四番以下ノ單絲ノミヲ使用シタルモノヲ謂フ但シ經緯絲ノ總數本表ノ數ヨリ少キコト其ノ一割ヲ超過シタルモノハ之ヲ除ク

二 綾織又ハ繻子織ノモノニ付テハ本表ノ數ニ其ノ一割ヲ加ヘタル數ヲ適用ス

三 經絲又ハ緯絲ニ二種以上ノ異ル番手ノ綿絲ヲ使用シタルモノニ付テハ各其ノ絲數ノ最モ多キ綿絲ヲ以テ製織シタルモノト看做シ、絲數同數ナルトキハ最モ太キ綿絲ヲ以テ製織シタルモノト看做シ本表ヲ適用ス

六 縞三綾(三一組織ノ縞四綾ヲ含ム)(整理前)

標準番手 經絲	緯絲	密度(一吋間) 經絲數	緯絲數	總數	長	幅
二〇番	二〇番	七〇本以上	五〇本以上	一二〇本以上	一五碼以上、二〇碼以上又ハ二四碼以上	二四吋以上
二〇番	一六番	七〇	四二	一一二	同	同
一六番	一六番	六八	四二	一一〇	同	同
三〇番	三〇番	九二	六〇	一五二	同	同

備考

一 本表ニ於テ縞三綾トハ經絲又ハ緯絲ニ單絲ヲ用ヒタルモノノミヲ謂フ

二 經緯絲ノ總數本表ノ數ヲ超過スルモノニ在リテハ二本ヲ超過スル每ニ經絲又ハ緯絲ノ數本表ノ數ヨリ一本宛少キヲ妨ゲズ

七 綿サロン(染色シタルモノヲ除ク)(整理前)

標準番手 經絲	緯絲	密度(一吋間) 經絲數	緯絲數	總數
二〇番	二〇番	五三本以上	四五本以上	九八本以上
二〇番	三〇番	五八	五五	一一三
三〇番	三〇番	六三	五五	一一八
四〇番	三〇番	六八	五五	一二三
三〇番	四〇番	六八	六〇	一二八
四〇番	四〇番	六八	六〇	一二八

備考

一 本表ニ於テ綿サロントハ色絲ヲ以テ製織シタル平織地ノ縞モノ又ハ無地モノニシテカバラ又ハボーダーノ織込ヲ有スルモノヲ謂フ

二 經緯絲ノ總數本表ノ數ヲ二本以上超過スルモノニ在リテハ經絲又ハ緯絲ノ數本表ノ數ヨリ一本少キヲ妨ゲズ

八 細綾綿布(整理前)

甲 ジーンス

標準番手 經絲	緯絲	密度(一吋間) 經絲數	緯絲數	總數	長	幅
二〇番單絲	二〇番單絲	六六本以上	四六本以上	一一二本以上	三〇碼以上、四〇碼以上又ハ六一碼以上	三〇吋以上
二一番以上單絲	二〇番以上單絲	九〇	五八	一四八	三〇碼以上、四〇碼以上、三一碼以上又ハ六一碼以上	二九・五吋以上
三〇番以上單絲	二〇番以上單絲	九〇	五八	一四八	三〇碼以上、四〇碼以上又ハ六一碼以上	三〇吋以上
三〇番以上單絲	三〇番以上單絲	九〇	六二	一五二	同	同

備考

一 經絲ニ二一番以上單絲又ハ三〇番以上單絲ヲ使用シタルモノニシテ經緯絲ノ總數本表ノ數ニ滿ツルモノニ在リテハ經絲又ハ緯絲ノ數ヲ五本以內ニ於テ其ノ何レカニ增減スルコトヲ得

二 整理後二六吋幅ニ仕上グルコト明カナルモノハ其ノ旨ヲ表示シタルモノニ限リ本表ノ幅ヨリ二吋少キヲ妨ゲズ

乙 四ツ綾

標準番手 經絲	緯絲	密度(一吋間) 經絲數	緯絲數	總數	長	幅
二〇番單絲	二〇番單絲	六六本以上	四六本以上	一一二本以上	三〇碼以上、四〇碼以上又ハ六一碼以上	三〇吋以上
二一番以上單絲	二〇番以上單絲	九〇	五八	一四八	三〇碼以上、四〇碼以上、三一碼以上又ハ六一碼以上	二九・五吋以上
三〇番以上單絲	二〇番以上單絲	九〇	五八	一四八	三〇碼以上、四〇碼以上又ハ六一碼以上	三〇吋以上
三〇番以上單絲	三〇番以上單絲	九〇	六二	一五二	同	同
四〇番以上四四番以下双絲	二〇番單絲又ハ四〇番以上四四番以下双絲	八二	六八	一五〇	三〇・五碼以上又ハ六〇碼以上	同
四〇番以上四四番以下双絲	三〇番單絲	八二	七〇	一五二	同	同

備考

一 經絲ニ二一番以上單絲、三〇番以上單絲又ハ四〇番以上四四番以下双絲ヲ使用シタル二二組織ノモノニシテ經緯絲ノ總數本表ノ數ニ滿ツルモノニ在リテハ經絲又ハ緯絲ノ數ヲ三本以內ニ於テ其ノ何レカニ增減スルコトヲ得但シ經絲ニ双絲ヲ緯絲ニ單絲ヲ使用シタルモノヲ除ク

二 整理後二六吋幅ニ仕上グルコト明カナルモノハ其ノ旨ヲ表示シタルモノニ限リ本表ノ幅ヨリ二吋少キヲ妨ゲズ

丙 ギャバジン

標準番手 經絲	緯絲	密度(一吋間) 經絲數	緯絲數	總數	長	幅
四〇番以上四四番以下双絲	二〇番單絲又ハ四〇番以上四四番以下双絲	一一〇本以上	五〇本以上	一六〇本以上	三〇碼以上、四〇碼以上又ハ五〇碼以上	三〇吋以上又ハ三三吋以上
四〇番以上四四番以下双絲	三〇番單絲	一一〇	五五	一六五	同	同

備考

一 經緯絲ノ總數本表ノ數ニ滿ツルモノニ在リテハ經絲又ハ緯絲ノ數ヲ四本以內ニ於テ其ノ何レカニ增減スルコトヲ得

二 整理後二六吋幅ニ仕上グルコト明カナルモノハ其ノ旨ヲ表示シタルモノニ限リ本表ノ幅ヨリ二吋少キヲ妨ゲズ

丁 横綾

標準番手 經絲	緯絲	密度(一吋間) 經絲數	緯絲數	總數	長	幅
四〇番以上四四番以下双絲	二〇番單絲又ハ四〇番以上四四番以下双絲	五四本以上	一〇二本以上	一五六本以上	三〇碼以上、四〇碼以上又ハ五〇碼以上	三〇吋以上

備考

一 經緯絲ノ總數本表ノ數ニ滿ツルモノニ在リテハ經絲又ハ緯絲ノ數ヲ四本以內ニ於テ其ノ何レカニ增減スルコトヲ得

二 整理後二六吋幅ニ仕上グルコト明カナルモノハ其ノ旨ヲ表示シタルモノニ限リ本表ノ幅ヨリ二吋以內少キヲ妨ゲズ

戊 スレーキ

標準番手 經絲	緯絲	密度(一吋間) 經絲數	緯絲數	長	幅
四〇番以下單絲	二〇番單絲	六〇本以上	六二本以上	三〇碼以上、五〇碼以上又ハ七〇碼以上	四一吋以上、四二吋以上、四三吋以上又ハ四四吋以上
四〇番以下單絲	四〇番以下單絲	六六	七〇	同	同

第2934号 本文

九 變リ綾綿布及斜綾綿布（太綾綿布ヲ除ク）（整理前）

標準番手 經絲	標準番手 緯絲	密度（一吋間） 經絲數	密度（一吋間） 緯絲數	長	幅
四二番以上双絲	四二番以上双絲	本以上六五	本以上六五	三〇・五碼以上又ハ六〇碼以上	三〇吋以上
四二番以上双絲	三二番以上双絲又ハ一二番以上二〇番以下單絲	六五	六〇	同	同
三二番以上双絲	三二番以上双絲	六〇	五五	同	同
二〇番以上單絲	一六番以上單絲	六五	五〇	同	同

備考

一 本表ハ生綿絲ヲ以テ製織シタルモノニ之ヲ適用ス

二 變リ綾綿布ニシテ經絲又ハ緯絲ノ數本表ノ數ヲ超過スルモノニ在リテハ經絲又ハ緯絲ノ數二本ヲ超過スル毎ニ緯絲又ハ經絲ノ數本表ノ數ヨリ各一本宛少キヲ妨ゲズ

三 斜綾綿布ニシテ經絲ノ數本表ノ數ヲ超過スルモノニ在リテハ三本ヲ超過スル毎ニ緯絲ノ數本表ノ數ヨリ一本宛少キヲ妨ゲズ

四 本表中標準番手「三二番以上双絲」ハ「三〇番以上單絲」ニ、「四二番以上双絲」ハ「四〇番以上單絲」ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル經緯絲ノ密度ハ本表ニ於ケル當該双絲ノ密度ニ斜綾綿布ニ在リテハ其ノ五割、梨地織ニ在リテハ其ノ一割、其ノ他ノ變リ綾綿布ニ在リテハ其ノ二割ヲ增加シタルモノヲ適用ス

五 シルケツトヲ施サザルコトヲ明示シタルモノニ限リ幅二九吋以上ノモノハ之ヲ合格トナスコトヲ妨ゲズ

六 二六吋モノニ仕上グルコト明カナルモノハ其ノ旨ヲ表示シタルモノニ限リ本表ノ幅ヨリ二吋少キヲ妨ゲズ

十 綿繻子（五枚又ハ八枚ノ綿繻子以外ノモノヲ除ク）（整理前）

標準番手 經絲	標準番手 緯絲	五枚繻子密度（一吋間） 紋繻子 經絲數	五枚繻子密度（一吋間） 紋繻子 緯絲數	五枚繻子密度（一吋間） 其ノ他 經絲數	五枚繻子密度（一吋間） 其ノ他 緯絲數	八枚繻子密度（一吋間） 紋繻子 經絲數	八枚繻子密度（一吋間） 紋繻子 緯絲數	八枚繻子密度（一吋間） 其ノ他 經絲數	八枚繻子密度（一吋間） 其ノ他 緯絲數	長	幅
二〇番單絲	二〇番以上二四番以下單絲	本以上—	本以上—	本以上九〇	本以上六三	本以上—	本以上—	本以上一〇〇	本以上六二	三〇碼以上	三〇・五吋以上
三二番以下單絲	二〇番以上四〇番以下單絲	—	—	九〇	六〇	—	—	一一〇	六二	同	同
四〇番以下單絲	二〇番以上四〇番以下單絲	—	—	一〇五	六〇	—	—	一三〇	六二	同	同
六〇番以下單絲	二〇番以上四〇番以下單絲	—	—	一二〇	六〇	—	—	一四〇	六二	同	同
四〇番以上双絲	一六番以上一八番未滿單絲	—	—	九〇	五五	—	—	—	—	同	同
四〇番以上双絲	一八番以上二四番以下單絲	一〇〇	六〇	九〇	六三	一〇〇	六〇	一一〇	六〇	同	同
六〇番以上双絲	三〇番以上四〇番以下單絲	一二〇	六二	一〇〇	六〇	一二〇	六二	一二〇	六〇	同	同
六〇番以上双絲	四二番以上双絲	一二〇	六二	—	—	一二〇	六二	—	—	同	同
八〇番以上双絲	三〇番以上四〇番以下單絲	一二四	六二	一一〇	六〇	一二四	六二	一三〇	六〇	同	同
八〇番以上双絲	四二番以上双絲	一二四	六二	—	—	一二四	六二	—	—	同	同

備考

一 耳ハ五枚繻子ニ在リテハ片耳八羽以上（一羽四本入）八枚繻子ニ在リテハ片耳九羽以上（一羽四本入）トス

二 經絲ノ數本表ノ數ヲ超過スルモノニ在リテハ三本ヲ超過スル毎ニ緯絲ノ數本表ノ數ヨリ一本宛少キヲ妨ゲズ

三 整理後二六吋幅ニ仕上グルコト明カナルモノハ其ノ旨ヲ表示シタルモノニ限リ本表ノ幅ヨリ二吋少キヲ妨ゲズ

十一 縞綿布及色絲又ハ晒絲ヲ以テ製織シタル綿布（整理前）

甲 大正布

標準番手 經絲	標準番手 緯絲	密度（一吋間） 經絲數	密度（一吋間） 緯絲數	密度（一吋間） 總數	長	幅
二二番以下	一八番以下	本以上五八	本以上五四	本以上一一二	一五碼以上	二四吋以上
二二番以下	二〇番以下	六一	五九	一二〇	同	同
二四番以下	二二番以下	六三	六一	一二四	同	同

備考

一 四三縞、夏綾、柳條布及此等ノ類似品 竝ニ大正布ノ類似品ト認ムルモノハ之ヲ大正布ト看做ス

二 經緯絲ノ總數本表ノ數ヲ超過スルモノニ在リテハ二本ヲ超過スル毎ニ經絲又ハ緯絲ノ數本表ノ數ヨリ一本宛少キヲ妨ゲズ

乙 其ノ他ノ綿布

標準番手 經絲	標準番手 緯絲	平織密度（一吋間） 經絲數	平織密度（一吋間） 緯絲數	平織密度（一吋間） 總數	其ノ他ノ密度（一吋間） 經絲數	其ノ他ノ密度（一吋間） 緯絲數	其ノ他ノ密度（一吋間） 總數
二〇番以下	一四番以下	本以上四〇	本以上三六	本以上七六	本以上五〇	本以上四五	本以上九八
二〇番以下	一八番以下	四六	三六	八五	五五	四八	一〇六
二〇番以下	一九番以上	四六	三八	八七	五五	五〇	一一〇
二〇番以下	二三番以上	五〇	四〇	九五	五五	五五	一一五
三二番以下	一四番以下	四六	三六	八五	五五	四六	一〇五
三二番以下	一八番以下	四六	三六	八五	五五	四八	一〇八
三二番以下	二三番以下	五〇	四〇	九五	六〇	五〇	一一五
三二番以下	二三番以上	五二	四五	一〇五	六〇	五五	一二〇
三二番以下	三三番以上	五二	五〇	一一〇	—	—	—
三三番以上	二三番以上	六〇	四八	一一五	七〇	六〇	一四〇
三三番以上	三三番以上	六〇	五五	一二〇	七〇	六五	一四五
四〇番以上	四〇番以上	六八	六〇	一二八	—	—	—

備考 經緯絲ノ總數本表ノ數ヲ超過スルモノニ在リテハ二本ヲ超過スル毎ニ經絲又ハ緯絲ノ數本表ノ數ヨリ一本宛少キヲ妨ゲズ

十二 無地染綿布及捺染綿布（整理後）

長	幅
二五碼以上、二七・五碼以上、二四碼以上、二六・五碼以上、三〇碼以上、三五碼以上又ハ四〇碼以上	二四吋以上、二六吋以上、二八吋以上、三〇吋以上、三六吋以上又ハ四〇吋以上

備考 本表ニ於テ無地染綿布及捺染綿布トハ本製織標準ニ規定シタル品種以外ノモノヲ無地染又ハ捺染シタルモノヲ謂フ

十三 綿襷帶子

	標準番手 經絲	標準番手 緯絲	密度 經絲總數	密度 緯絲數（鯨一寸間）	長（鯨尺） 布ノ部分	長（鯨尺） 房ノ部分	幅（鯨尺）
一寸平モノ	三二番双絲	一六番單絲	本以上一三八	本以上七六	寸以上一八・五	寸以上四・五	〇・九寸以上一・一寸未滿
寸二平モノ	三二番双絲	一六番單絲	一六〇	七六	一八・〇	同	一・一寸以上一・三寸未滿
寸四平モノ	三二番双絲	一六番單絲	一八八	七六	一八・五	五・〇	一・三寸以上一・五寸未滿
寸六平モノ	三二番双絲	一六番單絲	二一二	七六	一九・〇	五・五	一・五寸以上一・七寸未滿
寸八平モノ	三二番双絲	一六番單絲	二三八	七六	二〇・〇	同	一・七寸以上一・九寸未滿
二寸平モノ	三二番双絲	一六番單絲	二六〇	七六	二〇・五	六・〇	一・九寸以上二・一寸未滿
二寸三分平モノ	三二番双絲	二〇番双絲	二九六	六四	二四・五	八・五	二・二寸以上二・四寸未滿
二寸七分平モノ	三二番双絲	二〇番双絲	三四六	六四	二五・五	一〇・〇	二・六寸以上二・八寸未滿
三寸平モノ	三二番双絲	二〇番双絲	三八四	六四	三五・〇	一一・〇	二・九寸以上三・一寸未滿
一寸平モノ	四二番双絲	三二番双絲又ハ一六番單絲	一五〇	七六	一八・五	四・五	〇・九寸以上一・一寸未滿
寸二平モノ	四二番双絲	三二番双絲又ハ一六番單絲	一八〇	七六	一八・〇	同	一・一寸以上一・三寸未滿
寸四平モノ	四二番双絲	三二番双絲又ハ一六番單絲	二一二	七六	一八・五	五・〇	一・三寸以上一・五寸未滿
寸六平モノ	四二番双絲	三二番双絲又ハ一六番單絲	二四〇	七六	一九・〇	五・五	一・五寸以上一・七寸未滿
寸八平モノ	四二番双絲	三二番双絲又ハ一六番單絲	二六四	七六	二〇・〇	同	一・七寸以上一・九寸未滿
二寸平モノ	四二番双絲	三二番双絲又ハ一六番單絲	二九六	七六	二〇・五	六・〇	一・九寸以上二・一寸未滿
二寸平モノ	四二番双絲	二〇番双絲	二九〇	六四	二〇・〇	六・〇	一・九寸以上二・一寸未滿
二寸平モノ	四二番双絲	三〇番三合絲又ハ三二番四合絲	二四八	六〇	同	同	同
二寸三分平モノ	四二番双絲	二〇番双絲	三三二	六四	二四・五	八・五	二・二寸以上二・四寸未滿
二寸三分平モノ	四二番双絲	三二番四合絲	二八〇	六〇	同	同	同
二寸七分平モノ	四二番双絲	二〇番双絲	三八八	六四	二五・五	一〇・〇	二・六寸以上二・八寸未滿
二寸七分平モノ	四二番双絲	三二番四合絲	三二〇	六〇	同	同	同
三寸平モノ	四二番双絲	二〇番双絲	四三二	六四	三五・〇	一一・〇	二・九寸以上三・一寸未滿
三寸平モノ	四二番双絲	三〇番三合絲又ハ三二番四合絲	三五六	六〇	同	同	同
二寸平モノ	六〇番双絲	三〇番三合絲又ハ三二番四合絲	三一二	六〇	二一・〇	六・〇	一・九寸以上二・一寸未滿
二寸三分平モノ	六〇番双絲	三〇番四合絲	三六〇	五六	二四・〇	八・〇	二・二寸以上二・四寸未滿
二寸七分平モノ	六〇番双絲	三〇番四合絲	四〇四	五六	二五・五	一〇・〇	二・六寸以上二・八寸未滿
三寸平モノ	六〇番双絲	三〇番五合絲	四五〇	五六	三一・五	九・〇	二・九寸以上三・一寸未滿
三寸平モノ	六〇番双絲	三二番五合絲	四八六	五六	三五・〇	一一・〇	同
一寸紋モノ	六〇番双絲	二〇番双絲	一九〇	六四	一八・〇	六・〇	〇・九寸以上一・一寸未滿
寸二紋モノ	六〇番双絲	二〇番双絲	二一六	六四	同	同	一・一寸以上一・三寸未滿
寸四紋モノ	六〇番双絲	二〇番双絲	二六二	六四	一八・五	同	一・三寸以上一・五寸未滿
寸六紋モノ	六〇番双絲	二〇番双絲	二九八	六四	一九・〇	同	一・五寸以上一・七寸未滿
寸八紋モノ	六〇番双絲	二〇番双絲	三三八	六四	二〇・〇	同	一・七寸以上一・九寸未滿
二寸紋モノ	六〇番双絲	二〇番双絲	三七〇	六四	二一・〇	同	一・九寸以上二・一寸未滿

人造眞珠

一 形體不整ナルモノ又ハ紐孔中心ヲ外レタルモノ

二 皺、氣泡其ノ他ノ瑕疵又ハ汚染著シキモノ

三 色澤不良ナルモノ

官報 第二九三四號 昭和十一年十月十日 土曜日

四　原珠脆弱ナルモノ
五　硝子製原珠ニシテアルカリヲ析出シ易キモノ
六　塗膜薄キニ過グルモノ
七　塗膜剝離シ易キモノ
八　攝氏四〇度ノ水中ニ三分間浸漬シ塗膜著シク軟化スルモノ
九　攝氏八〇度ノ空氣中ニ五分間放置シ色澤著シク變化スルモノ
十　珠ノ直徑表示ノ寸法ニ比シ著シク差異アルモノ
十一　一連ノ長表示ノ長ニ比シ不足セルモノ
十二　一連中ニ於ケル珠ノ配列又ハ色澤不均齊ナルモノ
十三　連結用紐織弱ナルモノ
十四　附屬品不良ナルモノ
十五　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

自轉車及同部分品

一　工作物ニシテ形體不良ナルモノ又ハ其ノ組立不良ナルモノ
二　使用セル鋼、可鍛鑄鐵及黄銅ノ抗張力又ハ伸別表甲ノ標準ニ該當セザルモノ
三　使用金屬材料ニシテ質緻密若ハ均等ナラザルモノ又ハ條痕、龜裂、巣其ノ他ノ有害ナル缺點アルモノ
四　使用鋼管ニシテ一端ヨリ三〇粍迄ノ部分ヲ常溫ノ儘擴大シテ裂疵ヲ生ズルモノ
前項ノ試驗ニ於ケル擴大率ハ冷間引拔鋼管ニ在リテハ外徑ノ一・二〇倍、鎔接鋼管ニ在リテハ一・〇五倍トス
五　使用鋼板及鋼帶ニシテ攝氏六五〇度ニ熱シタル後水中ニ於テ攝氏二八度ニ急冷シ之ヲ鎚打ニ依リ厚ノ一・五倍ノ內側半徑ヲ以テ一八〇度屈曲シテ裂疵ヲ生ズルモノ
六　スポーク用鋼線ニシテ二粍ノ內側半徑ヲ以テ九〇度屈曲ヲ六回行ヒ裂疵ヲ生ズルモノ
屈曲回數ノ計算ハ直立狀態ヨリ一方ニ九〇度屈曲スルヲ以テ第一回トシ之ヲ舊位置ニ復スルヲ以テ第二回トシ更ニ之ヲ反對側ヘ九〇度屈曲スルヲ以テ第三回トシ以下之ニ準ズルモノトス
七　可鍛鑄鐵品ニシテ常溫ノ儘四〇粍ノ內側半徑ヲ以テ九〇度屈曲シ裂疵ヲ生ズルモノ
八　鎔接箇所ニシテ固著不十分ナルモノ又ハ著シク脆弱トナリタルモノ
九　回轉部分ノ回轉圓滑ナラザルモノ
十　研磨不十分ナルモノ
十一　塗仕上ニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　色澤不良ナルモノ又ハ皺、龜裂其ノ他ノ缺點著シキモノ
(二)　クレメンス式試驗機ニ依リ五瓦ノ荷重ヲ以テ引搔試驗ヲ行ヒ著シク搔傷ヲ生ズルモノ
(三)　沸騰セル五パーセント食鹽溶液中ニ一時間浸漬シテ塗膜軟化、剝離又ハ褪色スルモノ
(四)　車體ニシテ中塗又ハ仕上塗ヲ爲サザルモノ
十二　鍍金仕上ニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　表面平滑ナラザルモノ又ハ條痕其ノ他ノ瑕疵著シキモノ
(二)　鍍金層ノ厚リムニ在リテハ〇・〇一〇粍未滿、其ノ他ノ部分ニ在リテハ〇・〇〇五粍未滿ノモノ
(三)　攝氏二〇度ニ於テ一五パーセント食鹽溶液ノ噴霧中ニ六時間放置シ銹ヲ生ズルモノ
十三　炭素燒入ヲ爲シタル箇所ニシテショアー式ニ依ル硬度六〇度未滿ノモノ又ハ滲炭ノ深〇・一粍未滿ノモノ但シ特殊ノモノハ此ノ限ニ在ラズ
十四　ネヂニシテ其ノ形狀日本標準規格ニ依ラザルモノ但シ特殊ノ場所ニ使用スルモノハ此ノ限ニ在ラズ
十五　完成車ニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　各部分ノ組立不良ナルモノ又ハ不適當ナル部分品ヲ組合セタルモノ
(二)　前フォーク、ヘッドパイプ、立パイプ及バックフォークノ各中心線ガ同一平面內ニ在ラザルモノ
(三)　附屬品不良ナルモノ
十六　車體ニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　鋼管ノ厚〇・八九粍未滿ノモノ
(二)　鋼管ノ太左ノ寸法未滿ノモノ

上パイプノ外徑	二五・二粍
米國式車體ノ立パイプノ外徑	二五・二粍
其ノ他ノ車體ノ立パイプノ外徑	二八・三粍
米國式車體ノ下パイプノ外徑	二五・二粍
其ノ他ノ車體ノ下パイプノ外徑	二八・三粍
ヘッドパイプノ外徑	三一・五粍
米國式車體ノバックフォークノ外徑	一七・二粍
其ノ他ノ車體ノバックフォークノ最大外周	六九・〇粍
チェーンステーノ外徑	二二・〇粍

(三)　鋼管接手ラッグノ厚鋼管ノ厚ヨリ薄キモノ
(四)　ブッリヂノ中央下部ヨリ烏口中心線ニ至ル長左ノ寸法以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(±)一・五九粍トス

二八吋自轉車用	四〇〇・〇四粍
二六吋自轉車用	三七四・六五粍

(五)　シートノ部分ニ一二・五瓩ヲ荷重シ烏口中心線ヲ支點トシ前ハブノ部分ニ偏心距離二五・四粍ノカムヲ置キ之ヲ一〇分間ニ二・五〇〇回回轉シタルトキ著シク損傷スルモノ
十七　メェンラッグニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　嵌合孔ノ直徑之ニ嵌合スル鋼管ノ外徑ヨリ〇・一三粍以上大ナルモノ
(二)　ハンガー玉椀ヲ嵌合スル二四山ネヂノ內徑三四・九二粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(+)〇・一二粍トス
十八　前フォークニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　脚用鋼管ノ厚〇・八九粍未滿ノモノ
(二)　フォークステー用鋼管ノ厚一・六五粍未滿ノモノ
(三)　フォークステーノネヂノ外徑二四山ノモノニ在リテハ二五・四〇粍、三〇山ノモノニ在リテハ二四・六一粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(−)〇・一二粍トス
(四)　クラウン中央下端ヨリハブノ中心ニ至ル距離左ノ寸法以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(±)一・五九粍トス

二八吋自轉車用	三八七・三四粍
二六吋自轉車用	三六一・九四粍

十九　シートピラーニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ

(一)　鋼管ノ厚一・〇七粍未滿ノモノ
(二)　立パイプ部ノ長一二七・〇粍未滿又ハサドル部ノ長一〇一・六粍未滿ノモノ
二十　ハンドルニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　ハンドルバー用鋼管ノ外徑二二・二粍未滿ノモノ
(二)　ハンドルポスト用鋼管ノ外徑二二・二二粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(−)〇・二五粍トス
(三)　ハンドルバー用鋼管ノ厚鋼管ノ外徑二五・四〇粍以上ノモノニ在リテハ一・二五粍未滿、鋼管ノ外徑二五・四〇粍未滿ノモノニ在リテハ一・四七粍未滿ノモノ
(四)　ハンドルポスト用鋼管ノ厚一・四七粍未滿ノモノ
(五)　バネ用鋼線ノ直徑一・四七粍未滿ノモノ
(六)　ブレーキレバーノ直徑七・九二粍未滿ノモノ
(七)　レバーブラケットノ厚四・七六粍未滿ノモノ
(八)　ベルクランクノ短棒孔ノ直徑短棒ノ取附ニネヂヲ用フルモノニ在リテハ五・一六粍以外、カシメニ依ルモノニ在リテハ三・九七粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(+)〇・〇五粍トス
(九)　引上ボルトノ直徑六・三五粍未滿ノモノ
二十一　ブレーキニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　短棒又ハ長棒ノ直徑三・〇五粍未滿ノモノ
(二)　前パイプ又ハ後パイプノ直徑六・三五粍未滿ノモノ
(三)　短棒上部ネヂノ外徑四・七六粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(−)〇・〇六粍トス
(四)　リムブレーキニシテ後股引ボルトノ直徑四・七六粍未滿ノモノ
(五)　バンドブレーキニシテベルクランクノ引棒ノ直徑六粍未滿ノモノ
(六)　バンドブレーキニシテライニングノ幅一三粍未滿又ハ厚五粍未滿ノモノ
(七)　バンドブレーキニシテドラムリムノ厚一・五八粍未滿ノモノ
(八)　バンドブレーキニシテ後ハブヲ嵌合スルネヂノ內徑三四・八〇粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(+)〇・一二粍トス
二十二　土除ニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　鋼板ノ厚〇・四一粍未滿ノモノ
(二)　長左ノ寸法未滿ノモノ

二八吋自轉車用	前車用	八一二粍
	後車用	一、二〇五粍
二六吋自轉車用	前車用	七八七粍
	後車用	一、一五五粍

二十三　ギヤーニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　鋼板ノ厚三粍未滿ノモノ
(二)　齒形不均一ナルモノ
(三)　齒ノピッチ一二・七〇粍、一五・八七粍又ハ二五・四〇粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(±)〇・〇二粍トス
二十四　クランクニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　クランクシャフトニシテショアー式ニ依ル硬度六五度未滿ノモノ
(二)　ペダルシャフトヲ嵌合スル二〇山ネヂノ內徑米國式クランクニ在リテハ一二・七〇粍、其ノ他ノクランクニ在リテハ一四・二九粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(+)〇・一二粍トス
(三)　クランクシャフトヲ嵌合スル孔ノ直徑一五・八七粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(+)〇・一〇粍トス
(四)　クランクピンヲ嵌合スル孔ノ直徑九・五二粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(+)〇・一〇粍トス
(五)　クランクシャフト嵌合用孔ノ中心線トクランクピン嵌合用孔ノ中心線トノ距離七・九四粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(±)〇・〇八粍トス
(六)　クランクピンノ外徑九・一三粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(−)〇・一〇粍トス
二十五　リムニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　鋼帶ノ厚〇・八一粍未滿ノモノ
(二)　外徑、外幅、內幅又ハ高別表乙ノ標準ニ該當セザルモノ但シ外徑ノ公差ハ(±)一・五八粍、外幅、內幅及高ノ公差ハ(±)〇・七九粍トス
(三)　針金式リムニシテビードノ部分ノ直徑左ノ寸法以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(±)一・五五粍トス

二八吋×一吋二分ノ一ノタイヤ用	六三四・六七粍
二八吋×一吋八分ノ三ノタイヤ用	六四一・七五粍

二十六　スチールボールニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　ショアー式ニ依ル硬度七〇度未滿ノモノ
(二)　球形不完全ナルモノ
(三)　寸度公差(−)〇・〇五粍以上ノモノ
二十七　ペダルニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　クランク孔ニ嵌合スルペダルシャフトノ二〇山ネヂノ外徑米國式ノモノニ在リテハ一二・七〇粍以外、其ノ他ノモノニ在リテハ一四・二九粍以外ノモノ但シ其ノ公差ハ(−)〇・一〇粍トス
(二)　ペダルパイプノ厚〇・五六粍未滿ノモノ
(三)　兩板ノ厚二粍未滿ノモノ
(四)　兩板間ノ距離婦人用ノモノニ在リテハ八九粍未滿、其ノ他ノモノニ在リテハ九七粍未滿ノモノ
(五)　ペダルゴムノ質不良ナルモノ
二十八　普通ハブニシテ左ノ各項目ノ一ニ該當スルモノ
(一)　セルノ厚一・二五粍未滿ノモノ

第2934号 本文

第2934号　本文

二八×三六	一六番	四番	四〇	三八	六・六二	〇・六	一 幅四〇吋以下ノモノニ適用ス 二 一枚模樣ノモノニ在リテハ長五〇吋ヲ超ユルコトヲ得ズ
三〇×六〇	一六番	四番	四〇	四〇	六・九〇	―	一 房附ノモノニ適用ス 二 房ノ長ハ針孔ヨリ三・五吋トス
六〇×八〇	一六番	二番	四〇	三六	一一・六〇	一・五	
五四×七五	一六番	二番	四〇	三二	一〇・五〇	一・五	幅六〇吋以上ノモノ又ハ一枚模樣ノモノニシテ幅六〇吋以上又ハ長八〇吋以上ノモノハ本表ノ緯絲ノ數ニ四本增スコトヲ要ス

附記

一 本表中標準番手及密度ハ整理前ノモノヲ示ス

二 本表中幅及長ハ兩緣幅ヲ含ム

三 房附ノモノニ在リテハ量目ハ房ノ部分ヲ含マズ

乙 人造絹ト綿トノ混紡絲ヲ綿絲ト交織シタルモノ

幅×長	標準番手 經絲	標準番手 緯絲(混紡絲)	密度(一吋間) 經絲數	密度(一吋間) 緯絲數	量目 每一、〇〇〇平方吋	緣幅	備考
四五×七〇吋以上ノモノ	一六番	四・七五番	本以上 四〇	本以上 四二	オンス以上 一〇・〇〇	吋以上 一・〇	
六〇×八〇	一六番	四・五番	四〇	四〇	一〇・四七	一・〇	
四五×七〇	一六番	四・五番	四〇	三八	九・二三	一・〇	幅六〇吋以上ノモノ又ハ一枚模樣ノモノニシテ幅六〇吋以上又ハ長八〇吋以上ノモノハ本表ノ緯絲ノ數ニ二本增スコトヲ要ス

附記

一 本表中標準番手及密度ハ整理前ノモノヲ示ス

二 本表中幅及長ハ兩緣幅ヲ含ム

丙 水車紡綿絲ヲ綿絲ト交織シタルモノ

幅×長	經絲 綿絲	緯絲 水車紡綿絲	密度(一吋間) 經絲數	密度(一吋間) 緯絲數	量目 每一、〇〇〇平方吋	緣幅	備考
四五×七〇吋以上ノモノ	二〇番	綿絲四番ニ該當スル双線	本以上 三八	本以上 三四	オンス以上 八・三九	吋以上 〇・六	柄モノ以外ノモノニ在リテハ長二吋以內少キヲ妨ゲズ

附記

一 本表中經絲ノ番手及密度ハ整理前ノモノヲ示ス

二 本表中幅及長ハ兩緣幅ヲ含ム

二 一重組織ノモノ

甲 綿絲ノミヲ以テ製織シタルモノ

幅×長	標準番手 經絲	標準番手 緯絲	密度(一吋間) 經絲數	密度(一吋間) 緯絲數	量目 每一、〇〇〇平方吋	緣幅
四〇×六〇吋以上ノモノ	一六番	四番	本以上 三〇	本以上 二六	オンス以上 五・九五	吋以上 〇・六

附記

一 本表中標準番手及密度ハ整理前ノモノヲ示ス

二 本表中幅及長ハ兩緣幅ヲ含ム

乙 水車紡綿絲ヲ綿絲ト交織シタルモノ

幅×長	經絲 綿絲	緯絲 水車紡綿絲	密度(一吋間) 經絲數	量目 每一、〇〇〇平方吋	備考
四〇×五五吋以上ノモノ	一六番又ハ二〇番	綿絲四番以上ニ該當スルモノ	本以上 一六	オンス以上 六・六〇	
三〇×三五	一六番又ハ二〇番	綿絲四番以上ニ該當スルモノ	一六	六・〇〇	幅四〇吋以上又ハ一枚模樣ノモノニシテ幅四〇吋以上又ハ長五五吋以上ノモノハ量目一、〇〇〇平方吋ニ付六・六〇オンス以上ナルコトヲ要ス
四〇×五五	一六番又ハ二〇番	綿絲四番未滿ニ該當スルモノ	一六	八・〇〇	
三〇×三五	一六番又ハ二〇番	綿絲四番未滿ニ該當スルモノ	一六	七・六五	幅四〇吋以上又ハ一枚模樣ノモノニシテ幅四〇吋以上又ハ長五五吋以上ノモノハ量目一、〇〇〇平方吋ニ付八・〇〇オンス以上ナルコトヲ要ス

附記　本表中經絲ノ番手及密度ハ整理前ノモノヲ示ス

ゴム靴竝ニ同甲被及同底

一 形體不整ナルモノ

二 瑕疵、汚染又ハ變色著シキモノ

三 底柔軟ニ過グルモノ又ハ外底薄キニ過グルモノ

四 ゴムノ抗張力別表甲ノ標準ニ該當セザルモノ但シショアー式ニ依ル硬度七五度以上ノモノハ此ノ限ニ在ラズ

五 ゴムノ伸別表乙ノ標準ニ該當セザルモノ但シショアー式ニ依ル硬度七五度以上ノモノハ此ノ限ニ在ラズ

六 ゴムニシテ容易ニ老化スル虞アルモノ又ハ表面ニ硫黄ヲ析出シタルモノ

七 甲被ニ使用スル布地ノバーステングストレングス別表丙ノ標準ニ該當セザルモノ

八 甲被ノ主要部分ヲ縫合スル縫絲一本ノ强〇・九瓩未滿ノモノ

九 底、踵、テープ、其ノ他ノ貼合部分ニシテ剝離シ易キモノ

十 エナメルニシテ龜裂ヲ生ジ易キモノ、剝離シ易キモノ又ハ乾燥不十分ナルモノ

十一 エナメルノ塗面著シク平滑ナラザルモノ又ハ光澤ナキモノ

十二 甲被ノ縫方粗雜ナルモノ

十三 附屬品不良ナルモノ又ハ其ノ附方亂雜ナルモノ

十四 前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

(別表)

甲 ゴム抗張力標準(一平方糎ニ付)

底ノ全長	外底 總ゴム長靴	外底 總ゴム短靴	外底 ゴム底布靴	甲被 總ゴム長靴	甲被 總ゴム短靴
一四糎未滿	瓩以上 三〇	瓩以上 二〇	瓩以上 三〇	瓩以上 五〇	瓩以上 四〇
一四糎以上一八糎未滿	四五	四五	四五	八〇	七五
一八糎以上二四糎未滿	五五	五五	五〇	九〇	九〇
二四糎以上	六五	六五	六〇	一〇〇	一〇〇

乙 ゴム伸標準

底ノ全長	外底 總ゴム長靴	外底 總ゴム短靴	外底 ゴム底布靴	甲被 總ゴム長靴	甲被 總ゴム短靴
一四糎未滿	%以上 八〇	%以上 八〇	%以上 一〇〇	%以上 一五〇	%以上 一二〇
一四糎以上一八糎未滿	二三〇	二三〇	二三〇	三〇〇	二七〇
一八糎以上二四糎未滿	二八〇	二八〇	二五〇	三八〇	三七〇
二四糎以上	二八〇	二八〇	二五〇	三八〇	三七〇

丙 布地バーステングストレングス標準(一平方糎ニ付)

底ノ全長	一重甲被	二重甲被
一四糎未滿	瓩以上 九	瓩以上 一二
一四糎以上一八糎未滿	一一	一六
一八糎以上二四糎未滿	一三	一七
二四糎以上	一三	一七

電球

一 硝子球、口金若ハ纖條ノ形體不整ナルモノ又ハ之等ノ取附位置正シカラザルモノ

二 硝子球ニシテ氣泡、不熔解物其ノ他ノ瑕疵又ハ汚染著シキモノ

三 口金ニシテ纖弱ナルモノ又ハ錆其ノ他ノ瑕疵若ハ汚染著シキモノ

四 纖條ノ光度不均一ナルモノ

五 導入線ニシテ電氣抵抗大ナルモノ又ハ其ノ膨脹係數封入部分ノ硝子ノ膨脹係數ニ比シ著シク異ルモノ

六 口金離脫シ易キモノ

七 口金、導入線、纖條間ノ接續不良ナルモノ

八 絕緣不良ナルモノ

九 眞空電球ニシテ排氣不十分ナルモノ

十 瓦斯入電球ニシテ纖條ニ有害ナル酸素其ノ他ノ不純物ノ混入セル瓦斯又ハ不適當ナル瓦斯ヲ保有スルモノ

十一 硝子球ノ容積消費電力ニ比シ不適當ナルモノ

十二 家庭電球ニシテ之ニ適合スル電壓竝ニ消費電力若ハ燭光ヲ表示セザルモノ

十三 家庭電球以外ノ電球ニシテ使用ニ耐ヘ得ル電壓ノ範圍ヲ表示セザルモノ

十四 タングステン纖條家庭電球ニシテ其ノ消費電力表示ノモノニ比シ左ノ如ク差異アルモノ但シ別表ニ標準能率ノ記載ナキモノハ此ノ限ニ在ラズ

眞空電球　七・五パーセント以上

六〇ワット以下ノ瓦斯入電球　一二・〇パーセント以上

六〇ワットヲ超ユル瓦斯入電球　一〇・〇パーセント以上

燭光ヲ表示シタルモノニ在リテハ別表ヲ基準トシ表示燭光ヨリ消費電力ヲ算出シ前項ノ規定ヲ準用スルモノトス

十五 タングステン纖條家庭電球ニシテ其ノ能率別表ノ標準能率ノ八六パーセント未滿又ハ一一四パーセントヲ超ユルモノ

能率ノ測定ハ表示電壓ノ一二〇パーセントノ電壓ノ下ニ三〇分間點燈シタル後之ヲ行フモノトス

十六 タングステン纖條家庭電球ニシテ表示電壓ノ一五〇パーセントノ電壓ノ下ニ點燈シタルトキ三・五時間以內ニ斷線スル虞アルモノ

十七 タングステン纖條家庭電球以外ノ電球ニシテ其ノ消費電力表示ノモノニ比シ著シク差異アルモノ、能率不良ナルモノ又ハ壽命短キ虞アルモノ

十八 裝飾用電球ニシテ彩色不良ナルモノ

十九 前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

(別表)

タングステン纖條家庭電球能率標準(單位ワット當ルーメン)

表示消費電力(ワット)＼表示電壓	一〇〇ボルトノモノ	一〇〇ボルトヲ超エ一三〇ボルト以下ノモノ	一三〇ボルトヲ超エ一五〇ボルト以下ノモノ	一五〇ボルトヲ超エ二一五ボルト以下ノモノ	二一五ボルトヲ超エ二三五ボルト以下ノモノ	二三五ボルトヲ超エ二六〇ボルト以下ノモノ
タングステン纖條家庭眞空電球						
七・五	六・〇〇	―	―	―	―	―
一〇・六	六・六六	六・一五	―	―	―	―
一二・五	七・一〇	六・六六	六・三〇	―	―	―
一五・〇	七・四五	七・一〇	六・七三	―	―	―
二〇・〇	七・八五	七・五〇	七・二五	六・五五	六・三五	六・〇〇
二五・〇	八・二〇	七・八五	七・六三	七・〇〇	六・八五	六・五〇
三〇・〇	八・三七	八・一〇	七・九〇	七・三五	七・一八	六・八〇
四〇・〇	八・八〇	八・五〇	八・三〇	七・七七	七・六五	七・四〇
六〇・〇	九・八三	九・五〇	九・三〇	八・七〇	八・五〇	八・〇〇

タングステン繊條家庭瓦斯入電球						
三〇・〇	八・三七	八・三五	七・八〇	—	—	—
四〇・〇	九・四三	九・二五	八・七〇	—	—	—
六〇・〇	一一・二〇	一〇・六〇	一〇・一〇	八・八〇	八・五〇	八・〇〇
七五・〇	一二・〇〇	一一・二〇	一〇・七〇	九・五〇	九・三〇	八・八〇
八〇・〇	一二・二〇	一一・四〇	一〇・九〇	九・七五	九・五〇	九・〇〇
一〇〇・〇	一三・〇〇	一二・一〇	一一・七〇	一〇・四〇	一〇・二〇	九・六〇
一五〇・〇	一四・三〇	一三・七〇	一三・一〇	一一・八〇	一一・五〇	一一・〇〇
二〇〇・〇	一五・三〇	一四・五〇	一四・一〇	一二・八〇	一二・四〇	一一・九〇
二五〇・〇	一六・〇〇	一五・三〇	一四・八〇	一三・六〇	一三・二〇	一二・八〇
三〇〇・〇	一六・五〇	一五・九〇	一五・四〇	一四・二〇	一三・九〇	一三・四〇
四〇〇・〇	一七・二〇	一六・六〇	一六・二〇	一五・〇〇	一四・八〇	一四・四〇
五〇〇・〇	一八・〇〇	一七・三〇	一六・九〇	一五・八〇	一五・五〇	一五・一〇
七五〇・〇	一九・〇〇	一八・五〇	一八・一〇	一六・九〇	一六・五〇	一六・三〇
一,〇〇〇・〇	二〇・〇〇	一九・二〇	一八・八〇	一七・五〇	一七・一〇	一六・八〇
一,五〇〇・〇	二一・〇〇	二〇・一〇	一九・七〇	一八・二〇	一七・七〇	一七・四〇

備考

一　本表中相隣レル二消費電力間ニ存在スル消費電力ニ對スル標準能率ハ消費電力ニ比例シテ變化スルモノト看做シ之ヲ算出スルモノトス

二　表示消費電力一〇〇ワット以下ノモノニシテ窒素瓦斯ヲ封入シタルコトヲ表示セルタングステン繊條家庭瓦斯入電球ノ標準能率ハ本表中當該表示消費電力ニ對スル標準能率ノ八〇パーセントト看做ス

三　タングステン繊條家庭電球ニシテ燭光ヲ表示シタルモノニ在リテハ本表及前二號ヲ基準トシ表示ノ燭光ニ對スル標準能率ヲ算出スルモノトス

フェルト帽子及同帽體

一　形體不整ナルモノ

二　瑕疵、汚染又ハ變色著シキモノ

三　生地ノ厚不均等ナルモノ

四　不良ナル原毛ヲ使用シタルモノ

五　地合粗笨ナルモノ

六　縮絨不適度ナルモノ

七　毛刈不均齊又ハ不適度ナルモノ

八　左ノ試驗ニ依リ脫色又ハ變色スルモノ

耐摩擦試驗

乾燥シタル精練漂白綿布ヲ指頭又ハ直徑約一・五糎ノ硝子棒ノ一端ニ緊縛シタルモノヲ以テ試料面ヲ五糎間五回往復摩擦ス

耐熱試驗

蒸溜水ニ浸漬シタル精練漂白綿布ヲ以テ試料面ヲ覆ヒ攝氏一五〇度乃至一八〇度ニ加熱シタル火熨斗ヲ以テ之ヲ壓シ乾燥スルニ至リテ止ム

九　染斑其ノ他ノ染色上ノ缺點著シキモノ

十　不適當ナル糊ヲ使用シタルモノ

十一　糊附不均等ナルモノ又ハ糊附後乾燥不十分ナルモノ

十二　糊附ニ因リ適度ノ柔軟性ヲ缺キタルモノ又ハ鍔ト頭部トノ色相著シク異リタルモノ

十三　縫絲織弱ナルモノ又ハ縫方粗雜ナルモノ

十四　仕上其ノ他ノ加工綿密ヲ缺キタルモノ

十五　附屬品不良ナルモノ又ハ其ノ附方亂雜ナルモノ

十六　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

ゴム玩具及ゴム運動具

一　形體不整ナルモノ

二　瑕疵又ハ汚染著シキモノ

三　厚著シク不均齊又ハ不均等ナルモノ

四　毬ニシテ厚一・二五粍未滿、貼合物ニシテ厚〇・三五粍未滿ノモノ又ハ海水帽ニシテ厚其ノゴム質ニ比シ不適當ナルモノ

五　ゴムノ比重、抗張力又ハ伸別表ノ標準ニ該當セザルモノ但シ直火加硫ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

六　ゴムニシテ容易ニ老化スル虞アルモノ又ハ表面ニ硫黄ヲ析出シタルモノ

七　風船又ハ水玉ニシテ粘著スルモノ

八　貼附不良ナルモノ

九　貼合物ニシテ水銀柱七〇粍ノ加壓空氣ヲ塡充シタルトキ空氣ノ漏洩スルモノ又ハ毬ニシテ塡充氣體容易ニ漏洩スル虞アルモノ

十　彩色、繪附又ハエナメルノ塗不良ナルモノ

十一　彩色又ハ繪附ヲ爲シタルモノニシテ攝氏五〇度ノ溫水中ニ五分間浸漬シ著シク脫色、褪色又ハ變色スルモノ

十二　研磨其ノ他ノ仕上加工不良ナルモノ

十三　毬ニシテ反撥方向著シク不規則ナルモノ又ハ二米ノ高ヨリ鐵板上ニ落下セシムルトキ反撥スル高一米未滿ノモノ但シエナメルヲ塗裝シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

十四　風船ニシテ一平方糎ニ付三〇瓦、水玉ニシテ一平方糎ニ付九〇瓦ノ空氣壓ニ耐ヘザルモノ

十五　附屬品不良ナルモノ又ハ其ノ附方亂雜ナルモノ

十六　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

(別表)

ゴム生地標準

		比重	抗張力(一平方糎ニ付)	伸
毬	直徑一〇糎未滿ノモノ	一・九五以下	二五瓩以上	二五〇%以上
	直徑一〇糎以上ノモノ	一・九〇	三五	三〇〇
型物	海綿ゴム膜ヲ以テ被覆シタルモノ	一・九〇	三五	三〇〇
	其ノ他ノモノ	二・〇〇	二〇	二五〇
貼合物		一・七五	六五	三三〇
海水帽		一・四〇	一三〇	六五〇
風船		—	—	六〇〇
水玉		—	—	五〇〇

綿タオル

一　原絲不良ナルモノ

二　別表製織標準ノ規定ニ適合セザルモノ但シ製織上製織標準ノ規定ニ依リ難キモノニシテ豫メ其ノ見本又ハ設計ニ依リ檢查機關ノ承認ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

三　地合粗笨ナルモノ又ハ地質脆弱ナルモノ

四　パイル構成部分ニ於ケルパイル經ノ長當該部分ニ於ケル地經ノ長ノ二倍未滿ノモノ

五　パイル抽出シ易キモノ

六　パイル不揃ナルモノ

七　パイル構成部分ト地ノ部分著シク均衡ヲ得ザルモノ又ハ其ノ限界不整ノモノ

八　織段著シキモノ

九　柄違ヒ、筬通シ違ヒ其ノ他製織上ノ缺點著シキモノ

十　乾燥不十分ナルモノ

十一　增量ヲ施シタルモノ

十二　酸又ハ鹽素ヲ殘留スルモノ

十三　精練、漂白其ノ他ノ整理不良ナルモノ

十四　マルセル石鹸及結晶炭酸曹達各〇・五パーセントヲ含ム沸騰水ニテ五分間煮沸シ著シク變色、褪色、脫色又ハ汚染スルモノ

十五　染滲ミ、染斑其ノ他染色上ノ缺點著シキモノ

十六　緣縫粗雜ナルモノ

十七　房不揃ナルモノ又ハ其ノ結不完全ナルモノ

十八　量目商習慣ニ合致セザルモノ

十九　反物ニシテ長、幅ノ寸法ヲ表示セザルモノ

二十　長、幅表示ノ寸法ニ該當セザルモノ

二十一　瑕疵、汚染其ノ他ノ缺點著シキモノ

二十二　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

(別表)

綿タオル製織標準(整理後)

標準番手 パイル經絲	地經絲	緯絲	密度(一・五吋間) 經絲數	緯絲數	合計
四番	一二番以上一六番以下	一六番以下	五二本以上	三三本以上	八五本以上
	四四番以下双絲	一六番以下	五六	三三	八九
五番又ハ六番	一二番以上一六番以下	一六番以下	五八	三三	九一
	四四番以下双絲	一六番以下	六〇	三三	九三
八番又ハ一〇番	一二番以上一六番以下	一六番以下	六二	三三	九五
	四四番以下双絲	一六番以下	六四	三三	九七
一二番又ハ一四番	一六番以上二二番以下	一六番以下	六六	三三	九九
一六番又ハ一八番	一六番以上二二番以下	一〇番以上一六番以下	六八	三六	一〇四
二〇番又ハ二四番	一八番以上二四番以下	一二番以上一六番以下	六九	三六	一〇五
	一八番以上二四番以下	一七番以上二二番以下	七〇	三九	一〇九
三〇番又ハ三二番	二〇番以上三二番以下	一六番以上三二番以下	七二	四八	一二〇
四〇番以上	二〇番以上四二番以下	二〇番以上四〇番以下	八〇	六〇	一四〇

備考

一　本表ハ前晒モノニ之ヲ準用ス但シ前晒モノニシテ一二番以上ノパイル經絲ヲ使用シタルモノハ緯絲ノ密度本表ノ數ニ六本加算シタルモノヲ適用ス此ノ場合經絲ノ密度本表ノ數ヨリ六本以內少キヲ妨ゲズ

二　本表中緯絲ノ番手及密度ハパイル構成部分ニ於ケル緯絲ノ番手及密度ヲ謂フ

三　經緯絲ノ密度本表ノ合計ニ滿ツルモノニ在リテハ緯絲ノ密度本表ノ數ヨリ三本以內少キヲ妨ゲズ

四　反物ニシテパイル經絲一六番以上ノモノヲ使用シタルモノハ緯絲ノ密度本表ノ數ニ六本、一六番未滿ノモノヲ使用シタルモノハ三本加算シタルモノヲ適用ス

自轉車用中空ゴムタイヤ及チューブ

一　形體不整ナルモノ

二　瑕疵著シキモノ

三　タイヤニシテ厚不均齊ナルモノ

四　タイヤニシテ接地面ノゴムノ最薄部ノ厚自轉車用ノモノニ在リテハ一・〇粍、リヤカー用ノモノニ在リテハ一・五粍、車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル三輪車用ノモノニ在リテハ二・五粍未滿ノモノ

五　チューブニシテ別表甲ノ標準ニ該當スル荷重ニ耐ヘザルモノ

六　ゴムノ抗張力又ハ伸別表乙ノ標準ニ該當セザルモノ但シタイヤノゴムニシテ攝氏七〇度ノ空氣中ニ二四時間放置シ抗張力減少セズ四八時間放置シ其ノ減少一〇パーセント以下、第九號ノ試驗ニ依ル永久歪六パーセント以下及第十二號ノ試驗ニ依ル一分間ノ磨滅度一平方糎ニ付〇・〇一二五立方糎以下ノモノハ此ノ限ニ在ラズ

七　タイヤノゴムニシテ容易ニ老化スル虞アルモノ

八　チューブノゴムニシテ攝氏一〇〇度ノ空氣中ニ三時間放置シ抗張力五パーセント以上減少スルモノ但シ攝氏七〇度ノ空氣中ニ二四時間放置シ抗張力減少セザルモノハ此ノ限ニ在ラズ

九　タイヤノゴムニシテ三・〇倍ノ長ニ伸張シ一分後急激ニ收縮セシメ收縮後五分ニシテ測定シタル永久歪一一・〇パーセント以上ノモノ但シ車輪ノ直徑六一〇粍以下ノ自轉車及三輪車用ノモノニ在リテハ二・三倍ノ長ニ伸張スルモノトス

十　チューブノゴムニシテ四・〇倍ノ長ニ伸張シ一分後急激ニ收縮セシメ收縮後三分ニシテ測定シタル永久歪一二・五パーセント以上ノモノ但シ車輪ノ直徑六一〇粍以下ノ自轉車及三輪車用ニ在リテハ三・五倍ノ長ニ伸張スルモノトス

十一　タイヤノゴムニシテ硬度不適當ナルモノ

十二　タイヤノゴムニシテウォリアムス式試驗機ニ依リ磨滅度試驗ヲ行ヒ一分間ノ磨滅度別表乙ノ標準ニ該當セザルモノ

前項ノ試驗ハ摩擦盤ニエメリーペーパー零番ヲ取附ケ之ヲ一分間三七回轉ノ速度ヲ以テ回轉シ試驗片ヲ摩擦盤ノ中心ヨリ六・五糎ノ距離ニ於テ一平方糎ニ付五〇〇瓦ノ力ヲ以テ摩擦盤ニ押壓シ之ヲ行フモノトス

十三　タイヤノ布地ノ抗張力別表丙ノ標準ニ該當セザルモノ

十四　タイヤノ針金ニシテ直徑一・八二九粍未滿ノモノ

十五　タイヤニシテゴムト布地トノ接著不十分ナルモノ又ハ布地間ノ接著力別表丁ノ標準ニ該當セザルモノ

十六　一平方糎ニ付一・五瓩ノ加壓空氣ヲ塡充シタルタイヤノ接地面八箇所以上ニ直徑九・五粍ノ球形衝撃面ヲ有スル重量四・二瓩ノ鐵製衝撃錘ヲ落下セシメタル

トキタイヤノ裏布剝離シ又ハ損傷スルモノ

前項ノ試驗ニ於テ衝撃錘ノ高ハ車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル自轉車用ノモノニ在リテハ一八糎、リヤカー及車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル三輪車用ノモノニ在リテハ二二糎トス

十七　チューブニシテ機合不良ナルモノ

十八　チューブニシテ空氣漏不良ナルモノ又ハ其ノ取附不完全ナルモノ

乙　ゴム抗張力、伸及摩滅度標準

種類	抗張力（一平方粍ニ付）	伸（一平方粍ニ付）	摩滅度（一平方粍ニ付）
車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル自轉車用	瓩以上 七五	粍以上 三〇〇	立方粍以下 〇・〇一七五
車輪ノ直徑六一〇粍以下ノ自轉車及三輪車用	六〇	二〇〇	〇・〇二〇〇
リヤカー用 車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル三輪車用	三三 八五	二〇〇 三三〇	〇・〇一五〇

丙　布地抗張力標準

種類	抗張力（一糎ニ付）
車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル自轉車用	瓩以上 一一八
車輪ノ直徑六一〇粍以下ノ自轉車及三輪車用	一〇
リヤカー用 車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル三輪車用	三三 三八

丁　布地間接著力標準

種類	接著力（幅一糎ニ付）
車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル自轉車用	瓩以上 三・〇
車輪ノ直徑六一〇粍以下ノ自轉車及三輪車用	二・五
リヤカー用 車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル三輪車用	三・五 四・〇

十九　前各號ノ一ニ該當セザルモ不良ト認メラルルモノ

（別表）

甲　チューブ荷重標準

種類	荷重（幅一糎ニ付）
車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル自轉車用	瓩 七・二
車輪ノ直徑六一〇粍以下ノ自轉車及三輪車用	六・四
リヤカー及車輪ノ直徑六一〇粍ヲ超ユル三輪車用	七・六

◎遞信省告示第二千六百五十九號

昭和六年七月遞信省告示第千四百號中左記第二號「使用ニ期間アルモノニ左ノ通追加ス

昭和十一年十月十日

遞信大臣　賴母木桂吉

使用期間　使用局所　日附印形式

昭和十一年十月十五日ヨリ上諏訪溫泉秋季競馬大會終了ノ日迄	上諏訪郵便局上諏訪溫泉競馬場內臨時出張所	11.10.15 訪諏上
自昭和十一年十月十五日至同年同月二十一日	弘前郵便局奥羽北海道工產物共進會第一會場內臨時出張所	11.10.15 前弘
自昭和十一年十月十六日至同年同月十八日	埼玉縣深谷郵便局埼玉縣立商業學校內臨時出張所	11.10.16 谷深・玉埼
同	堅磐郵便局神明社境內臨時出張所	11.10.16 橋豐
自昭和十一年十月十六日至同年同月十九日	金澤郵便局尾崎神社境內臨時出張所	11.10.16 澤金

（參照）

昭和六年七月遞信省告示第千四百號ハ國條文字ヲ概入セル通信日附印使用ノ件ナリ

◎遞信省告示第二千六百六十號

北海道爾志郡熊石村立熊石港防波堤燈臺ハ送電線流失ノ爲昭和十一年十月五日ヨリ同月末日頃迄本燈ヲ撤去シ豫備ノ石油燈ヲ揭揚スル旨北海道廳ヨリ報告アリタリ追テ復舊ノ上ハ更ニ告示スベシ

昭和十一年十月十日

遞信大臣　賴母木桂吉

◎遞信省告示第二千六百六十一號

左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十一年十月十日

遞信大臣　賴母木桂吉

關係告示	所施設者名	機器裝置場所	新施設者名
大正十五年三遞信省告示第六百	日魯漁業株式會社	汽船東榮丸	荻布海商株式會社

◎遞信省告示第二千六百六十二號

昭和十一年十月三日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ

昭和十一年十月十日

遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	舊位置	新位置
東榮丸無線電信取扱所	日魯漁業株式會社所屬汽船東榮丸	荻布海商株式會社所屬汽船東榮丸

◎遞信省告示第二千六百六十三號

昭和十一年十月六日ヨリ大正十四年九遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「昭隆丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和十一年十月十日

遞信大臣　賴母木桂吉

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
豫州丸（ヨシュウマル）託送（日之出汽船株式會社豫州丸）	JEAI	各海岸局及各船舶局	和文電報

自昭和十一年十月十五日至同年同月十七日	岡崎郵便局	11.10.15 崎岡
同	三重縣木本郵便局、同尾鷲郵便局、同飛鳥郵便局	11.10.15 本木・重三
昭和十一年十月十五日	神戸中央郵便局軍艦熊野進水式場內臨時出張所	11.10.15 央中戸神
昭和十一年十月十五日ヨリ鹿兒島競馬會終了ノ日迄	鹿兒島郵便局競馬場內臨時出張所	11.10.15 島兒鹿

局名ハ各別ノモノヲ使用ス

許可 2934 3

◎遞信省告示第二千六百六十四號

左記郵便局ニ下記ノ日ヨリ電話交換業務ヲ開始ス

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置	實施期日
久留米郵便局	東京府北多摩郡久留米村	昭和十一年十月十日
上黒駒郵便局	山梨縣東八代郡黒駒村	昭和十一年十月十一日
山内郵便局	神奈川縣都筑郡山内村	
麻溝郵便局	同高座郡麻溝村	昭和十一年十月十二日
黒子郵便局	茨城縣眞壁郡黒子村	昭和十一年十月十五日

◎遞信省告示第二千六百六十五號

昭和十一年十月十五日ヨリ左記電信電話取扱所ニ電話交換業務ヲ開始ス

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置
大和電信電話取扱所	東京府北多摩郡大和村

◎遞信省告示第二千六百六十六號

昭和十一年九月三十日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「勢州丸託送」ノ項ヲ削除ス

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

◎遞信省告示第二千六百六十七號

昭和十一年十月六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ呼出事務ヲ取扱ハズ

本電話官署ニ對スル通話ハ加入者相互間ノ通話ニ準ジ之ヲ取扱フ

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置
白鬚郵便局	東京市向島區寺島七丁目

◎遞信省告示第二千六百六十八號

昭和十一年十月九日限リ左記郵便局ニ於ケル電話規則ニ依ル電話事務ヲ廢止ス但シ當該事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置	承繼局
温海郵便局	山形縣西田川郡温海村大字温海	温海温泉郵便局

◎遞信省告示第二千六百六十九號

左記郵便局ニ下記ノ日ヨリ電信及電話通話事務ヲ開始ス

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置	實施期日
上牧郵便局	岐阜縣武儀郡上牧村	昭和十一年十月十一日
城河原郵便局	熊本縣天草郡城河原村	昭和十一年十月十四日
本村郵便局	同同本村	
川場郵便局	群馬縣利根郡川場村	昭和十一年十月十五日
高平郵便局	同同高平村	

◎遞信省告示第二千六百七十號

昭和十一年十月十五日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置
大島松原郵便局	鹿兒島縣大島郡天城村大字松原
西山郵便局	同薩摩郡下甑村大字瀬々野浦

◎遞信省告示第二千六百七十一號

昭和十年九月遞信省令第三十號電氣用品取締規則ニ依リ左記ノ通昭和十一年九月十七日電氣用品ノ製造ヲ免許セリ

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

免許證書番號　第六〇五號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市下谷區御徒町一丁目五六番地　水谷電器製作所　水谷嘉右衛門

免許證書番號　第六〇六號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　名古屋市西區南押切町六丁目二三番地　宍戸文夫

免許證書番號　第六〇七號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市豐島區西巣鴨三丁目九八二番地　花形電機製作所　小尾武善

免許證書番號　第六〇八號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市本所區厩橋三丁目三番地　中島銅工場電氣部　中島松太郎

免許證書番號　第六〇九號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　大阪市浪速區稻荷町一丁目九九三番地　オーサン電器製作所　神吉富太郎

免許證書番號　第六一〇號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市荒川區日暮里町七丁目三九八番地　久保電熱器製作所　久保德治

免許證書番號　第六一一號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及名稱　大阪市東淀川區豐崎西通一丁目六番地　合名會社日新電熱器製作所

免許證書番號　第六一二號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　京都市下京區東九條烏丸町三五番地　オクダ電熱器製作所　奥田憲太郎

免許證書番號　第六一三號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市本所區小梅三丁目二番地一　其浦電機製作所　其浦利一

免許證書番號　第六一四號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市城東區龜戸町四丁目一九〇番地　勝田電熱器製作所　勝田德七

免許證書番號　第六一五號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及名稱　東京市芝區西芝浦四丁目一番地　芝浦電氣工業株式會社

免許證書番號　第六一六號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市神田區美土代町三番地四號　五福電機工業所　河橋憲司

免許證書番號　第六一七號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日

申請者ノ營業所及名稱　名古屋市東區主税町四丁目三三番地　合資會社中部電機製作所

免許證書番號　第六一八號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及名稱　東京市麴町區丸ノ内二丁目四番地　三菱電機株式會社

免許證書番號　第六一九號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　大阪市南區難波新地五番町七二番地　コクホ電熱器製作所　加茂義光

免許證書番號　第六二〇號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市大森區大森三丁目二四九番地　安增電熱工業所　安增順吾

免許證書番號　第六二一號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市本所區石原町一丁目一五番地　關電機製作所　關武四郎

免許證書番號　第六二二號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及名稱　東京市大森區大森二丁目一九八番地　山中電機株式會社

免許證書番號　第六二三號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市芝區白金三光町五一〇番地　東京電化製造所　渡邊義雄

免許證書番號　第六二四號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市芝區新橋一丁目三番地ノ一　電氣自働調節蓄熱保温器製作所　平武男

免許證書番號　第六二五號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市世田谷區池尻町二一一番地　淺井電機製作所　淺井喜太郎

免許證書番號　第六二六號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　東京市本郷區動坂町九番地　大谷工作所　大谷康吉

免許證書番號　第六二七號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　大阪市港區九條南通二丁目一六六番地ノ一　南川鹿三

免許證書番號　第六二八號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　大阪市西區幸町通五丁目二五番地　服部吉藏

免許證書番號　第六二九號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　大阪市港區市場通二丁目一番地　細川嘉一

免許證書番號　第六三〇號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及氏名　大阪市天王寺區堂ヶ芝町六八番地　松本電熱器商會　早川賢治郎

免許證書番號　第六三一號
電氣用品ノ種別　電熱器
免許有效期間　自昭和十一年九月十七日　至昭和十六年九月三十日
申請者ノ營業所及名稱　大阪市東淀川區野中南通一丁目一六番地　松下電熱株式會社

◎遞信省告示第二千六百七十二號

昭和十一年十月十五日以降沼津市内ニ在ル各郵便局ヲシテ沼津市ヲ支拂地トスル小切手ニ限リ郵便振替貯金小切手拂込規則ニ依リ之ガ受入ヲ爲サシム

昭和十一年十月十日　遞信大臣　賴母木桂吉

◎鐵道省告示第三百五十六號

銅線其ノ他ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十一年十月十日　鐵道大臣　前田米藏

一品名　銅線。銅。亞鉛。アルミニウム。アルミニウム線
一發驛　日光。横濱港
一著驛　梅田。尼ヶ崎。大里。日光。東横濱
一扱種別　貸切扱
一期間　自昭和十一年十月十日　至昭和十二年四月九日
一賃率　普通賃率ノ二割二分減
一條件　イ　一般賃率ニ依リ通計八、〇〇〇瓩以上託送シタルモノニ對シ四六〇瓩ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓩數ニ就キ運輸帳表取扱手續ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス
ロ　東横濱著ハアルミニウム線ニ限リ適用ス

◎鐵道省告示第三百五十七號

黄麻布其ノ他ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十一年十月十日　鐵道大臣　前田米藏

一品名　黄麻布。黄麻絲。黄麻袋。結束用紐。捲絲
一發驛　住吉(東海道)。東灘
一著驛　汐留。保土ヶ谷。赤羽。南武鐵道川崎河岸
一扱種別　貸切扱
一期間　自昭和十一年十月十一日　至昭和十二年四月十日
一賃率　省線内普通賃率ノ三割減
一條件　一般賃率ニ依リ通計一、二〇〇瓩以上託送シタルモノニ對シ運輸帳表取扱手續ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス

正誤

去月十六日遞信省告示第二千二百九十六號名稱中北輪内ノ傍訓「キタワナイ」ハ「キタワウチ」同二十四日同第二千四百十五號中位置ノ部二行「鳥柵舞村」ハ「鳥柵舞村」一昨八日同第二千六百十七號中新施設者名ノ部「淺山汽船」ハ「澤山汽船」ノ孰モ誤

遞信書記官

一昨八日同告示第二千六百三十二號中二四三頁四段五行「秦平兵衛」ハ「秦平兵衞」同段終ヨリ四行「須永力藏」ハ「須永力造」昨九日同第二千六百五十四號中二七八頁一段終ヨリ十行「空堀町」ハ「空堀通」昨九日官報二七五頁一段「大藏省告示第三百九十七號」ハ「大藏省告示第二百九十七號」ノ孰モ誤植

敍任及辭令

◎昭和十一年九月二十五日
從六位　渡邊一忠
敍正六位

◎昭和十一年十月七日
正六位勳六等　菅野龍策
敍從五位

◎昭和十一年十月八日
海軍少佐從六位勳五等　河合秀夫
任海軍中佐
從六位勳五等　河合秀夫
敍正六位

第 2934 号 本文

第 2934 号 本文

東京市會議員　市倉　兼吉
同　伊藤仁太郎
同　本田　義成
同　鈴木慶四郎
同　石原　永明
同　小針孫太郎
同　加藤　榮助
同　鏑木小平次
同　綾井　樹
同　横瀬　精一
同　北島　眞平
同　高木　惣市
（各通）
都市計畫東京地方委員會委員ヲ命ス
松本市會議員　北原　義雄
都市計畫長野地方委員會委員ヲ命ス
福島縣耶麻郡喜多方町會議員　松崎政五郎
同　若狹　新吾
（各通）
都市計畫福島地方委員會委員ヲ命ス
福島縣耶麻郡喜多方町助役　山口　峻一
都市計畫福島地方委員會幹事ヲ命ス
石川縣能美郡小松町會議員　長多　伊八
同　和田傳四郎
同　坂本彌三郎
同　河島　三榮
（各通）
都市計畫石川地方委員會委員ヲ命ス
石川縣江沼郡大聖寺町助役　村田安太郎
都市計畫石川地方委員會幹事ヲ命ス
地方事務官　越村安太郎
市制第百七十條第二項ニ依リ青森縣市吏員
町村制第百五十條第二項ニ依リ青森縣町村吏員懲戒審査會員ヲ命ス
司税官　管　粲
土地收用法第三十八條第二項ニ依リ秋田縣收用審査會委員ヲ命ス（以上內務省）
由良航海長兼分隊長赤城航海長海軍大尉　島村　信政
兼補龍田航海長（以上海軍省）

陸軍技師　石光　眞俊
鐵道省工作局長　紀伊　壽次
（各通）
臨時產業合理局生產管理委員會委員ヲ囑託ス
鐵道技師　中井　秀雄
臨時產業合理局生產管理委員會臨時委員ヲ囑託ス（以上商工省）
師範學校教諭　猪子　旋吉
六級俸當分千八百圓下賜
同　國澤　博
七級俸當分千六百拾圓下賜
同　須賀原又雄
七級俸當分千六百參拾六圓下賜
同　原田　秋晉
七級俸當分千五百九拾圓下賜
公立中學校教諭　熊谷　佐平
六級俸當分千七百拾圓下賜
同　藤田喜久男
六級俸當分千六百六拾圓下賜
同　竹田　八雄
七級俸當分千五百圓下賜
公立高等女學校教諭　飯塚　丈夫
八級俸當分千四百四拾圓下賜
同　古木　光秋
九級俸當分千貳百八拾圓下賜
公立實業學校教諭　是洞　健雄
七級俸當分千六百圓下賜
同　關田　九平
七級俸當分千五百拾參圓下賜
同　小澄　晉
七級俸當分千六百貳拾圓下賜
同　鈴木　文雄
八級俸當分千參百八拾圓下賜
同　原　吉之助
七級俸當分千四百八拾圓下賜（以上詰群馬縣）

土木主事　深野小次郎
十一級俸下賜
地方農林主事　增市勝治郎
同　瀧井　芳一
（各通）
十級俸下賜
同　足立　潔
八級俸下賜
同　宮本宗次郎
地方商工主事　吉川善治郎
同　後藤　謹二
（各通）
十級俸下賜（以上詰奈良縣）
公立實業學校教諭　永田　淸一
八級俸當分年俸千參百八拾圓下賜（詰靜岡縣）
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年八月七日ヨリ年功加俸年額金百九拾貳圓下賜
公立中學校教諭　木村　善淳
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年八月二十二日ヨリ年功加俸年額金百九拾貳圓下賜
公立實業學校長　奈良　和夫
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年八月二十四日ヨリ年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（以上詰同）
公立專門學校長　宮道　悅男
二級俸下賜（詰岐阜縣）
公立實業學校教諭　友成　英助
六級俸當分千七百圓下賜（詰同）
公立中學校教諭　及川時次郎
八級俸當分千四百貳拾八圓下賜
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年八月三十一日ヨリ年功加俸年額貳百貳拾九圓下賜
同　兒玉　力藏
七級俸當分千五百八拾四圓下賜
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年八月三十一日ヨリ年功加俸年額百五拾貳圓下賜

同　齋藤淸次郎
九級俸當分千貳百貳拾四圓下賜
公立高等女學校教諭　高橋久次郎
八級俸下賜
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年八月三十一日ヨリ年功加俸年額百六圓下賜
師範學校舍監　關根　梁應
加俸年額參拾圓下賜（以上詰岩手縣）
公立中學校教諭　吉田長次郎
六級俸下賜（詰同）
道路技師兼土木技師　田原　秀男
七級俸下賜
衞生技師　荒木謙之助
地方農林技師　千葉　進
（各通）
十級俸下賜
地方統計主事　北條虎次郎
地方商工主事　久永　久
（各通）
十一級俸下賜（以上詰山形縣）
公立高等女學校長　廣山　仲
五級俸下賜（詰秋田縣）
師範學校教諭　藤井　周一
三級俸下賜（詰愛媛縣）
公立青年學校長　時任　要
同　桑畑　荒太
（各通）
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十年十月二十日ヨリ年功加俸年額金貳百拾六圓下賜
同　時任　義彥
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十年十月二十日ヨリ年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（以上詰宮崎縣）
公立高等女學校教諭　松川　敏男
七級俸當分千五百六拾圓下賜（詰同）

正誤

本月六日本欄一六五頁一段竹內壽吉ハ竹村壽吉ノ報告誤
內務書記官

宮廷錄事

◎神嘗祭賢所ノ儀　本月十七日神嘗祭賢所ノ儀ヲ行ハセラル

一親王親王妃王王妃王族公族
右午前九時五十分賢所參集所ニ參集
一大勳位親任官　前官禮遇貴族院議長衆議院議長勳一等功一級　親任官待遇公爵從一位勅任官貴族院副議長衆議院副議長　麝香間祗候侯爵正二位功二級錦鷄間祗候勅任待遇
右午前九時三十分賢所參集所ニ參集
一神佛各宗派管長伯爵子爵男爵從二位以下有位者勳二等以下及功三級以下有勳者貴族院議員衆議院議員奏任官同待遇門跡寺院ノ住職
右正午ヨリ午後一時迄ニ參拜
一判任官同待遇
右午後一時ヨリ同二時迄ニ參拜
服裝男子ハ大禮服正裝服制ナキ者ハ通常禮服女子ハ通常服又ハ袿袴禮服管長及住職ハ大禮服ニ相當スル服

◎行幸竝御陪食　天皇陛下ハ一昨八日午前九時行在所御出門同九時六分札幌驛御發車同九時十四分琴似驛御著車北海道工業試驗場、北海道農事試驗場ニ行幸同十一時十三分琴似驛御發車同十一時二十分札幌驛御著車同十一時二十六分行在所ニ還幸午後零時五十八分行在所御出門御親閱場（札幌飛行場）、北海道帝國大學ニ行幸同五時五分行在所ニ還幸同六時三十分行幸關係者其他ヘ御陪食仰付ケラレタリ

◎皇后宮行啓　皇后陛下ハ一昨八日午前十一時御出門大宮御所ヘ行啓午後四時四十五分還御アラセラレタリ

◎幣帛下賜　九州帝國大學名譽教授伊東祐彥薨去ニ付昨九日幣帛ヲ下賜セラレタリ

彙報

○官廳事項

◎處務細則中改正　島根縣ニ於テ處務細則ヲ改正シ學務部學務課ヲ學務部教育課ト、經濟部山林課ヲ經濟部林務課ト改稱シ尙ホ事務分掌ヲ一部改メ本月一日ヨリ施行セリ

◎農村經濟更生中央委員會委員、幹事囑託及任命　農村經濟更生中央委員會ノ委員、幹事ヲ昨九日左ノ通囑託及任命セリ

內閣調査局調査官　小濱　八彌
拓務省拓務局長　高山　三平
從四位勳三等　本位田祥男
從三位勳三等　香坂　昌康
（各通）
農村經濟更生中央委員會委員ヲ囑託ス
從四位勳三等　平塚　英吉
正五位勳三等　藤岡　光長
從四位勳三等　春日　信市
從四位勳五等　釘本　昌二
從七位　小西德治郎
勳八等　金井文太郎
島　卯兵衞
（各通）
農村經濟更生中央委員會臨時委員ヲ囑託ス
內閣調査局調査官　和田　博雄
內務書記官　木村　淸司
（各通）
農村經濟更生中央委員會幹事ヲ囑託ス
農林書記官　山口　立
同　山中　鍊治
農林書記官男爵　平山洋三郎
農林書記官　吉田　淸二
同　村上富士太郎
馬政局事務官　伊藤兆之助
（各通）
農村經濟更生中央委員會幹事ヲ命ス

◎退職　長崎縣公立小學校長宮崎泉ハ去月二十四日、德島縣公立小學校長後藤珉太郎ハ同三十日孰モ願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ

◎官吏死去　拓務技師正七位勳七等岩月源一郎ハ去月十七日死去セリ

◎教職死去　長崎縣公立小學校長正八位永留仁三郎ハ去月十九日、大阪府公立小學校長正八位中島一雄ハ同二十二日孰モ死去セリ

○陸海軍

◎水路告示第四十號　（一二〇〇項……一二三五項）

昭和十一年十月十日　水路部長　太田垣富三郎

●11年1200項（豫告）
北海道南岸　珸瑤瑁水道—納沙布埼燈臺　燈質變更
記事　納沙布埼燈臺ハ昭和11年10月下旬頃其ノ燈質（閃白光、紅光分弧アリ）ヲ明暗白光ニ變更セラル
位置　根室半島東端
Lat. 43° 23'.0 N.　Long. 145° 49'.2 E.
（概位）
略記　Occ. ev. 4 sec. 23 m. 14½ M.（豫告）
細目　燈質明暗白光、每4秒ニ1光（明2秒暗2秒）●其ノ他從前通
海圖　8—18—25—42—34—37
誌類　誌100A. 797番
出所　昭和11年10月2日官報遞信省告示2510號

●11年1201項
津輕海峽北側—函館港　目標存在
記事　函館港內東濱測候所南東方約230米ニ函館驛構內照明燈存在シ晝夜共好目標トナルト謂フ
位置　測候所 S. Sig ○ヨリ　142°　232米
Lat. 41° 46'.7 N.　Long. 140° 44'.1 E.
（概位）
細目　500「ワット」投光器（2箇）●構造　四角形櫓鐵造、地上高13米
注意　(1)海圖上上記位置ニ○符ヲ記載シ「櫓（電燈）」ヲ附記ス
(2)函館驛構內ニハ上記位置ヨリ南方ニ尙6箇ノ照明燈アリ
(3)海圖6號總圖上部右側ニ記載シアル「龜田村」ヲ「龜田町」ニ改記ス
海圖　6（分圖共）
誌類　十誌3A. 35頁
出所　函館運輸事務所

●11年1202項（一時關係）
北海道西岸—熊石港防波堤燈臺　豫備燈點燈
記事　熊石港防波堤燈臺（不動白光）ハ送電線流失ノ爲昭和11年10月5日ヨリ同年11月末日頃迄豫備石油燈ヲ點セラル
位置　船入澗防波堤端
Lat. 42° 07'.5 N.　Long. 139° 58'.9 E.
（概位）
海圖　11—10—43
誌類　誌3A. 173頁——誌100A. 858番
出所　燈臺局

●11年1203項＊
北海道西岸　天賣島—船泊北防波堤燈臺
記事　9年518項ヲ以テ設置ノ旨豫告セル天賣港船泊北防波堤燈臺ハ點燈セラレタリ
位置　天賣港船泊北防波堤外端
鷗崎南西方△(143)ヨリ　50°　1,360米
Lat. 44° 26'.3 N.　Long. 141° 20'.0 E.
（概位）
略記　F. R. 5_4 m. 5 M. (U)
細目　燈質不動紅光●燈高平均水面上5.42米●光達5浬●燭光數18（石油燈）●等級無等●明弧全度●構造紅塗八角形コンクリート造、礎上燈高3.55米●無看守●北海道廳立
海圖　40—41
誌類　十誌3A. 148頁——十誌100A. 883番
誌3A. 142頁貼附ノ9年518項（別紙）
出所　昭和11年10月3日官報遞信省告示2581號

●11年1204項＊
北海道西岸　利尻島—美也古呂港　燈臺設置
記事　10年518項ヲ以テ設置ノ旨豫告セル美也古呂港船入澗防波堤外端ノ燈臺ハ昭和11年10月1日點燈開始セラレタリ
位置　船入澗防波堤外端（圖載ナシ）
Lat. 45° 12' 36" N.　Long. 141° 08' 12" E.
略記　F. 5_8 m. 8½ M. (U)
細目　燈質不動白光●燈高平均水面上5.8米●光達8.5浬●燭光數80（電燈）●等級無等●明弧全度●構造白塗圓形コンクリート造、礎上燈高2.8米●無看守●[illegible]
注意　(1)海圖41號上美也古呂ニ"Piyakoro"ヲ"Biyakoro"ト改記ス
(2)誌3號A. 135頁6行中「（ピヤコロ）」ヲ「（ビヤコロ）」ニ改記ス
(3)誌3號A. 地名索引2頁左欄11行ノ次ニ別紙(2)ニ依リ"Biyakoro kō 美也古呂港……135"ヲ記載シ、同8頁左欄下ヨリ10行「Piyakoro kō 美也古呂港……135」ヲ削除ス

海圖　33――41――3
誌類　†誌 3A. 135 頁――(注意 2) 誌 3A. 135 頁――†(注意 3)誌 3A. 地名索引 2 頁――(注意 3)同地名索引 8 頁――† 誌 100A. 828 番 a (挿入)――10 年 518 項(削除)
出所　北海道廳、遞信省管船局

◎11 年 1205 項(一時關係)

東京海灣―東京港沖合　海苔増殖地設置
記事　東京港入口航路ノ 西側及荒川放水路ノ 沖合ニ東京市ノ施設ニ係ル 海苔増殖地設置セラレタリ
(1)區域　航路西側、下記(イ)(ロ)、(イ)(ハ)ヲ兩邊トスル矩形內
(イ)立會川河口南方 埋立地東端ヨリ 94°　1,955 米
(ロ)(イ)ヨリ　49°　330 米
(ハ)(イ)ヨリ(イ)(ロ)線ニ直角ニ 南東方　140 米
Lat. 35° 35′.6 N.　Long. 139° 46′.1 E. (概位)
(2)區域　荒川放水路沖合、下記 (ニ) (ホ)、(ニ)(ヘ)ヲ兩邊トスル矩形內
(ニ)舊第 3 砲臺南端ヨリ　106°　5,700 米
(ホ)(ニ)ヨリ　92°　350 米
(ヘ)(ニ)ヨリ(ニ)(ホ)線ニ直角ニ 南方 400 米
Lat. 35° 36′.8 N.　Long. 139° 50′. 3 E. (概位)
期間　昭和 11 年 9 月至同 12 年 6 月
海圖　(1)1065――60――1061――90
誌類　誌 1A. 45 頁
出所　東京市

◎11 年 1206 項(一時關係)

横濱港―第 1 區　沈船存在
記事　横濱港第 1 區 第 15 番 繫船浮標ノ 南方附近ニ貨物ヲ滿載セル艀沈沒、晝間 ハ紅旗、夜間ハ紅燈ヲ揭ケラル
位置　新港町岸壁起重機○ヨリ　15°　390 米
Lat. 35° 27′.4 N.　Long. 139° 38′.8 E. (概位)
海圖　66――67――69

誌類　誌 1A. 36 頁
出所　横濱稅關港務部

◎11 年 1207 項

事項消滅ニ付削除ス

◎11 年 1208 項 *

內海―西宮港　燈臺設置、燈竿撤去
記事　11 年 893 項ヲ以テ 西宮港防波堤外端ニ設置ノ旨豫告セル 燈臺ハ昭和 11 年 10 月 1 日點燈開始セラレ從來ノ 同港假設燈竿ハ撤去セラレタリ
(1)西宮港防波堤燈臺
位置　防波堤東端
Lat. 34° 42′.9 N.　Long. 135° 20′.6 E. (概位)
略記　F. *13 m. 11½* M. (U)
細目　燈質不動白光(電燈)◉燈高平均水面上 12.7 米◉光達 11. 5 浬 ◉燭光數 490、等級無等◉明弧全度◉構造白塗六角形櫓、下部コンクリート造上部鐵造、礎上燈高 9.65 米◉無看守
(2)西宮港假設燈竿
位置　上記(1)位置ノ北東方約 580 米
略記　F. *R. 16 m. 11* M.(U)(*Tempy.*)
注意　書誌 2 號追.19 頁 13 行至 15 行「97 頁 23 行至 24 行西宮港假設燈竿改正記事」ヲ削除ス
海圖　1103――150――106――100A
誌類　†誌 2.97 頁――(注意) 誌 2 追.19 頁――†誌 100A.245 番(削除、挿入)――11年 893 項(削除)
出所　昭和 11 年 10 月 1 日官報遞信省告示 2536 號

◎11 年 1209 項

內海　燧灘南側―新居濱港　假設桂燈浮標碇置
記事　新居濱港防波堤工事中 危險區域ヲ示ス爲防波堤豫定位置ノ外端附近ニ「伊豫、新居濱港假設桂燈浮標」碇置セラレタリ
位置　御代島△(75)ヨリ　60°　900米
Lat. 33° 58′.6 N.　Long. 133° 16′.0 E. (概位)

略記　El. *ev. 3 sec. 8* M. (*Tempy.*)
細目　燈質閃白光、毎 3 秒ニ 1 閃◉燈高水面上 3.4 米◉光達 8 浬◉燭光數 60 ◉構造 黑塗圓筒形、上部ニ櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ揭ク、鐵造◉愛媛縣立
注意　上記浮標ト既成防波堤トノ間ハ船舶ノ 航行危險ナリ
海圖　102――153
誌類　†誌 2.169 頁――†誌 100A. 308 番 a (挿入)
出所　昭和 11 年 10 月 6 日官報遞信省告示2598 號

◎11 年 1210 項(一時關係)

內海―三田尻港外　沈船存在
記事　昭和 11 年 10 月 3 日三田尻港外ニ於テ 發動機船 浮島丸 (64 噸、長サ約 23 米、石炭 118 噸積載) 沈沒、標識トシテ船體ニ 黃赤旗及救命浮標ヲ附ス
位置　向島錦山頂○(354)ヨリ　121°　5,177 米
Lat.33° 58′. 8 N.　Long. 131° 37′. 8 E. (概位)
海圖　126――1101――100B
誌類　誌 2.283 頁
出所　軍艦霧島、同北上、同靑葉

◎11 年 1211 項(一時關係)

下關海峽　大瀨戶―弟子待至小森江　海底地質調査施行
記事　昭和 11 年 10 月 15 日至同 11 月 30 日間、弟子待至小森江海底地質調査ノ爲 晝間ノ憩潮時約 1 時間海底ニ於テ 火藥約 1 瓩ノ爆發ヲ行フ、作業船 (モーターボート及傳馬船) ハ鐵道省旗及赤旗ヲ揭ケ 警戒ニ從事ス
位置　弟子待　Lat. 33° 55′.3 N.　Long. 130° 55′.7 E. (概位)
小森江　Lat. 33° 55′.0 N.　Long. 130° 56′.6 E. (概位)
海圖　128――1225――1226――135
誌類　誌 2.296 頁
出所　門司稅關港務部

◎11 年 1212 項(一時關係)

朝鮮西岸―孟骨水道　竹島燈臺假燈點燈
記事　孟骨水道南假竹島燈臺ハ修理ノ爲昭和 11 年 10 月 6 日ヨリ約 40 日間本燈ヲ撤去、同位置ニ下記ノ假燈點セラル
位置　竹島頂
Lat. 34°13′.3 N.　Long. 125° 51′.0 E. (概位)
略記　Fl. *ev. 6 sec. 85 m. 10* M.
細目　燈質閃白光、毎 6 秒ニ 1 閃◉光達 10 浬
海圖　341――303――302
誌類　誌 6B. 16 頁――誌 100A. 1013 番
出所　朝鮮總督府遞信局

◎11 年 1213 項

日本海北側及韃靼海灣　無線標識設置
(1)記事　韃靼海灣南部 C. Peschanuii 燈臺ニ 無線標識附設セラレタリ
位置　C. Peschanuii 上
Lat. 48° 26′.8 N.　Long. 140° 10′.5 E. (概位)
發射標識符號　• ━ • •
細目　使用波長 998 米◉執務時間毎日 1348―1412, 1748―1812, 2148―2212, 0148―0212, 0548―0612, 0948―1012 (G. M. T.)
注意　(イ)海圖上 上記燈臺ノ 略記ニ“R C Stn.”ヲ附記ス
(ロ)上記無線標識ハ霧、暴風雪及密濛ノ 際上記時刻ニ符號ヲ發射ス(2 分間送信 4 分間休止)
(ハ)書誌 11 號 A. 217 頁左下ニ 記載シアル立標挿繪及 附記ノ名稱ヲ別紙貼附ニ依リ削除ス
(2)記事　韃靼海灣南部 Zolotoi 燈臺ノ 西方 3 鏈ニ Zolotoi 無線標識設置セラレタリ
位置　Zolotoi 燈臺(閃白光)ヨリ　270°　3 鏈
Lat. 47° 19′.2 N.　Long. 138° 59′.2 E. (概位)
發射標識符號　━━ • ━━ •
細目　使用波長 960 米◉執務時間毎日1348―1412, 1748―1812, 2148―2212, 0148―1212, 0548―0612, 0948―1012 (G. M. T.)

注意　(イ)海圖 1310 號上 上記位置ニ ⊕符ヲ記載、“RC”ヲ附記シ、海圖 1312 號及 1022 號上 上記燈臺ノ 略記ニ“(R C Stn.)”ヲ附記ス
(ロ)上記無線標識ハ毎日上記 時刻ニ又霧、暴風雪或ハ密濛ノ際ハ間斷ナク符號ヲ發射ス
(ハ)書誌 11 號 A 追. 11 頁下ヨリ 2 行至 7 行「214 頁 8 行至 9 行」「214 頁 9 行次(10 年 1402 項別紙共)」ノ各欄ヲ削除ス
(3)記事　日本海北側ノ Nizmennuii 燈臺ニ無線標識附設セラレタリ
位置　C. Nizmennuii 上
Lat. 43° 30′.5 N.　Long. 135° 08′.9 E. (概位)
發射標識符號　• ━━
細目　使用波長 1,029 米◉執務時間毎日 1348―1412, 1748―1812, 2148―2212, 0148―0212, 0548―0612, 0948―1012 (G. M. T.)
注意　(イ)海圖上 上記燈臺ノ 略記ニ“R C Stn.”ヲ附記ス
(ロ)上記無線標識ハ 毎日上記時刻ニ又霧、暴風雪或ハ密濛ノ際ハ間斷ナク符號ヲ發射ス
海圖　(3)276――(1)(2)1310――(1)1309――(4) 1154――(1) (2)1312――(3) 162――(3) 1006――(2)(3)1022
誌類　†誌 11A.(1)217 頁、218 頁、(2)214 頁、(3)187 頁――((1) 注意 (ハ)) 誌 11A. 217 頁――((2)注意(ハ))誌 11A 追. 11頁――†誌90E. 365 ノ 5 頁(3)3124 番 a (2)3124 番 b (1)3124 番 c (各挿入)――誌 11A. 217 頁貼附ノ 9 年 4 項(削除)
出所　Vladivostok 告示 1936 年 112 項、113 項、114 項

◎11 年 1214 項

上海港　曳船ニ關スル規定
記事　港內ニ於ケル船舶交通量ノ 增加ニ伴ヒ航行及人命ノ安全ヲ期スル爲 曳船ニ關シ下記規定ヲ制定セラレタリ
(1)鋼鐵製「ライター」
(イ)積量 100 噸及 100 噸未滿ノモノ
同時ニ東航シ得ヘキ最大限ヲ 3 隻トス、此ノ場合ニハ 1 隻ヲ曳船ノ横ニ、2 隻ヲ並列シテ船尾ニ曳航スルヲ要ス
(ロ)積量 100 噸ヲ超ユルモノ
同時ニ曳航シ得ヘキ最大限ヲ 2 隻トス、此ノ場合ニハ 2 隻ヲ並列シテ 船尾ニ曳航スルヲ要ス
(2)戎克
(ハ)同時ニ曳船シ得ヘキ最大限ヲ 2 隻トス、此ノ場合ニハ 2 隻ヲ並列シテ 船尾ニ曳航スルヲ要ス
(ニ)積載物アル 福州戎克 (Foochow Pole Junk)ハ一時ニ 1 隻宛 船尾ニ 曳航スルヲ要ス
(3)支那型貨客船
曳航シ得ヘキ最大限ヲ 6 隻トス、此ノ場合ニハ 2 隻宛 3 段ニ並列シテ 船尾ニ曳航スルヲ要ス
(4)漁船及塵芥船
同時ニ曳航シ得ヘキ最大限ヲ 9 隻トス、此ノ場合ニハ 3 隻宛 3 段ニ並列シテ 船尾ニ曳航スルヲ要ス
(5)材木筏
一時ニ 1 箇以上ヲ曳航スヘカラス、而シテ曳航シ得ヘキ筏ノ最大幅及長サハ 下記ノ限度ヲ超過セサルヲ要ス
(ホ)吳淞至東溝間ハ長サ 70. 2 米 (250呎)、幅 15. 2 米(50 呎)
(ヘ)東溝至江南造船所上方浮標間ハ長サ 45. 7 米 (150 呎)、幅 9 .2 米(30 呎)
(ト)江南造船所上方浮標ヨリ 上流ハ長サ 122 米(400 呎)、幅 30. 5 米 (100 呎)
上記各區間ニ於ケル筏ノ 曳船ハ汽船ノ航路ヲ避ケ江ノ淺水側ニ於テ行フヲ要ス
注意　(1)各種曳船ハ 上海港則 第 19 條ニ依リ被曳船ニ對シ十分ノ 制御力ヲ有スルモノナルヲ要ス
(2)書誌 90 號 c. 82 頁第 19 條ノ條文中2行ノ「2 隻以上ノ荷舟」以下同頁末行迄ヲ削除ス

海圖　481 A, B, C (各參照)
誌類　誌 90 C. 82 頁――(注意 2)誌 90C. 82 頁
出所　上海海關告示 1936 年 15 號

◎11 年 1215 項(豫告)

Philippine Islands Tablas I. 西岸　Looc Bay―Looc Reef　燈標置設
記事　Looc Reef 北端附近ニ 1937 年 1 月頃迄ニ燈標設置セラルト謂フ
位置　Looc Reef 北端附近
Lat. 12° 14′.8 N.　Long. 121° 58′.9 E. (概位)
略記　Fl. (豫告)
細目　燈質閃白光◉構造コンクリート造塔、礎上高 9.1 米(30呎)
海圖　656――1608
誌類　誌 15B.41 頁――誌 100B.64 頁
出所　Manila 告示 1936 年 16 項

◎11 年 1216 項(豫告) *

Philippine Islands Sibuyan Sea Tablas I.北端―Gorda Point 燈臺　點燈開始
記事　11 年 973 項ヲ以テ設置中ノ 旨告示セル Gorda Point 燈臺ハ本年內ニ 點燈開始セラルト謂フ
位置　Gorda Pt. 北端高角上
Lat. 12° 39′.8 N.　Long. 122° 09′.1 E. (概位)
略記　Alt. Fl. *W. R.* (豫告)
細目　燈質閃紅白互光◉構造框式鋼造塔、礎上高 18.9 米(62 呎)
海圖　1602――1681――673
誌類　誌 15B. 39 頁――誌 100B. 322 番――11 年 973 項(削除)
出所　Manila 告示 1936 年 16 項

◎11 年 1217 項(一時關係) *

Philippine Island　Sibuyan Sea　Romblon I. 南端―Apunan Point 燈臺　點燈開始
記事　11 年 678 項ヲ以テ設置ノ旨告示セル Apunan Point 燈臺ハ 1936 年 10 月 1 日頃ヨリ點燈開始セラルト謂フ
位置　Apunan Point 南端高地上
Lat. 12° 29′.0 N.　Long. 122° 17′.0 E. (概位)

略記　Fl.
細目　燈質閃白光 ◉構造框式 鋼鐵 造塔、礎上高 18.9 米(62 呎)
注意　位置其ノ他細目ハ更ニ告示ス
海圖　1602――1609――673
誌類　誌 15B. 45 頁――誌 100B. 317 番――11年 678 項(削除)
出所　Manila 告示 1936 年 12 項

◎11 年 1218 項

Philippine Islands―Sibuyan Sea　淺灘存在
位置　Anda Reef(1¼ 尋)ヨリ　264°　2.4浬
Lat. 12° 13′.3 N.　Long. 122° 49′. 6 E. (概位)
水深　2 尋(3.6 米)
注意　海圖上上記淺灘ヲ記載シ「(1936年)」ヲ附記ス
海圖　1609――673――1209
誌類　誌 15B. 48 頁
出所　米告示 1936 年 2573 項

◎11 年 1219 項(豫告)

Philippine Islands　Mindanao 北岸―Port Misamis　燈臺設置
記事　1937 年 1 月竣工ノ豫定ニテ Port Misamis 舊砲臺上ニ燈臺設置セラルト謂フ
位置　Misamis Point 北方舊砲臺
Lat. 8° 08′. 7 N.　Long. 123° 51′. 5 E. (概位)
略記　F. *R.* (豫告)
細目　燈質不動紅光◉構造コンクリート造塔、礎上高 9.1 米(30 呎)
海圖　668 (分圖共)
誌類　誌 15D. 14 頁――誌 100B. 74 頁
出所　Manila 告示 1936 年 16 項

◎11 年 1220 項

圖誌訂正
(1)海圖 14 號
北海道南岸室蘭港口南防波堤燈臺北西方 (Lat. 42° 20′.9 N. Long. 140° 57′.3 E. 概位)防波堤延長部分ニ附記シアル「工事中(昭和 7 年)(航行禁止)」ヲ削除ス(室蘭築港事務所)
(2)海圖 77 號(分圖湯淺灣)
紀伊水道東濱湯淺灣東部 (Lat. 34° 01′. 7 N. Long. 135° 09′. 7 E. 概位)ニ記載シアル港名「湯淺港」ヲ「湯淺廣港」ニ改ム

第 2934 号　本文

(3)海圖 100 號A――(イ)(ハ) 100 號B

(イ)備後灘北側 Lat. 34° 22′.2 N. Long. 133° 23′.6 E. (概位)ニ記載セル地名「鞆津」ヲ「鞆港」ニ改記ス

(ロ)備讃瀬戸東部池田灣北側 (Lat. 34° 28′.7 N. Long. 134° 10′.8 E. 概位) ニ記載セル地名「土庄」ニ"(L.S.S.)"ヲ附記ス

(ハ)安藝灘南側 Lat. 34° 01′.6 N. Long. 132° 50′.7 E. (概位) ニ記載セル 地名「菊間」ニ"(L.S.S.)"ヲ附記ス

(4)海圖(イ) 107 號 (今治港)――132 號 (ニ)ヲ除ク) 104 號――141 號

下記地名ニ"(L.S.S.)"ヲ附記ス

(イ)來島海峽南西側今治市
Lat. 34° 03′.7 N. Long. 133° 00′.1 E. (概位)

(ロ)(イ)ノ北西方約 2.5 浬、波止濱町
Lat. 34° 06′.3 N. Long. 132° 58′.1 E. (概位)

(ハ)(ロ)ノ北西方約 1.2 浬、波方
Lat. 34° 07′.2 N. Long. 132° 57′.2 E. (概位)

(ニ)安藝灘南側菊間町
Lat. 34° 01′.8 N. Long. 132° 50′.7 E. (概位)

(5)海圖 128 號――1225 號――1226 號――135 號
海圖上門司港小森江海岸大川口北側、日本製粉會社塔⊙ヨリ 354° 220 米 (Lat. 33° 54′.9 N. Long. 130° 56′.4 E. 概位)ニ圖載シアル「▭苫屋(赤色)」及其ノ北東方約 20 米ノ「⊙大煙突(赤色)」ヲ削除ス (大阪商船株式會社汽船日東丸)

(6)海圖 137 號A――106 號
備讃瀬戸東部 池田灣北側 (Lat. 34° 28′.8 N. Long. 134° 10′.3 E. 概位)ニ記載セル地名「土庄町」ニ"(L.S.S.)"ヲ附記ス

(7)海圖 147 號(加茂港)
本洲北西岸 加茂港 南西方 春日山 △(81)ヨリ 357¼° 408 米 (Lat. 38° 45′.7 N. Long. 139° 44′.0 E. 概位)ヲ北東端トシ南西方平島ノ東端ニ至ル斷線ヲ記載シ「防波堤、工事中」ヲ附記ス (山形縣)

(8)海圖 153 號

(イ)分圖標題「鞆津」"Tomo Tu"ヲ別紙貼附ニ依リ「鞆港」"Tomo Kô"ニ改メ又總圖上備後灘北側 Lat. 34° 22′.0 N. Long. 133° 24′.0 E. (概位)ニ記載ノ「鞆津」ヲ「鞆港」ニ、標題潮信記事中ノ「鞆津 Tomo Tu」ヲ「鞆港 Tomo Kô」ニ改記ス

(ロ)分圖上舊實測點△北西方ニ記載セル地名「鞆町」ニ"(L.S.S.)"ヲ附記ス

(ハ)總圖上下記地名ニ"(L.S.S.)"ヲ附記ス
備讃瀬戸東部 北側土庄町 (Lat. 34° 28′.8N. Long. 134° 10′.8 E. 概位)
燧灘東側豐濱町 (Lat. 34° 04′.4 N. Long. 133° 39′.0 E. 概位)
備後灘北側鞆町 (Lat. 34° 22′.8 N. Long. 133° 22′.6 E. 概位)
燧灘東部伊吹島 (Lat. 34° 07′.5 N. Long. 133° 31′.5 E. 概位)
來島海峽南西側今治市(Lat. 34° 03′.3 N. Long. 133° 00′.0 E. 概位)

(ニ)總圖上 燧灘東側 觀音寺港 (Lat. 34° 07′.2 N. Long. 133° 37′.0 E. 概位)ニ"(Plan 102)"ヲ附記ス

(ホ)總圖上兒島灣東方 Lat. 34° 35′.9 N. Long. 133° 59′.0 E.(概位)ニ記載シアル「三蟠港」ヲ「岡山港」ニ改記ス

(9)海圖 155 號(岡山水道)
內海兒島灣東方 Lat. 34° 35′.9 N. Long. 133° 58′.9 E. (概位)ニ記載シアル 港名「三蟠港」ヲ「岡山港」ニ改記シ 同圖標題記事中「(岡山港)」ヲ削除ス

(10)書誌 2 號
137 頁 2 行中「及東濱町海岸ニ」ヲ「ニ地方」ト改記ス(10 年 782 項參照)

(11)書誌 90 號A

(イ)目次 4 頁 14 行至 16 行 (「帝國ト關東州トノ間ニ通航スル 船舶ニ關スル件‥‥229」至「關東廳航路標識 使用料規則‥‥234」)ヲ別紙貼附ニ依リ訂正ス

(ロ)關東州水先規則 及關東州海難其ノ他ノ事實屆出ニ關スル件等ニ 關シ第 15 回 挿換紙 (229 頁至 234 頁 削除、229 頁至 234 ノ 2 頁挿入)ヲ頒布ス所要ノ向ハ水路圖誌販賣所ヨリ交付ヲ受クルコトヲ得

(昭和11年 9 月 10 日關東局令 第 57 號及61號)

(12)書誌 90 號B
458 頁 6008 番長野放送局ノ周波數(波長)欄ヲ「1040(288)」ニ改記ス(昭和 11年10月 2 日官報遞信省告示 2512 號)

(13) 11 年 1158 項(海圖 634 號關係)
注意(ロ) 2 行中"268°"ヲ"168°"ニ訂正ス

◉ 11 年 1221 項(2 區)

Alaska Knight Island Passage—Pleiades Islands 燈臺ニ就テ

記事　11 年 1134 項ヲ以テ設置ノ旨告示セル Pleiades Islands 燈臺ノ燈高及遮蔽弧ハ下記ノ通ナリ
位置　Pleiades Islands ノ最北端ノ小嶼上
Lat. 60° 14′.4 N. Long. 148° 01′.0 W. (概位)
略記　Fl. *ev. 4 sec. 30 ft.* (U)
細目　燈高高潮面上 30 呎(9.1 米)●遮蔽弧 343° 至 128°
注意　海圖上略記ヲ改記シ遮蔽弧ヲ記載ス
海圖　3516
誌類　†誌 31B. 71 頁――11 年 1134 項
出所　米告示 1936 年 2538 項

◉ 11 年 1222 項(2 區)

Alaska Sitka Sound—Signal Island 燈臺 週期變更

記事　Signal Island 燈臺(閃紅光)ノ週期(毎 3 秒)ハ毎 4 秒ニ變更セラレタリ
位置　Sitka ノ西方約 1.9 浬、Signal Island 西側
Lat. 57° 02′.7 N. Long. 135° 23′.6 W. (概位)
略記　Fl. *R. ev. 4 sec. 48 ft.* 6 M. (U)
細目　燈質閃紅光、毎 4 秒ニ 1 閃●燈高高潮面上 48 呎(14.6 米)●光達 6 浬●無看守
注意　海圖上略記ヲ改記ス
海圖　3548
誌類　†誌 31A. 274 頁
出所　米告示 1936 年 2536 項

◉ 11 年 1223 項(2 區)

Alaska Sitka Sound—Cape Edgecumbe 燈臺週期變更

記事　Sitka Sound 入口北側 Cape Edgecumbe 燈臺(閃白光)ノ週期(毎 3 秒)ハ毎 4 秒ニ變更セラレタリ
位置　Kruzof Island 南西端
Lat. 56° 59′.8 N. Long. 135° 51′.4 W. (概位)
略記　(U) Fl. *ev. 4 sec. 100 ft. 11* M.
燈質　閃白光、毎 4 秒ニ 1 閃
注意　書誌 31 號A. 268 頁 10 行至 11 行中「(毎 3 秒ニ 1 閃(0.3 秒)」ヲ「(毎 4 秒ニ 1 閃)」ニ改記ス
海圖　3549――3553――3544――3506――3507
誌類　(注意)誌 31A. 268 頁
出所　米告示 1936 年 2536 項

◉ 11 年 1224 項(2 區)

Alaska—Keku Strait Salt Point 燈臺ニ就テ

記事　11 年 932 項ヲ以テ設置ノ旨告示セル Salt Point 燈臺(閃白光)ノ燈高及遮蔽弧ハ下記ノ通ナリ
位置　Keku Strait 北口東側 Salt Point 南端
Lat. 56° 50′.5 N. Long. 133° 52′.0 W. (概位)
略記　Fl. *ev. 10 sec. 13 ft.* (U)
細目　燈高高潮面上 13 呎(4 米)●遮蔽弧 168° 至 259°
注意　海圖上略記ヲ改記シ遮蔽弧ヲ記載ス
海圖　3553
前告示　11 年 932 項
出所　米告示 1936 年 2537 項

◉ 11 年 1225 項(2 區)

Alaska Shumagin Islands—Popof Island 燈竿燈質變更

記事　Popof Island ノ北端附近ニ在ル Pirate Cove 燈竿ノ燈質(不動白光)ハ閃白光ニ變更セラレタリ
位置　Popof Island 北端附近
Lat. 55° 22′.0 N. Long. 160°22′.0 W. (概位)
略記　Fl. (U)

細目　燈質閃白光、毎 10 秒ニ 1 閃(閃 1 秒暗 9 秒)●燭光數 30●無看守
海圖　3504
誌類　†誌 31B.275 頁
出所　米告示 1936 年 2539 項

◉ 11 年 1226 項(2 區)

U. S. A. Washington—Grays Harbour 浮標移設

記事　Grays Harbour 4A 番浮標(紅塗圓錐形)ハ圖載位置ノ東方約 2 鏈ニ移設セラレタリ
位置　Grays Harbour 燈臺(閃紅白互光)ヨリ 295° 4 浬
Lat. 46° 55′.0 N. Long. 124° 12′.3 W. (概位)
海圖　3641 (分圖)
前告示　11 年 652 項(ヘ)(削除)
出所　米告示 1936 年 2533 項

◉ 11 年 1227 項(2 區)

U. S. A. Columbia River—Baker Bay 浮標碇置

記事　Baker Bay ニ下記浮標(9 區)碇置セラレタリ

位置、名稱及樣式　基點 Ilwaco Channel 燈標(不動綠光) (Lat. 46° 15′.7 N. Long. 123° 57′.8 W. 概位)

名稱	基點ヨリノ方位(度)	距離(鏈)	樣式
(1) Ilwako Channel 1 番浮標	312	1.4	黑塗圓臺形
(2) 〃 2 番浮標	309	15.3	紅塗圓錐形
(3) 〃 4 番浮標	305	19.7	紅塗圓錐形
(4) 〃 3 番浮標	305	24.0	黑塗圓臺形

基點 Ilwaco Channel 5 番燈標(不動綠光)(Lat. 46° 17′.4 N. Long. 124°01′.1 W. 概位)

名稱	基點ヨリノ方位(度)	距離(鏈)	樣式
(5) Ilwako Channel 6 番浮標	129	4.5	紅塗圓錐形
(6) 〃 8 番浮標	101	1.3	〃
(7) 〃 5 番浮標	304	6.7	黑塗圓臺形
(8) 〃 12 番浮標	312	6.7	紅塗圓錐形
(9) 〃 14 番浮標	305	9.9	〃

海圖　3648
出所　米告示 1936 年 2531 項

◉ 11 年 1228 項(2 區)

U. S. A. Oregon—Coos Bay 挂燈鳴笛浮標燈質變更

記事　Coos Bay Outside Bar K 挂燈鳴笛浮標ノ燈質(閃白光)ハ群閃白光ニ變更セラレタリ
位置　Cape Arago 燈臺(群閃白光)ヨリ 347° 約 1.8 浬
Lat. 43° 22′.2 N. Long. 124° 23′.0 W. (概位)
略記　Gp. Fl. (2) *ev. 7½ sec. (Whistle)*
燈質　群閃白光、毎 7.5 秒ニ 2 閃(閃 0.4 秒閃 1.6 秒)

海圖　3641(分圖共)
誌類　†誌 33. 170 頁――誌 33. 170 頁貼附ノ 6 年 1470 項、10 年 1122 項(各削除)
出所　米告示 1936 年 2530 項

◉ 11 年 1229 項(2 區)

U. S. A. California—San Francisco Bay Entrance 航路標識變更

(1)記事　San Francisco Bar Channel 3 番浮標(黑塗圓臺形)ハ挂燈浮標ニ變更セラレタリ
位置　Main Ship Channel ノ北側
Lat. 37° 46′.4 N. Long. 122° 37′.1 W. (概位)
略記　Fl. *ev. 10 sec.* (No.3)
細目　燈質閃白光、毎 10 秒ニ 1 閃(閃 1 秒暗 9 秒)●燈高水面上 12 呎(3.7 米)●燭光數 290. 塗色黑

(2)記事　San Francisco Bar Channel 4 番浮標(紅塗圓錐形)ハ挂燈浮標ニ變更セラレタリ
位置　Main Ship Channel ノ南側(1)ノ南東方約 4 鏈
略記　Fl. *R. ev. 10 sec.* (No. 4)
細目　燈高閃紅光、毎 10 秒ニ 1 閃(閃 1 秒暗 9 秒)●燈高水面上 12 呎(3.7 米)●燭光數 85●塗色紅

海圖　3658――3657
誌類　†誌 33. 192 頁――同頁貼附 8 年 73 項、9 年 177 項、10 年 181 項(各削除)
出所　米告示 1936 年 2526 項

◉ 11 年 1230 項(2 區)

U. S. A. California—Los Angeles Harbour 繫船浮標碇置

記事　Los Angeles Outer Harbour 海軍錨地ニ繫船浮標(2 箇)碇置セラレタリ
位置　Los Angeles Harbour 燈臺(閃綠光)ヨリノ

	番號	方位(度)	距離(鏈)
(1)	A1	285	3.5
(2)	A2	268½	5.9

Lat. 33° 42′.5 N. Long. 118° 15′.6 W. (概位)
注意　海圖上上記位置ニ樣式不明ノ繫船浮標ヲ記載シ各番號ヲ附記ス
海圖　3662――3660
出所　米告示 1936 年 2525 項

◉ 11 年 1231 項(2 區)

Persian Gulf Bahrein Harbour 附近—Bahrein 燈船 位置變更

記事　Bahrein 燈船ハ圖載位置ノ南方約 1.6 浬ニ移設セラレタリ
位置　Lat. 26° 33′ 30″ N. Long. 50° 57′ 36″ E.
略記　GP. Fl. (3) *ev. 20 sec. 45 ft. 12* M. (*Bell*) (U)
Fl. *ev. 1½ sec.*

海圖　3167
誌類　†誌 44. 277頁――10 年 796 項、973 項(各削除)
出所　英告示 1936 年 1417 項

◉ 11 年 1232 項(2 區)

Persian Gulf—Kuwait Harbour 燈竿設置

記事　Sheik's office (圖載ナシ)ノ東端ニ燈竿(臨時燈)設置セラレタリ
位置　Ras al Ajuza ノ北端附近ニ在ル British Residency 燈竿(不動紅光)ヨリ 241½° 1.38 浬
Lat. 29° 22′. 8 N. Long. 47° 58′. 5 E. (概位)
略記　F. G. (*Occasl.*)
細目　燈質不動綠光●燈高高潮面上 45 呎 (13.7 米)●光達 2 浬●明弧 122° 至 234°●臨時燈
注意　海圖上明弧記載ヲ要セス
海圖　3180――3167
誌類　†誌 44. 318 頁
出所　Bombay 告示 1936 年 99 項

◉ 11 年 1233 項(2 區)

Red Sea 西濱 North Massawa Channel—Kavet 燈臺ニ就テ

記事　Kavet 燈臺ノ燈高ハ 46 呎(14 米)ニシテ光達ハ 12 浬ナリ
位置　Lat. 16° 58′. 3 N. Long. 39° 01′. 6 E. (概位)
略記　Gp. Fl. (3) *ev. 15 sec. 46 ft. 12* M.
細目　燈質群閃白光、毎 15 秒ニ 3 閃(閃 0.5 秒暗 2.5 秒閃 0.5 秒暗 2.5 秒閃 0.5 秒暗 8.5 秒)●燈高高潮面上 46 呎(14 米)●光達 12 浬●構造上部圓筒形小屋、下部鐵造圓筒、礎上高 20 呎(6.1 米)
海圖　3229
前告示　10 年 1519 項(削除)
出所　米告示 1936 年 2568 項

◉ 11 年 1234 項(2 區)

圖誌訂正

書誌 31 號A
71 頁 16 行中「毎 2 秒ニ 1 閃白光(0.2 秒)」ヲ「毎 10 秒ニ 1 閃白光(1 秒)」ニ改記ス(米告示 1936 年 2535 項)

第 2934 号　本文

◎11年1235頁

(1)分圖削除

番號	圖名	削除スベキ分圖名
689	マカッサル海峽北部	トリトリ灣、リンガヅン泊地及ベロンリオー灣

(2)海圖改版

番號	圖名	圖積
323	仁川港◎	全
452	海南島諸分圖 清瀾港 海口港 三亞港 馬鞍頭錨地及猪頭錨地 大沙錨地 瑞那灣 楡林港	全
497	揚子江 コンプトン直路至蘇州府	全
621	マラッカ海峽諸分圖 ムアル河 バツ、パハト河 ディッグソン港 マラッカ附近 ベナット河	全
684	ルツノー角至ドンド角〔アギリ角〕(分圖) トリトリ灣 リンガダン泊地及ベロンリダン灣	全
1379	八里江口至九江	全

(3)海圖發版

番號	圖名	刊行年月
452	海南島南岸諸港灣	明33—7
453	海口灣	大15—2
323	仁川港	昭10—7
497	揚子江(コンプトン直路至蘇州府)	大8—9
621	麻剌加海峽諸分圖	昭7—3
684	ルツノ角至ドンド角	明37—11
1379	八里江口至九江	昭2—2

◎項外

(1)航行上注意スベキ浮流物

(イ)津輕海峽東口—惠山岬燈臺ヨリ117° 20浬　發動機船
10月3日1400 Lat. 41° 39'.6 N. Long. 141° 35'.0 E.(概位)ニ發動機船ツル丸(10噸)艇ヲ視認、投錨ノ儘放棄セリ(海圖10號參照)(函館無線電信局)

(ロ)本洲東岸—尻矢埼燈臺ヨリ171°約33浬　漁船
10月7日 Lat. 40° 53'.0 N. Long. 141° 34'.5 E.(概位)ニ水船トナリタル漁船(終鐺)投錨ノ儘放棄セリ(海圖10號參照)(汽船長良川丸船長)

(ハ)伊豆諸島　大島—乳ヶ埼ヨリ249° 9浬　漁船
10月5日1520 Lat. 34° 44'.5 N. Long. 139° 11'.6 E.(概位)ニ漁船漂流ス(海圖51號參照)(汽船慶東丸)

(ニ)伊豆諸島　大島—乳ヶ埼ノ西方約10浬　發動機船
10月6日1350 Lat. 34° 47'.5 N. Long. 139° 10'.0 E.(概位)ニ水船トナリタル小形發動機船漂流ス(海圖51號參照)(汽船芝罘丸)

(ホ)本洲南岸—石室埼南方約5浬至神子元島東方約2浬　材木
9月30日1200頃 Lat. 34° 31' N. Long. 138° 50' E.(概位)——Lat. 34° 34' N. Long. 138° 59' E.(概位)ニ亙リ圓材(長約3米、徑約0.3米)多數漂流ス(海圖80號參照)(汽船海平丸)

(ヘ)遠州灘—掛塚燈臺沖約10浬　材木
10月3日2040 Lat. 34° 28'.6 N. Long. 137° 48'.6 E.(概位)ニ東西約1浬ニ亙リ多數ノ材木漂流ス(海圖70號參照)(汽船昭榮丸)

(ト)熊野灘—三木埼燈臺ヨリ81° 11.5浬　材木
10月4日0700 Lat. 34° 00' N. Long. 136° 30' E.(概位)ニ多數ノ材木漂流ス(海圖93號參照)(汽船榮聚丸)

(チ)九州北岸　壹岐—若宮燈臺ヨリ46° 1浬　浮標
10月2日0625 Lat. 33° 52'.6 N. Long. 129° 42'.2 E.(概位)ニ紅色鼓胴形浮標漂流ス(海圖177號參照)(汽船第2タイホウ丸)

(2)北海道南岸—室蘭港外　漁網存在
昭和11年9月28日室蘭港外、大黑島燈臺ヨリ314°約4.7浬(Lat. 42° 24'.0 N. Long. 140° 51'.3 E. 概位)附近一帶ニ漁網ノ設置シアルヲ認メタリト謂フ(海圖17號參照)(軍艦比叡)

(3)伊勢灣口—渥美半島西岸　實彈射擊施行
10月12日至同15日及10月20日至同22日毎日0800ヨリ1700迄渥美半島西岸陸軍射擊場ニ於テ伊良湖水道方面ヘ向ケテ實彈射擊施行セラル、危險區域ハ伊良湖水道一帶ノ海面ナリ(海圖1052號參照)(陸軍技術本部)

(4)内海　大阪灣北部—深江　臨時燈竿點燈
昭和11年10月25日至同月30日間神戸高等商船學校ニ於テ同校端艇池突堤南端(Lat. 34° 42'.9 N. Long. 135° 17'.6 E. 概位)ニ白塗圓筒形鐵造燈竿ヲ設置シ閃白光燈(毎3秒ニ1閃、光達4.8浬、燭光數20、燈高2.1米)ヲ點ズ(海圖1103號參照)(昭和11年10月3日官報遞信省告示2562號)

(5)支那南岸—廣東河—磐石水道　漁柵破損
磐石水道小產〔Sui Shan〕北西方ニ圖載シアル漁柵(Lat. 22° 33'.8 N. Long. 113° 47'.4 E. 概位)ハ大部分流失シ高潮時ニ於テハ東側ノ二、三本ノ竿ガ水面上ニ露出シ低潮時ニ於テハ西側ノモノ倒レタル儘水面ニ現出スト謂フ(海圖1451號參照)(大阪商船株式會社汽船福建丸)

(6)Malacca Strait—Senggarang燈標　週期異狀
9月6日Senggarang燈標(Lat. 1° 42'.5 N. Long. 103° 18'.4 E. 概位)ノ燈質(閃白光、毎4秒ニ1閃)ハ毎1.5秒ニ1閃ヲ顯ハシ居タリト謂フ(書誌160號n. 855番參照)(汽船羅津丸)

(7)Mexico Lower California—San Pablo Bay南西方　變色水存在
昭和11年9月1日汽船けいぷたうん丸ハSan Pablo Bay南西方約55浬Lat. 27° 40' N. Long. 115° 15' W.(概位)ヲ南西端トシテ北方Dewey Channelニ向ケ廣範圍ニ亙ル變色水アリ海草多數浮流セルヲ認メタリト謂フ(海圖3668號參照)(汽船けいぷたうん丸)

◎戰地其他死亡者　戰地其他ニ於ケル陸軍軍人軍屬ノ死亡者左ノ如シ(陸軍省)

昭和十一年三月二十七日廣島衞戍病院ニ於テ病死
埼玉縣南埼玉郡慈恩寺村大字慈恩寺八百六十三番地ノ二　陸軍歩兵上等兵　松岡榮吉

同八月二日滿洲國ニ於テ戰死
福井縣敦賀郡東浦村赤崎二十三號五番地　陸軍歩兵伍長　東山正三

岐阜縣養老郡池邊村大字大巻百九十三番地ノ一　陸軍歩兵上等兵　山森好美

同日滿洲國ニ於テ病死
奈良縣添上郡東里村大字須川千百十五番地　陸軍歩兵伍長　佐野正治

愛知縣渥美郡赤羽根村大字若見字松淵八十七番地　陸軍歩兵上等兵　桜田富之

同三日滿洲國ニ於テ戰死
滋賀縣東淺井郡小谷村大字河毛千二百六十七番地　陸軍歩兵軍曹　伊吹清佑

同四日滿洲國ニ於テ病死
神奈川縣横濱市神奈川區平沼町一丁目六十五番地　陸軍歩兵上等兵　服部敏一

同五日東京第一衞戍病院ニ於テ病死
福島縣東白川郡竹貫村大字田口五十五番地　同　澤渡三郎

同日名古屋衞戍病院ニ於テ病死
愛知縣名古屋市東區松軒町三丁目三番地　同　中島伊佐夫

同六日滿洲國ニ於テ病死
北海道廣尾郡廣尾村大字廣尾字ピボロ百十六番地　陸軍歩兵一等兵　小堀正次

同日滿洲國ニ於テ不慮ノ事故ニ因リ死亡
同縣戸郡月形村字新田番外地　軍屬　楠豊年

同九日滿洲國ニ於テ病死
鹿兒島縣鹿兒島郡谷山町和田百七十二番地　陸軍歩兵伍長　黒木一男

神奈川縣川崎市小松七百六十九番地　陸軍砲兵上等兵　塩谷勇作

同日名古屋衞戍病院ニ於テ病死
愛知縣瀬戸市大字瀬戸六百三十五番地　陸軍歩兵上等兵　丹羽松次郎

同十三日滿洲國ニ於テ病死
栃木縣鹽谷郡阿久津村石末四百三十一番地　同　船山良男

同十四日滿洲國ニ於テ戰死
岐阜縣安八郡南野村南字草道島五十番戸　同　石川廣夫

同日滿洲國ニ於テ病死
福岡縣浮羽郡姫治村大字田籠三百八番地　同　樋口麻市

同十五日滿洲國ニ於テ戰死
岐阜縣益田郡下原村大字福來二百十二番地　陸軍歩兵伍長　小林一夫

北海道雨龍郡幌加内村字添牛内二十一線市街地　同　今井清次

同室蘭市入江町無番地　同　渡邊清

同石狩郡當別村字高岡千百九十二番地　陸軍三等看護長　齊藤幸吉

同日滿洲國ニ於テ病死
群馬縣群馬郡箕輪町大字西明星二十五番地　同　小板橋梅吉

同十七日滿洲國ニ於テ戰死
岩手縣西磐井郡萩莊村大字下黒澤字高梨南方三十六番地　陸軍歩兵軍曹　千葉勝男

同二十日宇都宮衞戍病院ニ於テ病死
栃木縣鹽谷郡泉村大字上伊佐野五百五番地　陸軍歩兵曹長　佐藤信夫

同日滿洲國ニ於テ病死
大阪府北河内郡大和田村大字北島百十五番地　陸軍歩兵上等兵　朴井健次郎

同二十一日滿洲國ニ於テ病死
福岡縣早良郡壹岐村大字橋本七百二十六番地　幹部候補生　柴田八郎

同二十二日滿洲國ニ於テ戰死
福島縣安積郡富久山村大字久保田字桝形四十五番地　陸軍歩兵上等兵　熊田今朝五郎

同日滿洲國ニ於テ病死
山形縣東田川郡榮村大字家根合字菖蒲島百六十三番地　軍屬　武田實

同二十三日滿洲國ニ於テ病死
香川縣仲多度郡善通寺町大字上吉田九百七十五番地　陸軍三等主計正　大西標太郎

同二十六日滿洲國ニ於テ戰死
秋田縣平鹿郡横手町杉澤字見八野天狗澤三百十二番地　陸軍歩兵伍長　日野仁太郎

同日廣島衞戍病院ニ於テ病死
同縣鹿角郡宮川村長谷川百九十三番地　陸軍一等計手　阿部健次郎

同二十七日滿洲國ニ於テ戰死
東京府東京市向島區寺島町二丁目百四十番地　陸軍歩兵上等兵　串田暮年

埼玉縣北足立郡大宮町大字大宮三千八百三十八番地　同　歌代健吉

同日滿洲國ニ於テ病死
廣島縣賀茂郡志和堀村百六番地　陸軍上等靴工長　丸川麿登

同三十一日滿洲國ニ於テ病死
埼玉縣北葛飾郡田宮村大字廣戸沼二百二十二番地　陸軍歩兵上等兵　石塚福

◎學生入校　陸軍歩兵學校學生トシテ左記百二十五人本月一日入校セリ(陸軍省)

甲種學生

陸軍歩兵大尉　田邊侃二　同　高原篤重
同　村山春一　同　宮澤省吾
同　鈴木君次　同　山本三四郎
同　賀谷與吉　同　田原恒春
同　濱田敏夫　同　内田東次
同　石橋忠雄　同　外池彌
同　安岡波禧　同　石山年秀
同　寺道留一　同　中島正清
同　吉田太郎　同　森園武夫
同　朝井憲章　同　白川壽祝
同　青山良武　同　山崎義勇
同　古市嘉秀　同　石井星一郎
同　須子正雄　同　永嶺安男
同　竹内良一　同　小原直良
同　佐澤利輝　同　澤畑養一郎
同　山縣秀文　同　染谷文雄
同　本山一雄　同　小林朝男
同　山下誠一　同　兒玉勇
同　一色博　同　石丸一八
同　森澤傳三郎　同　竹内又四郎
同　小川清　同　樋口五郎
同　松岡義一　同　山之口甫
同　的埜中郎　同　石橋幸人
同　米倉恒雄　同　河上才三
同　野村寛　同　青木慈郎
同　天野莊一　同　南武正
同　西川政一　同　安村修三
同　小嵐喜一郎　同　八ツ橋專藏
同　川道乙巳　同　佐々木巖
同　臼井一雄　同　山崎永吉
同　野田耕夫　同　山岸一郎
同　神邑政雄　同　猪子加壽男
同　田中稔　同　讃岐武二
同　長島四郎　同　矢崎譽一
同　辻本隼三　同　稻垣正治
同　吉田正治　同　齋藤海藏
同　甲木譽一　同　鈴木爲男
同　薗本黨　同　德本時雄
同　山田豐　同　丸岡茂雄
同　早川菊夫　同　前田滋
同　越智亨　同　紺野悉
同　原田計治

乙種學生

陸軍歩兵中尉　新井健　同　田崎次男
同　山下隆祐　同　池本好行
同　藤田久之　同　田坂盛夫
同　鬼木里志　同　小林哲夫
同　曾我利雄　陸軍歩兵少尉　笛田房吉
同　緒方景俊　同　渡邊博
同　日隈良　同　平野斗作
同　古長直　同　菅原徧
同　市川正七　同　小林京一
同　鳥井貞雄　同　小嶋太郎
同　松永眞一郎　同　山田兵二
同　末富猛　同　土居克巳
同　南出一郎　同　山下幸二
同　中島八洲雄　同　岡崎整吾
同　木村敏男　同　鈴木通葆
同　小村谷康二　同　守田省吾
同　大川行雄　同　田栗務
同　石橋浪男　同　佐々木盛衞
同　阿比留敏雄　同　濱口干城
同　松下孝　同　岩倉和男
同　柚木園優　同　中島平吾

○學事

◎學位授與　九州帝國大學ニ於テ本月七日附三重縣橋本泰、大分縣安部明義、島根縣中尾六三郎、宮崎縣立野蕃ニ醫學博士ノ學位ヲ孰モ授與セリ(文部省)

◎研究修了　國民精神文化研究所教員研究科ニ於テ去月十九日研究ヲ修了シタル第八期研究員及聽講員ノ氏名左ノ如シ(文部省)

研究員

佐藤周吉　横田章臣　荒川謙治
三輪健司　田邊武男　近藤正宣
津田悌　栗田幾太郎　長安壽夫
石井守　梅根悟　秋田達
高橋元良　垣下清一郎　山下剛一
磯崎優　泉川幸雄　伊藤公平
竹井彌七郎　水町清　下村正喜
秦芳康　伊澤儀太郎　岩城隆利
三由信二　都倉芳虎　久保田鷲
黒田英一郎　丸茂貞亮　京極興博
杉山恭　田口孝之　德丸福藏
鯵坂二夫　川瀬知行　長沼正巳
立松哲二　市川一郎　坂元彦太郎

第2934号 本文

○財政

◎損金部拔況　昭和十一年九月三十日現在　預金部

◎帝室博物館等來觀人員

◎來朝人名

○産業

◎米穀一回調査收穫高　昭和十一年第一回

◎停電關係

◎エジプト貨幣價切下ニ關スル本件ニ關スル本月六日署名

地方行政

◎帝國議會

◎府縣會

在外公館報告

◎關東州出入品相場價額

◎停電關係

◎エジプト貨幣價切下ニ關スル本件ニ關スル本月六日署名

第2934号　本文

第 2934 号 本文

觀象

◎初霜

地名	本年初日	昨年比較	平年比較
新京	十月七日	九日晩シ	十二日晩シ
京城	同日	二日晩シ	七日早シ
釧路	同八日	二十二日晩シ	一日早シ

◎全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣溫ノ部一印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

十月七日

地名	氣壓（粍）	風向	風速（米）	氣溫（攝氏）	天氣	降水量（粍）
臺北	761・4	東	6	25・7	晴	—
那覇	759・7	北東	9	25・7	曇	—
鹿兒島	763・2	靜穏	1	18・5	曇	4
高知	762・5	靜穏	0	19・4	曇	—
大分	762・6	北北西	3	21・2	曇	—
多度津	761・7	靜穏	1	22・1	曇	—
廣島	762・8	靜穏	1	20・0	曇	—
大阪	761・6	靜穏	1	20・3	曇	—
長崎	763・1	東	2	20・7	曇	—
福岡	763・8	北北西	3	20・6	曇	—
濱田	763・2	西南西	3	20・1	曇	—
名古屋	761・6	北	2	20・0	曇	—
横濱	760・8	靜穏	1	20・1	曇	—
東京	760・6	靜穏	1	20・4	曇	—
銚子	760・6	北西	2	20・5	雨	—
長野	761・5	東	3	16・9	曇	—
前橋	760・5	北	2	19・0	曇	—
宇都宮	760・5	北北東	7	18・7	曇	—
福島	760・6	靜穏	1	19・9	曇	—
福井	761・8	靜穏	1	20・2	曇	—
新潟	761・7	西	3	19・3	曇	—
秋田	761・9	北	2	15・8	曇	1
石巻	761・0	靜穏	1	17・6	曇	—
盛岡	760・5	南西	2	16・0	曇	—
青森	760・9	西北西	7	15・6	薄曇	—
函館	759・7	西	5	16・1	晴	—
札幌	759・1	靜穏	1	14・5	曇	2
旭川	757・9	南南西	4	14・0	晴	3
根室	757・1	北東	4	15・1	曇	—
大泊	754・8	西南西	10	10・5	雨	3
釜山	764・2	北北西	6	18・3	晴	—
仁川	766・0	西南西	2	18・4	快晴	—
元山	762・7	西	2	19・3	快晴	—
城津	759・9	靜穏	1	19・0	快晴	—
新義州	764・1	靜穏	1	15・4	晴	—
大連	764・2	西北西	8	22・1	黄沙	—
奉天	763・5	靜穏	1	17・4	快晴	—
新京	762・0	西北西	3	13・1	快晴	—
天津	765・5	北北西	2	24・0	快晴	—
青島	766・1	南南西	3	23・2	快晴	—
上海	766・4	東北東	2	23・7	快晴	—

◎東京氣象

十月七日 天氣概況 曇一時微雨

平均氣壓（海面ノ度）	七六〇・七粍	平均雲量	10・0
平均氣溫	一八・五度 平年ヨリ一・一度高シ	日照時間	0・六時
最高氣溫	二一・〇度	平均風速度	1・0米
最低氣溫	一五・九度	最大風速度	1・六米
前五日間平均氣溫	一七・八度 平年ヨリ0・二度高シ	最多風向	北北西
平均濕度	八〇％	降水總量	0・0粍
平均水蒸氣張力	一三・六粍	一時間最大降水量	0・0粍

記事 午後一時五十二分ヨリ同二時五分マテ降雨アリタリ

（以上中央氣象臺）

土地收用公告

昭和十一年九月十四日内務大臣ニ於テ公告セラレタル内務大臣ノ起業ニ係ル道路新設ノ爲收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

昭和十一年十月十日 廣島縣知事 早川三郎

土地收用細目

廣島縣安藝郡坂村字岡下五一一三番地ノ一宅地、五一一三番地ノ三雜種地、五一一三番地ノ四、五一一三番地ノ六、五一一四番地ノ一宅地、同村字鎗迫丙四八八六番地ノ一畑、丙四八八六番地ノ五池沼、丙四八八六番地ノ六畑、丙四八八六番地ノ七池沼、丙四八八六番地ノ八畑、丙四八八六番地ノ九池沼、丙四八八六番地ノ一〇畑、丙四八八六番地ノ一一、一〇六五〇番地ノ一池沼、一〇六五〇番地ノ二、一〇六五〇番地ノ三、一〇六五〇番地ノ四畑、一〇六五〇番地ノ五、一〇六五〇番地ノ一七、一〇六五〇番地ノ二〇、一〇六五〇番地ノ二一、一〇六七一番地ノ二宅地、一〇六七一番地ノ六池沼、一〇六七一番地ノ七宅地、呉市吉浦町字燕四四四一番地ノ一畑、庚四四四三番地、丁四四四三番地ノ一山林

廣告

◎高等試驗外交科本試驗公告

本試驗合格者氏名（イロハ順）左ノ如シ

服部比左治	原田正行	蓮見幸雄
坂西太郎	西山昭	堀川求一
法眼晋作	大城齊敏	岡田渉
小澤武夫	金子一平	吉村又三郎
高橋覺	高木義三郎	曾野明
中川進	浦部勝馬	宇山厚
後宮虎郎	矢代道夫	前田憲作
二股一男	福士次郎	朝山進
光藤俊雄	日向精藏	須山達夫

昭和十一年十月 高等試驗委員長 次田大三郎

◎華族世襲財產

左記財產ヲ以テ華族世襲財產設定認可ノ申請アリタルニ依リ該財產ニ關シ權利ヲ有スル者及債權者ハ昭和十一年十二月十四日マテニ宮内大臣ニ申出ツヘシ

昭和十一年十月八日 宮内省

◎侯爵筑波藤麿所有 甲種登錄三分半利國庫債券ほ號第一二七番金額五萬一千五百五十圓、に號第一五〇番金額十萬二千五百五十圓、ほ號第一一七番金額五萬一千二百五十圓、宇治川電氣株式會社株券内第二三九四號五十株

◎伯爵葛城茂麿所有 甲種登錄三分半利國庫債券ほ號第五二一番金額十一萬三千八百圓

◎伯爵鹿島晃久所有 甲種登錄三分半利國庫債券は號第六三番金額五萬一千二百五十圓

◎伯爵酒井忠克所有 甲種登錄甲號五分利公債甲ぬ號第二一八六二番金額一萬一千圓、甲種登錄三分半利國庫債券は號第八一番金額十五萬四千圓

右東京市讀賣新聞ヲ以テ公告ス

◎醫師免許證書換下付

書換下付年月日	登錄番號	本籍地道府縣名及族稱	氏名	資格	資格取得年月
昭和一一、九、一五	七九〇〇一	埼玉縣	若山美知	新潟醫科大學	昭和一一、三
同	三一九一七	東京府	高田剛一郎	九州帝國大學醫科大學	大正元、一二
同	六四四二二	福井縣	中川富士	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	昭和六、三
同	六一〇三二	千葉縣	淺野秀	東京女子醫學專門學校	四、三
同	七四六九一	兵庫縣	鳥居利子	大阪女子高等醫學專門學校	九、三
同	七四三八三	大阪府	高田美代	同	同
同	一一六七八	東京府	坂本ヤソ	試驗及第	明治三一、五
同	四八三一四	香川縣	三宅綾子	東京女子醫學專門學校	大正一〇、一一
同	六八〇五五	東京府士族	中村千代	同	昭和七、三
同一七	七一一四一	廣島縣	伊豆田悦子	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	八、三
同	六六二〇四	埼玉縣士族	田嶋久憲	北海道帝國大學醫學部	六、三
同	一五七六五	北海道士族	星野一郎	試驗及第	明治三五、四
同	七六四七五	東京府士族	伊藤德三郎	東京帝國大學醫學部	昭和一〇、三
同	三六七五五	靜岡縣	堀江季虎	新潟醫學專門學校	大正四、七
同一九	六五七六五	東京府	春日龜助	東京醫學專門學校	昭和六、三
同	七二〇〇四	三重縣	堀あさ	大阪女子高等醫學專門學校	八、六
同	五三〇二三	東京府	鳥居文雄	東京帝國大學醫學部	大正一三、三
同二一	四八一四七	大阪府	桂三友	長崎醫學專門學校	明治三四、一〇
同	七九九五七	同	土屋文右衛門	大阪帝國大學醫學部	昭和一一、三
同二三	五九二八七	臺灣	林顏氏世保	東京女子醫學專門學校	三、三
同	六九四七八	京都府士族	杉山房江	同	八、三

昭和十一年十月 内務省

◎齒科醫師免許證書換下付

書換下付年月日	登錄番號	本籍地道府縣名及族稱	氏名	資格	資格取得年月
昭和一一、九、一五	一六六八九	大阪府	中村平雄	大阪齒科醫學專門學校	昭和五、三
同	一八九三八	京都府	山仲昴	九州齒科醫學專門學校	七、三
同	一七三七六	岐阜縣	小見山鈴子	東京女子齒科醫學專門學校	五、一〇
同	八二五五	東京府	入江求	東京齒科醫學專門學校	大正一〇、七
同一七	一一九一二	奈良縣	吉田一郎	大阪齒科醫學專門學校	一四、九
同	八五四〇	東京府	鳥羽榮一	北米合衆國カリフォルニア州齒科醫師免許證	西暦一九一五、三
同二一	二三九九五	岡山縣	山崎三郎	日本大學專門部齒科	昭和一〇、三
同	二〇九三〇	大分縣	姬野正人	九州齒科醫學專門學校	九、三
同二三	九二五九	德島縣	橋本銀造	試驗合格	大正一二、六
同	二〇六〇八	臺灣	李林氏秀專	東京女子齒科醫學專門學校	昭和八、一〇

昭和十一年十月 内務省

◎藥劑師免許證書換下付

書換下付年月日	登錄番號	本籍地道府縣名及族稱	氏名	資格	資格取得年月
昭和一一、九、一五	二八七五五	岐阜縣	岡田靜子	帝國女子藥學專門學校	昭和一〇、三
同	二六八五七	廣島縣	楠本萩枝	帝國女子醫學藥學專門學校藥學科	八、三
同	一三四九三	東京府	小田切良一	試驗合格	大正一一、六
同一七	二八七〇四	富山縣	曾根喜美子	帝國女子藥學專門學校	昭和一〇、三
同一九	二八八六一	愛知縣	兵東美子	昭和女子藥學專門學校	同
同	二四九八八	福島縣	熊谷フヂ	帝國女子醫學藥學專門學校藥學科	七、三
同二一	二九五〇〇	東京府士族	鎌田けい子	共立女子藥學專門學校	大正一〇、三
同	八七三四	大阪府	川田はる	試驗及第	七、四

昭和十一年十月 内務省

◎恤兵金品

今回ノ滿洲事變ニ際シ明治三十七年陸軍省告示第四號ニ依リ受領シタル寄附金、寄附者住所氏名及寄贈品同價格並ニ寄贈者住所氏名左ノ如シ

昭和十一年十月 陸軍大臣官房

寄附金ノ部（代表名ノモノハ内譯ヲ省略ス）

金員	現住所族籍 官職位勳爵	氏名
十一年二月十三日		
	朝鮮	
五・〇〇圓	京畿道京城府太平通二ノ二七〇	吉森キヌ
一・五〇	同高陽郡漢芝面西氷庫里西氷庫	重松正美
七八・七二	忠淸北道忠州郡忠州邑本町二四七忠州國防義會代表、退役砲兵少尉正八位	原口一二
六・六〇	忠淸南道扶餘郡玉山面秀岩里玉山公立普通學校三、四年兒童代表	方均南
五・〇〇	同公州郡公州邑山城町一七八	上田時子
二四・〇〇	全羅北道群山府錦光寺内群山佛教團代表正八位	淺野哲禪
二〇・四八	全羅南道靈光郡靈光面南山里二三五靈光青年團代表勳七等	綿谷勇一
二・〇〇	同光州府錦岡町二三有志代表	押村行
三〇・〇〇	慶尚北道大邱府東雲町專賣局官舍内大邱專賣局販賣課職員代表朝鮮總督府專賣局副事務官正七位	荻原圓藏
二・〇〇	同南山町二三二	李昌宇
二四・〇三	同慶州郡外東面方於事業區一般出役人夫、影湖農村振興組合、影湖婦人會代表	金元秀
三・五九	同面開谷里開谷事業區出役人夫有志代表	林秉熙
一五・〇〇	同郡川北面我也里川北事業區出役人夫代表	增崎喜幸
八・〇四	同郡慶州邑城東里慶州砂防事業所職員代表、產業技師	田代棟三
一九・九二	同盈德郡寧海面城内洞寧海事業區職員出役人夫代表	山下秀三
一一・四七	同郡盈德面盈德事業區職員出役人夫代表	李月建
一九・〇五	同迎日郡浦項邑明治町虎洞砂防工事出役人夫有志代表	中馬秀隆
九・四八	同郡杞溪面縣内洞八四二杞溪公立普通學校兒童代表	杉本昇
七・六五	同面鳳溪洞八七九鳳溪洞婦人會代表	金性鎭
三・四二	同面縣内洞杞溪砂防所事業區職員代表	李裕百
二・一三	同杞溪警察官駐在所職員代表	川上豊勇
二〇・〇〇	慶尚南道馬山府馬山公立商業學校三年生徒代表	李權榮
一〇・〇〇	同府元町一四二	青木寅藏
二・五〇	同曙町五曙倶樂部代表	玉鉾勝太郎
三・〇〇	同釜山府本町五ノ四四	阿武健三
二・〇〇	同辨天町一ノ一二藤田藥店内有志代表	山田治
	東京府	
四〇・七〇	東京市芝區高輪車町六〇高輪商業學校五年有志代表	岡村榮 吉田銅二郎
一〇・〇〇	同本郷區切通町一〇	福井誠藏
五・〇〇	同世田谷區經堂町三三一五田村金吾方	田牧イツヨ
二・一一	同王子區王子町四五三新聞販賣會集ひの會代表	岩井國太郎
一〇・〇〇	（住所不明）	姓名不詳
	神奈川縣	
一〇・〇〇	足柄下郡足柄村荻窪	柱山庵
	三重縣	
一〇・〇〇	桑名郡城南村小貝須	鈴木宗助
	愛知縣	
一〇・〇〇	一宮市廻向院	安藤てつ
五・〇〇	同市宮西通一ノ六	豐島ゆき
三・〇〇	同市南石野町第四尋常小學校五年	中島守
三・三四	中島郡祖父江町	森下青年會
同十五日		
	東京府	
五〇・〇〇	東京市京橋區月島西仲通四ノ八	黒澤廣吉
同十七日		
	大阪府	
一〇〇・〇〇	大阪市大正區千島町四六株式會社濱垣商店	濱垣次郎
五〇・〇〇	同東區	帝國在郷軍人會汎愛分會

10.00 同淸水谷東之町四三五 種井 文十
2.00 同博勞町五ノ四九 高橋くま江
1.00 同區小橋 大阪理髮專修學校生徒 中村 光雄
50.00 同北區西扇町一一 出雲大社敎大阪分院、同神道婦人會大阪支部代表 宇野 岩夫
10.00 同瀧川町 （大塚 金藏 / 大塚 タツ）
5.10 同野崎町四六小林建具店内店員代表 千田 豐吉
50.00 同西成區出城通二ノ五黒田鑛金合名會社内 従業員代表社員 黒田 顯
3.11 同區西皿池町二八 赤松豐二郎
20.00 同浪速區大國町一ノ六 南 榮 組
10.00 同西淀川區大和田町一、六六二 三木ペイント合名會社内 荻野幸太郎
1.00 同福町五五 四宮 房枝
10.00 同旭區巽町 株式會社正盛舘堺製造所代表 中辻 正信
10.00 同新喜多町 本門佛立講第二九觀西組中 姓名不詳
5.00 同住吉區 姓名不詳
3.06 同南區末吉橋通三ノ一 南 とく
19.00 同市 平和樓従業員
13.65 同 東邦火災保險株式會社大阪支店内 社員有志
8.65 同市 池田青年學校
100.00 中河内郡天美村 帝國在鄉軍人會天美村分會、村民有志代表、副分會長 浦野健次郎
20.00 同小坂町 帝國在鄉軍人會小坂町分會代表、分會長 鈴木庄一郎
10.70 泉北郡鳳町新在家 眞宗婦人會
10.00 三島郡高槻町 淸水青年分團原支部下條班
2.50 泉南郡貝塚町堺 石村ヒサヱ
10.00 （住所不明） 姓名不詳

兵庫縣
130.24 尼崎市杭瀨 ダンス・タイガー從業員代表 高橋 虎男
61.88 神戸市湊區夢野町一丁目 菊水青年學校生徒有志代表 山田 鹿一
3.58 同林田區水笠通一丁目 神戸高等工業學校土木科三年 水田 勝治
100.00 川邊郡立花村塚口字樋僧一、一四四 田中 一郎
5.00 武庫郡甲東村仁川江川方 吉田 久子
2.00 多紀郡矢代村 矢野少年團代表 坪内 重男
2.00 同南河内村西谷 西谷支部少年團代表 小谷 政司

長崎縣
15.20 長崎市元船町 長崎海産物仲仕同志會代表 堀内鶴之助
3.00 同濱口町一六二 竹下 好行

長野縣
21.00 更級郡篠ノ井町布施高田四七三 芝澤青年會代表、會長 若林武一郎
6.50 下水内郡岡山村照岡八四ノイ 小林 林作

和歌山縣
10.00 海草郡西和佐村 西和佐尋常高等小學校

福岡縣
7.93 遠賀郡中間町 大正鑛業株式會社中鶴第二坑法華經信者有志代表 尾藤 儀作

同十八日

東京府
1.00 東京市小石川區大和町一 春日德太郎
10.00 同本所區東兩國四ノ四 飯倉 富藏

神奈川縣
30.00 横須賀市深田町二七一 荒尾喜員太

千葉縣
1.50 香取郡八都村八都尋常高等小學校内 川上部落通學兒童有志代表 菅井 正雄

靜岡縣
10.00 賀茂郡稻生澤村本郷一四六 日蓮宗稻生澤教會所管理者 鈴木 まん

福岡縣
7.00 三井郡大堰村守部八六九ノ一 秋吉 正信

同十九日

樺太
10.00 久春内郡三濱村珍内 大和講代表 西谷 本明

同二十日

東京府
5.00 東京市京橋區月島西仲通五ノ二 矢留安太郎

同二十一日

兵庫縣
26.00 神戸市海岸通二株式會社佐藤組昭和丸乗組員代表 末光 眞逸

廣島縣
10.00 廣島市幟町 松山 リヱ

福岡縣
10.00 直方市殿町 高瀬 一郎

同二十二日

東京府
4.00 東京市世田谷區三軒茶屋町一九二 赤木志律子

千葉縣
2.30 市原郡姉崎町姉崎 佐久間粂次郎

アメリカ合衆國
200.00 ロスアンゼルス市東二街三三九 加州毎日新聞社長 藤井 整

同二十四日

東京府
23.30 東京市向島區寺島町二ノ八 日本電線株式會社従業員代表 崎山刀太郎

兵庫縣
3.06 揖保郡神岡村東觜崎一五五 神岡少年赤十字團東觜崎支部代表 内海 秀夫
2.50 多可郡西脇町大野四七一 西脇大野少年赤十字團有志代表 柳田 光
2.00 同町蒲江二〇三 西脇町蒲江少年赤十字團有志代表 笹倉 寛
2.00 飾磨郡飾磨町 飾磨尋常高等小學校高一代表 泉 繁
2.00 赤穂郡尾崎村木下 姓名不詳

靜岡縣
15.00 志太郡島田町 高野山弘法大師島田支部教會信仰會有志代表 小澤 ふさ

福島縣
3.29 石城郡平町 平町第二尋常高等小學校高二有志代表 栗田ケイ子
5.00 信夫郡渡利村舟場 加藤 チヨ

廣島縣
6.00 廣島市三篠町楠木一 有志代表 西村 教次
29.00 安佐郡可部町 町民代表、町長 潮技三郎次
10.00 同所 增井淸兵衞
1.11 賀茂郡内海町 内海尋常高等小學校尋六 來 俊技

鹿兒島縣
3.50 囎唹郡志布志町 （東郷トミ子 / 淸水ミナリ）

同二十五日

臺灣
24.27 臺中市 市村上公學校生徒

長野縣
50.00 長野市南長野上野原二三四 長野商業學校代表、校長 越前 貞二

同三月一日

兵庫縣
1.50 佐用郡中安村米田一一一 中安尋常高等小學校如來田部落女兒童代表 春名楠四郎

群馬縣
15.00 新田郡太田町太田高等女學校内 赤誠會有志代表 坪内 薫自
2.00 北甘樂郡小坂村東野牧 東野牧青年誠和會代表、會長 佐藤 元三

愛知縣
10.00 一宮市花岡町四六 野田眞一郎
5.00 中島郡祖父江町 伊藤 はる
5.00 西春日井郡師勝町宮本物産西春工場内 青山 坂一

岐阜縣
68.31 吉城郡船津町鹿間 高野山大師教會金剛講鹿間支部有志代表 石田 金光
5.00 惠那郡下原田村 西久保健治郎

山口縣
30.00 宇部市上宇部中村 坂井 千鳥
1.20 （山口市立小路 進藤 昌子 / 同後河原 中村美津子）
13.00 美禰郡大田町 大田町男女青年團
7.00 同別府村 別府女子青年團
7.00 大島郡森野村平野 平野男女青年團
5.00 都濃郡下松町 藤井 一市
5.00 厚狹郡小野田町大正通 山中チヨ子
5.00 同船木町眞名ヶ崎 高橋 ミサ
5.00 同町來迎寺 有志代表 辻田 玄榮
1.50 同小野田町大正通 有志代表 古川シヅ子

愛媛縣
10.00 喜多郡大瀨村 女子青年團代表、團長 森本 信子

4.00 溫泉郡石井村西石井 男女青年團代表 松田 雅章
3.38 新居郡角野村 角野尋常高等小學校高二 西坂 正富
1.68 伊豫郡郡中町二丁目 市川 登

同二日

北海道
10.00 紋別郡紋別町鴻ノ舞金龍 三浦矢八郎

茨城縣
4.00 猿島郡櫻井村柳橋 柳橋青年團代表 齊藤 銀七
1.85 同沓掛村 姓名不詳
4.00 眞壁郡紫尾村 紫尾村青年團南椎尾支部
2.79 多賀郡磯原町 磯原明德尋常高等小學校 宮前、引目田通學團一同
2.34 同 同校兒童 益子美斗枝
2.00 西茨城郡七會村 鹽子青年會代表、會長 阿久津銳男

靜岡縣
10.00 靜岡市曲金靜岡農學校内 青年學校教員養成所生徒代表 出木 正孝
8.73 同本通一〇ノ四 久住才三郎
3.00 同市 姓名不詳
11.25 庵原郡由比町東山寺五七〇ノ一 望月 いぬ
10.00 同町 帝國在鄉軍人會由比田分會代表 古牧謹一郎
36.21 志太郡 帝國在鄉軍人會島田工場分會
2.50 同岡部町杜島一八 岩谷 敏夫
15.00 田方郡田中村 村民代表、村長 室住 正和
3.00 同上狩野村 特越尋常高等小等校代表 鈴木龜之助
15.00 賀茂郡下田町 大日本國防婦人會下田町第二分會
2.00 同 下田尋常高等小學校有志代表 澤村 豐子
13.11 駿東郡靜浦村獅子濱區 有志代表 坂倉 房雄
2.50 同金岡村 岡宮少年警備隊
1.80 同小山町靑淵區 有志代表 靑淵 正吾
10.00 富士郡岩松村松岡二三九〇 野澤德太郎
5.00 同大宮町 岳南 住人
3.00 同原田村 瀧川少年團有志代表 鈴木 行雄
2.00 同村瀧川 渡邊千佐久
2.00 同元吉原村今井 今井青年團
1.50 同富士町 富士中學校生徒 姓名不詳
1.50 同吉原町 六軒町尋常小學校兒童 伊藤 廣
1.00 同吉永村鵜無ヶ淵 有志代表 勝又 芳子
4.36 磐田郡見付町 見付尋常高等小學校有志代表 小田 政子

愛媛縣
5.00 宇和島市丸ノ内宇和島市役所内 宇和島市高野山金剛講

同六日

北海道
34.55 花咲郡齒舞村志發島 帝國在鄉軍人會志發島分會代表、分會長 北村 廣司
7.64 同村友知村 友知青年團代表團長 外山 幸市

東京府
10.00 東京市中野區江古田四ノ一、七八〇 慈尊庵内 （尼 大觀 / 尼 不識）

長崎縣
20.00 長崎市矢ノ平町 有志代表 井上 英雄
17.50 同浦上町 浦上カトリック青年會有志代表 平山 國市
1.50 同榎津町八七 中村 新

愛知縣
2.40 知多郡河久比村 河久比村青年團宮津支部代表 新見彌之助

青森縣
5.00 東津輕郡今別村 松緑神道大和山會、今別分所

島根縣
1.00 邇摩郡福浦村 福浦女子青年團代表團長 安田 秀子

福岡縣
1.00 福岡市 姓名不詳
15.62 宗像郡河東村 河東尋常高等小學校兒童代表 玉置 嘉市

◎自動車交通事業財團

志太郡青島町前島六百六十一番地ノ一藤相鐵道株式會社ヨリ新ニ自動車ヲ財團ニ屬セシメタル旨ヲ以テ自動車交通事業財團目錄記載ノ變更登記申請アリタルニ付其自動車ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押、假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十一日以内ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ
但シ財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス
昭和十一年十月十日　靜岡區裁判所藤枝出張所

◎工場財團

尼崎市北初島町十六番地東亞セメント株式會社ヨリ同會社ニ屬スル土地、建物、工作物竝ニ機械器具等ニ對シ工場財團組成ノタメ所有權保存登記ノ申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スヘキ者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告ノ掲載ノ日ヨリ三十二日以内ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ
但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス
昭和十一年十月十日　伊丹區裁判所尼崎出張所

◎計理士登錄

計理士登錄簿ニ登錄セラレタル者左ノ如シ
昭和十一年十月　商工省

登錄月日	種別	事務所所在地	氏名
九、二	事務所變更	横濱市中區西戸部町一丁目三八番地	木村 昇
同	事務所增設	福岡縣田川郡伊田町大字伊田三、〇三六番地ノ四	山内 恒光
同	同	福岡市大名町一八二番地ノ一	林 弘一
同三〇	新規登錄	神奈川縣三浦郡逗子町櫻山八八四番地	小林 茂壽
同	同	東京市麹町區丸ノ内三丁目六番地仲二號館堀合法律事務所内	湯口 重壽
同	同	千葉縣東葛飾郡浦安町當代島二七四番地	金橋 茂
同	同	大阪市天王寺區六萬体町五五番地計理士風神仲一會計事務所	牧野 嘉行
同	同	東京市神田區鎌倉河岸四番地ノ二	大津留 董
同	同	同市王子區下十條町四七番地	鈴木 宗淸
同	同	大阪府北河内郡三鄉村大字高瀨舊大枝四八番地	川崎 三郎
同	同	奈良縣山邊郡丹波市町大字石上二七七番地	植田 正春
同	同	東京市品川區南品川五丁目一九一番地	加賀 歡喜
同	同	同市豐島區巢鴨五丁目一四二一番地	大澤 三郎
同	同	横濱市中區相生町三丁目六三番地横濱莫大小同業組合事務所内	奥津 進
同	同	東京市芝區西久保巴町四七番地	長崎 慶二
同	同	同市本鄉區駒込林町一三番地	吉田勇之助
同	同	同市同區駒込富士前町三八番地	神永 茂
同	同	同市足立區千住三丁目五〇番地	森 貞
同	同	千葉縣香取郡小見川町小見川五一七番地	岩崎 忠雄
同	同	東京市麹町區内幸町一丁目六番地商興ビルディング三階第一號館杉法律事務所	諸星 義淸
同	同	西宮市越木岩字樋ノ池南側二八號八番地	原田 知止
同	同	堺市櫻之町東二丁四番地計理士山本義雄事務所内	梅澤 泰
同	同	佐世保市折橋免九一五番地	佐藤 保信
同	同	門司市大字門司一、九五六番地ノ五	井上 新
同	同	東京市世田谷區代田一丁目七六一番地	三木盛五郎
同	同	大阪市東淀川區十三西ノ町二丁目八〇番地	山下 榮松
同	同	大津市中京町三番地	北川 太郎

◎海技免狀原簿登錄

昭和十一年八月中海技免狀原簿ニ登錄シタルモノ左ノ如シ種類ノ項ニ汽甲長トアルハ汽船甲種船長、漁乙一トアルハ漁船乙種一等運轉士、丙運トアルハ丙種運轉士、發機長トアルハ發動機船機關長、近發二機トアルハ近海發動機船二等機關士、汽三機トアルハ汽船三等機關士ノ略ナリ其他皆此例ニ倣フ
昭和十一年十月　遞信省

新規

種類	番號	登錄月日	氏名	摘要
甲長	三六〇一	八、一七	來栖 勇司	甲一ヨリ進級
同	三六〇二	同	大泉 康男	同

第2934号 本文

第2934号 本文

同	三六〇三	同	三	久稻米次郎	同
同	三六〇四	同		小川長谷雄	同
同	三六〇五	同	二五	河村庄一	同
汽甲長	八一九	同	二三	山田定男	
甲一	四八九七	同	三	立川　軫	甲二ヨリ進級
同	四八九八	同	二〇	吉田俊文	同
同	四八九九	同	二三	奥野藤夫	同
同	四九〇〇	同		明石四郎	同
同	四九〇一	同	二五	齋藤紅魚司	同
同	四九〇二	同		屋久善藏	同
同	四九〇三	同		金子　進	同
甲二	八〇四二	同	四	雲野信巳	
同	八〇四三	同		加藤友治郎	
同	八〇四四	同		植竹正二	
同	八〇四五	同		紙田甚作	
同	八〇四六	同		福家亮月	
同	八〇四七	同		松岡　巖	
同	八〇四八	同		篠原　登	
同	八〇四九	同		堀田耕藏	
同	八〇五〇	同		高橋門六	
同	六〇五一	同		江藤次男	
同	八〇五二	同		熊本武男	
同	八〇五三	同		池田一夫	
同	八〇五四	同		青柳良一郎	
同	八〇五五	同		荒木亮之助	
同	八〇五六	同		平原達雄	
同	八〇五七	同		原田　喬	
同	八〇五八	同		野元忠行	
同	八〇五九	同		手塚一衞	
同	八〇六〇	同		井上太郎	
同	八〇六一	同		山本久次	
同	八〇六二	同		出嶋三郎	
同	八〇六三	同		玉井　章	
同	八〇六四	同		木山逸男	
同	八〇六五	同		菊地　明	
同	八〇六六	同		大関恒春	
同	八〇六七	同		河合孝道	
同	八〇六八	同		大原末德	
同	八〇六九	同		池田省吾	
同	八〇七〇	同		大場正規	
同	八〇七一	同		古畑德美	
同	八〇七二	同		高本正記	
同	八〇七三	同		池田正秋	
同	八〇七四	同		小田正威	
同	八〇七五	同		上野正光	
同	八〇七六	同		高橋辰意	
同	八〇七七	同		坂元光治	
同	八〇七八	同	一〇	横林謙祐	
同	八〇七九	同		小川　孝	

同	八〇八〇	同	一三	新原武次	
同	八〇八一	同		門脇一夫	
同	八〇八二	同		光山虎一	
同	八〇八三	同		土居一雄	
同	八〇八四	同		福元治郎	
同	八〇八五	同		西原　猛	
同	八〇八六	同		久富木正一	
同	八〇八七	同		有馬正駿	
同	八〇八八	同		吉岡十二	
同	八〇八九	同		小山満夫	
同	八〇九〇	同		北吉平義	
同	八〇九一	同		中野正満	
同	八〇九二	同		田山正春	
同	八〇九三	同		中井　寛	
同	八〇九四	同		福與吾一	
同	八〇九五	同		上村一雄	
同	八〇九六	同		石井二郎	
同	八〇九七	同		上野　城	
同	八〇九八	同		井上　保	
同	八〇九九	同	二五	中村　司	
同	八一〇〇	同		畠中菊雄	
同	八一〇一	同		福元勝美	
同	八一〇二	同		長瀬隆俊	
同	八一〇三	同		木間繁雄	
同	八一〇四	同		三浦善六	
同	八一〇五	同		幸尾英治	
同	八一〇六	同		田中晋吉	
同	八一〇七	同		中島　脩	
同	八一〇八	同		太間政太郎	
乙一	五三七五	同	三	柳沢志良治	
漁乙一	二三四	同		芳村憲二	
乙二	八八一一	同		泉　茂雄	沿乙二ヨリ進級
同	八八一二	同		堤　清臣	
同	八八一三	同		切通　榮	
同	八八一四	同		川崎敏行	
同	八八一五	同		中村鶴松	
同	八八一六	同		金丸　眞	沿乙二ヨリ進級
同	八八一七	同		村田　彰	
同	八八一八	同		平林　榮	
同	八八一九	同		岩井太一郎	
同	八八二〇	同		山田見吉	
同	八八二一	同	二〇	齊藤友治	沿乙二ヨリ進級
同	八八二二	同	二三	京元守諸	同
同	八八二三	同	二五	與那城順光	同
同	三一八二	同	三	槇　末盛	

同	三一一八三	同		上東初一	
同	三一一八四	同		北川義治	
同	三一一八五	同	一〇	井元榮四郎	
同	三一一八六	同		道川若松	
同	三一一八七	同		小林丑太郎	
同	三一一八八	同	一三	神崎銀藏	
同	三一一八九	同	一五	山城茂雄	
同	三一一九〇	同	三	石原源三郎	小乙二ヨリ進級
同	三一一九一	同	二五	阿部幸之進	
同	三一一九二	同		安達春松	
丙運	三一一七七	同	三	中野義春	
同	三一一七八	同		高岡義則	
同	三一一七九	同		松永恒次	
同	三一一八〇	同		大田孝法	
同	三一一八一	同		下見　清	
同	三一一八二	同		石橋宅男	
同	三一一八三	同	二〇	植村明造	沿丙運ヨリ進級
同	三一一八四	同		山道啓之助	同
同	三一一八五	同	三	都田好清	同
同	三一一八六	同		遠近福松	同
沿丙運	二一〇九八	同	三	福井義治	
同	二一〇九九	同		槇原信造	小丙運ヨリ進級
同	二一一〇〇	同		胡子澄人	
同	二一一〇一	同		前田金一	
同	二一一〇二	同		竹原　登	
同	二一一〇三	同		山下益三	
同	二一一〇四	同		三浦正照	
同	二一一〇五	同		藤谷繁三郎	小丙運ヨリ進級
同	二一一〇六	同	一〇	亀澤亀太郎	
同	二一一〇七	同		寺本吉次郎	
同	二一一〇八	同		寺本薫明	
同	二一一〇九	同		原田勝太郎	
同	二一一一〇	同		山根邦夫	
同	二一一一一	同		小柴　英	
同	二一一一二	同		清水作一	
同	二一一一三	同		船津菊市	
同	二一一一四	同		澤野彦市	
同	二一一一五	同		河本晋彦	
同	二一一一六	同		杉谷験悦	
同	二一一一七	同		山本二郎	
同	二一一一八	同		平野恒義	
同	二一一一九	同		福間常松	
同	二一一二〇	同		林　繁雄	
同	二一一二一	同		野田梅雄	

同	二一一二二	同		林　仙市	
同	二一一二三	同		高浦德一	
同	二一一二四	同		河野福一	
同	二一一二五	同		澄田島一	
同	二一一二六	同	三	衞藤　猛	
同	二一一二七	同		今井里四郎	
同	二一一二八	同		阿部國太郎	
同	二一一二九	同		瀬山彌治郎	
同	二一一三〇	同		相澤秋與	
同	二一一三一	同		江川久生	
同	二一一三二	同		渡邊德松	
同	二一一三三	同		小野庄藏	
同	二一一三四	同		安藤伴吉	
同	二一一三五	同		山本伊藏	
同	二一一三六	同		濱野倉生	
同	二一一三七	同		中山三次郎	
同	二一一三八	同		臨城正治	
同	二一一三九	同		若狹照義	
同	二一一四〇	同	三	奥谷甚九郎	
同	二一一四一	同		森脇秀夫	小丙運ヨリ進級
同	二一一四二	同	二五	根本丑太郎	
同	二一一四三	同		大和田昇造	
同	二一一四四	同		大和田庄四郎	
同	二一一四五	同		大瀧井福太郎	
同	二一一四六	同		根本年芳	
同	二一一四七	同		朝日太三郎	
同	二一一四八	同		大塚澤吉	
同	二一一四九	同		根本總司郎	
同	二一一五〇	同		大内庄一郎	
同	二一一五一	同		川崎忠五郎	
同	二一一五二	同		大内末吉	

(未完)

◎樺太移住案內

農業目的ヲ以テ明春左記殖民地ニ家族同伴移住ヲ希望スル者ハ個人ト團體トヲ問ハス詳細當廳ニ照會ノ上本年十二月十五日マテニ出願セラレタシ

豐原郡落合町大字小谷大谷殖民地　百十五戶
豐原郡豐原町大字唐松殖民地　三十五戶
計　百五十戶

昭和十一年十月　樺太廳

◎營業禁止

本籍北海道美國郡美國町大字船澗村番外地　古物商　三和善太郎
本籍樺太泊居郡泊居町大字泊居字常盤町五丁目四番地　同　佐々木芳春

本籍岩手縣紫波郡赤澤村大字赤澤十番地　同　福山啓三

右古物商取締法第十四條ニ依リ去月二十一日其營業ヲ禁止セリ

昭和十一年十月　樺太廳

◎所屬未定地編入

左記所屬未定地ヲ天草郡宮地村大字大宮地字下釜ノ區域ニ編入シ本月六日ヨリ施行セリ

昭和十一年十月　熊本縣

天草郡宮地村大字大宮地字下釜又四八六〇番ノ四、又四八六〇番ノ五地先海面
埋立面積　四十二坪三合一勺

◎購買入札

松挽角材六七立方米外一七點
一、入札及開札　本月二十日午前十時當部ニ於テ入札、卽時開札ス
二、入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
三、入札資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者
四、公示書類　入札心得書及契約書案其他詳細ハ當部ニ於テ示ス
五、郵便及電報入札差支ナシ

長崎縣壹岐郡武生水町
昭和十一年十月十日　陸軍築城部壹岐支部

第一號　小麥粉　六千袋
第二號　袋布　二千五百反
入札　本月二十一日午前十一時卽時開札
入札心得書、契約書案及標本　當廠ニ在リ
入札保證金　見積額ノ百分ノ五以上
入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フル者ニ限ル

昭和十一年十月十日　大阪陸軍糧秣支廠

第一號　無砂搗壓搾麥　一〇、七〇〇瓩　熊本部隊納
第二號　同　八八〇瓩　大分部隊納
第三號　同　三、八〇〇瓩　都城部隊納
第四號　同　二、三六〇瓩　鹿兒島部隊納
第五號　同　一、三三〇瓩　高良臺演習廠當部隊納
第六號　大麥　一、五六〇瓩　熊本部隊納
以上本年十一月中所要
入札心得書、契約書案、標本　當部又ハ大分、都城、鹿兒島當部派出所ニ在リ
入札及開札　本月二十日午前十時當部ニ入札、卽時開札但シ郵便又ハ電報入札差支ナシ(郵便ハ書留扱トシ封筒ニ「入札書」ト明記ス電報ハ照校親展トス)
入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上ヲ現金又ハ國債ヲ以テ入札當日午前九時マテニ當部ニ納付スルモノトス
入札者資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格ヲ有スル者

昭和十一年十月十日　第六師團經理部

第一號　無砂精米　一四、五八〇瓩 ┐久留米部隊
第二號　同壓搾麥　六、五二〇瓩 ┘納
第三號　同　五二〇瓩　大村部隊納
第四號　同精米　四、三二〇瓩 ┐太刀洗部隊納
第五號　同壓搾麥　二、〇〇〇瓩 ┘
第六號　同精米　一、三八〇瓩 ┐佐世保部隊
第七號　同壓搾麥　四四〇瓩 ┘納
第八號　同精米　四、三八〇瓩 ┐對馬部隊納
第九號　同壓搾麥　一、二四〇瓩 ┘
以上本年十一月分所要トス
一、入札心得書、契約書案、標本閲覽所　當部被服倉庫
二、入札場所　當部
三、入札日時　本月二十日午前十時但シ郵便若クハ電報入札差支ナシ
四、入札保證金　各自見積金額ノ百分ノ五以上
五、入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フル者

昭和十一年十月十日　第十二師團經理部留守部

第一號　藁(寢藁用)　二九五、七〇〇瓩
第二號　同(同)　三三、二〇〇瓩
第三號　同(切藁用)　一六六、五〇〇瓩
以上宇都宮部隊納
以上本年下半期所要
一、入札心得書、契約書案、標本ハ當部及水戸、高崎、松本派出所(當該地步兵聯隊內)ニ於テ示ス
二、前項熟覽ノ者ハ郵便、電報入札差支ナシ
三、入札及開札　本月二十日午前十一時マテニ當部ニ入札、卽時開札ス
四、入札保證金　各自見積金額ノ百分ノ五以上
五、入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

昭和十一年十月十日　第十四師團經理部

一、松板外五廉　履行期限　本年十一月三十日
一、入札並開札　本月二十日午前十時三十分
一、入札場所　當部
一、公示書類　契約書案、入札者心得書當部ニアリ
一、入札保證金　入札價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一、契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上(同上)
一、入札資格者　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

昭和十一年十月十日　吳海軍建築部

一、鐵筋コンクリート用丸棒鋼(徑六粍外五種)　二四〇・五瓲
一、契約條項ヲ示ス場所　當所拘置監建築場
一、入札並開札日時及場所　本月二十一日午後一時限當所ニ入札書ヲ差出スヘシ卽時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ
一、入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一、入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和十一年十月十日　名古屋刑務所

一、玄粿麥(一立ノ衡量七百二十瓦以上)　四万瓩
一、契約條項ヲ示ス場所　當所
一、入札並開札日時及場所　本月二十日午後二時マテニ當所ニ入札書ヲ差出スヘシ卽時開札ス
但シ郵便、電信入札差支ナシ
一、入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一、入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和十一年十月十日　三重刑務所

第一號　壓搾麥(十立ノ衡量五瓩四百瓦以上)　五万瓩
本所本年十一月十二日完納
第二號　同(同)　二万五千瓩
釧路刑務支所本年十一月十二日完納
第三號　同(同)　一万五千瓩
帶廣刑務支所本年十一月十二日完納
一、契約條項ヲ示ス場所　當所
一、入札並開札日時及場所　本月二十二日午前十一時限當所ニ入札書ヲ差出スヘシ卽時開札ス
但シ郵便、電信入札差支ナシ
一、入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一、入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和十一年十月十日　網走刑務所

◎賣拂入札

一、品目數量
第一號　編上靴一、七四八組外一點
歩兵第一聯隊留守隊在庫
第二號　軍帽七四九箇外三十七點
歩兵第三聯隊留守隊在庫
第三號　軍帽一、八八九箇外十四點
歩兵第四十九聯隊留守隊在庫
第四號　軍帽一、五〇〇箇外二十五點
歩兵第五十七聯隊留守隊在庫
第五號　紺外套一、九五一箇
歩兵第五十七聯隊留守隊在庫
第六號　軍帽八六箇外二十點
戰車第二聯隊在庫
第七號　長靴　三〇〇組
騎兵第一聯隊留守隊在庫
第八號　軍帽一〇〇箇外一點
騎兵第十五聯隊在庫
第九號　軍帽五〇箇外四十點
騎兵第十六聯隊在庫
第十號　軍衣七箇外二十四點
騎砲兵隊在庫
第十一號　軍帽四五一箇外三十一點
野砲兵第一聯隊留守隊在庫
第十二號　軍帽二五〇箇外四點
野戰重砲兵第一聯隊在庫
第十三號　卷脚絆四〇組外二十八點
野戰重砲兵第七聯隊在庫
第十四號　軍帽一六八箇外十八點
横須賀重砲兵聯隊在庫
第十五號　編上靴一五〇組外一點
工兵第一聯隊留守隊在庫
第十六號　軍帽五〇〇箇外二十四點
輜重兵第一聯隊在庫
第十七號　夏衣七二箇外三十六點
習志野衞戍病院在庫
第十八號　軍帽八五〇箇外四十三點
陸軍士官學校在庫
第十九號　冬衣五五箇外二十五點
東京陸軍幼年學校在庫
第二十號　軍帽九箇外十八點
陸軍野戰砲兵學校在庫
二、入札及契約心得書等公示場所　當部
三、現品閲覽　本月十日ヨリ二十日マテノ執務時間中各部隊ニ於テ閲覽ノコト
四、入札日時及場所　本月二十一日午前十時當部ニ於テ入札、卽時開札ス、郵便、電信入札差支ナシ
五、入札保證金　各人見積價格ノ百分ノ五以上

昭和十一年十月十日　第一師團經理部留守部

第一號　臘虎皮　一枚
第二號　同　一枚
第三號　同　一枚
第四號　同　一枚
第五號　同　一枚
第六號　同　二枚

第2934号　本文

第七號	同	二枚
第八號	同	五枚
第九號	同	五枚
第一〇號	同	一〇枚
第一一號	同	一〇枚
第一二號	同	二〇枚
第一三號	同	二七枚
第一四號	同	一〇枚
第一五號	銀狐皮	五枚
第一六號	同	五枚
第一七號	同	五枚
第一八號	同	五枚
第一九號	同	五枚
第二〇號	同	七枚
第二一號	同	八枚
第二二號	同	一〇枚
第二三號	同	一〇枚
第二四號	同	二〇枚
第二五號	同	二一枚
第二六號	同	三〇枚
第二七號	同	二二枚
第二八號	同	三〇枚
第二九號	暗色十字狐皮	一四枚
第三〇號	同	一七枚
第三一號	十字狐皮	七三枚
第三二號	同	七三枚
第三三號	同	七四枚
第三四號	紅狐皮	九枚
第三五號	赤狐皮	四二枚
第三六號	同	一三七枚
第三七號	青狐皮	一〇枚
第三八號	同	[illegible]
第三九號	同	一四枚
第四〇號	同	一五枚
第四一號	同	二五枚
第四二號	同	二五枚
第四三號	同	二五枚
第四四號	同	三四枚
第四五號	同	三五枚
第四六號	同	三五枚
第四七號	同	四一枚
第四八號	同	四五枚
第四九號	同	四五枚
第五〇號	同	五〇枚
第五一號	同	九七枚
第五二號	同	九七枚
第五三號	同	七八枚
第五四號	同	七九枚
第五五號	同	七九枚
第五六號	雉皮	一一一枚
第五七號	鶩羽	二六羽

一、入札手續、契約書案　當課ニ於テ熟覽ノコト
二、現品閲覽場所及日時　大藏省構內中央會議所ニ於テ本月二十、二十一日ノ二日間毎日午前九時ヨリ午後三時マテ
三、入札及開札　本月二十二日午前十時三十分限入札、即時開札ス
四、入札場所　現品閲覽ノ場所ニ於テ
五、入札保證金　各號毎ニ入札價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

昭和十一年十月十日　農林大臣官房會計課

第一號　屑銅線外一點
第二號　屑鉛被紙ケーブル外一點
第三號　屑鐵線外三十八點
第四號　屑銅線外三十七點
第五號　屑鐵線外十三點

一現品下見月日竝所在場所
第一號　本月十九日主稅町倉庫外二箇所
第二號　同日主稅町倉庫外一箇所
第三號　同日主稅町倉庫外四箇所
第四號　同十五日長野
第五號　同十六日金澤
一公示書類　當局經理課竝ニ四號長野、五號金澤局ニテ熟覽スヘシ
一入札場所　當局經理課
一入札竝開札　本月二十日午前十一時入札、即時開札
一入札保證金　見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

昭和十一年十月十日　名古屋遞信局

◎商業登記

◎合資會社新設
商號　合資會社泰信公司
本店　錦州省北票興恒路二十二號
支店　錦州省朝陽南大街　熱河省凌源西大街
目的　滿洲炭礦株式會社石炭販賣及北票炭礦物品納入業
設立年月日　昭和十一年九月十日
代表社員ノ氏名　馬淵重次郎
社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及其責任
一金三万圓　無限　馬淵重次郎　錦州省北票興恒路二十二號
一金一万圓　有限　淸水孝痲　錦州省錦縣木村土地十五錢
一金一万圓　有限　小島喤吉　錦州省北票興恒路二十二號

解散事由
一會社ノ目的タル事業ノ成功又ハ其ノ成功ノ不能
二總社員ノ同意
三會社ノ合併
四社員カ一人ト爲リタルトキ
五會社ノ破產
六裁判所ノ命令
右昭和十一年九月二十一日登記　在錦州日本帝國領事館

◎合資會社萃信公司（變更）
昭和十一年九月十六日左記ノ者代表社員ニ就任ス
加藤正三郎
右昭和十一年九月二十四日登記　在營口日本帝國領事館

◎三井物產株式會社（變更）
一監査役阿部重兵衞ハ昭和十一年九月十日其住所ヲ東京市赤坂區靑山北町一丁目八番地ニ移轉ス
右昭和十一年九月十九日登記　在漢口日本帝國總領事館

◎合名會社設立
一商號　合名會社澤邊商會
一本店　川崎市古川通十番地
一目的　貸家貸間營業竝ニ之ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十一年八月一日
一代表社員　布澤トヨ
一社員氏名住所及出資
金五千五百圓　布澤トヨ　川崎市古川通十番地
金五千五百圓　渡邊正生　川崎市砂子一丁目二十二番地
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和十一年八月十三日登記

◎合資會社設立
一商號　合資會社丸松材木店
一本店　川崎市淺田町一丁目千九百四十六番地
一目的　材木竹類其ノ他建築用諸材料ノ賣買問屋營業竝ニ之レニ附隨スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十一年八月十七日
一社員氏名住所出資及責任
杉十尺三寸角八十九本外八十二點此價格金九百圓　無限　佐々木國松　川崎市淺田町一丁目千九百四十六番地
總桐三重簞笥一本外三十三點此價格金五百圓　有限　佐々木ヒサ　同所同番地
金一百圓　有限　高橋一男　新潟縣東頸城郡保倉村字大平五番戸

◎東邦興業株式會社移轉
一昭和十一年八月十日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
本店　甲府市櫻町九番地
右昭和十一年八月十八日登記　横濱區裁判所川崎出張所

◎株式會社厚木繭絲取引所變更
一監査役早川茂一小井升ハ昭和十一年八月四日重任ス
右昭和十一年八月十八日登記　小田原區裁判所厚木出張所

◎合資會社丸本商店變更
一昭和十一年八月十一日有限責任社員梅本金七ハ其持分ヲ有限責任社員栗田石松ニ讓渡シテ退社シ同日栗田石松ハ之レヲ讓受ケ出資額ヲ左ノ通リ變更ス
金三千二百圓　栗田石松
右昭和十一年八月十三日登記　四日市區裁判所富洲原出張所

◎合資會社松岡商店變更
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十一年八月四日社員小田增次郎ハ其持分全部ヲ伊東新三郎ニ讓渡シテ退社シ伊東新三郎ハ之ヲ讓受ケ左記ノ通リ入社ス
金一万五千圓　有限　伊東新三郎　京都市下京區八條通馬場町二十六番地
右昭和十一年八月十三日登記

◎合名會社伊藤鑄造所解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十一年七月三十一日解散ス
右昭和十一年八月十四日登記　四日市區裁判所桑名出張所

◎南島運輸株式會社變更
一代表取締役栗山忠平ハ昭和十一年八月十日住所ヲ左ノ地ニ移轉ス
宇治山田市大字岩淵町五百八十四番地ノ一
昭和十一年八月二十二日登記　山田區裁判所

◎眞珠島土地株式會社變更（本店）
一監査役石倉巳吉ハ昭和十一年八月五日辭任ス
昭和十一年八月十五日登記　山田區裁判所鵜方出張所

◎紀洋大敷株式會社解散
昭和十一年八月十六日株主總會ノ決議ニ因リ解散ス
昭和十一年八月二十一日登記　木本區裁判所鵜殿出張所

◎熊野合同運輸株式會社變更
取締役田中孝賴東彌六ハ昭和十一年七月三十一日辭任セリ
昭和十一年八月十二日登記　木本區裁判所上野出張所

◎全國組合肥料配給株式會社解散
一株主總會ノ決議ニ因リ昭和十一年八月十六日解散ス
昭和十一年八月二十二日登記　岐阜區裁判所

◎合名會社大江食料品店解散
一昭和十一年八月十五日總社員ノ同意ニ依リ解散ス
昭和十一年八月二十四日登記　敦賀區裁判所

◎株式會社加能合同銀行支店移轉（支店）
一昭和十一年八月十七日石川縣鳳至郡輪島町字河井町二部十二番地ノ二ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
石川縣鳳至郡輪島町字河井町一部百二十三番地
右昭和十一年八月二十日登記　金澤區裁判所美川出張所

◎株式會社設立
一商號　西尾自動車株式會社
一本店　廣島縣賀茂郡西條町七百二十五番地ノ二
一目的　一自動車ニ依ル運輸事業一自動車運送竝ニ貸切事業一自動車ノ賣買修理自動車用品販賣
一設立年月日　昭和十一年六月一日
一資本總額　金五万圓
一株金額　金五十圓
一各株拂込額　金五十圓
一公告方法　本店ノ店頭ニ掲示ス
一取締役ノ氏名住所
西尾協　賀茂郡西條町七百二十五番地ノ二
中村才藏　高田郡根野村大字下根千六十番地
吉村正稔　同郡船佐村大字佐々部三千百八十三番地ノ三
岡田實雄　賀茂郡莊野村大字西野千三十二番地
一監査役ノ氏名住所
吉村義雄　同郡西條町七百二十五番地ノ二
西尾利作　賀茂郡賀永村大字上三永四番屋敷
勝谷謙吾　同所五百三十九番地
昭和十一年八月十八日登記　廣島區裁判所西條出張所

◎北備運輸株式會社資本減少
一昭和十一年八月九日資本ノ總額ヲ左ノ通リ減少シタリ
資本ノ總額　金二千圓
昭和十一年八月二十二日登記　庄原區裁判所東城出張所

◎合資會社發重工業所解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十一年八月十九日解散ス
右昭和十一年八月二十四日登記　船木區裁判所厚狹出張所

◎美北物產合名會社解散
存立時期ノ滿了ニヨリ昭和十一年八月十四日解散シタリ
右昭和十一年八月二十四日登記　勝山區裁判所八東出張所

◎日鮮海運合資會社淸算人選任
昭和十一年八月二十一日總社員ノ同意ニ依リ左ノ者ヲ淸算人ニ選任シ即日就任セリ
川島嘉太郎　西伯郡境町日出町八十三番地
右昭和十一年八月二十二日登記　米子區裁判所境出張所

◎株式會社日本勸業銀行變更（支店）
監査役奧居彥松ハ昭和十一年八月十日退任シ左ノ者同年同月十一日監査役ニ就任ス
大野榮三　東京市淀橋區下落合三丁目千七百三十九番地

◎日本相互證券株式會社變更
代表取締役タル取締役岸敏治ハ昭和十一年七月十四日辭任シ昭和十一年八月七日左ノ者取締役ニ就任ス
林田惣七郎　田川郡伊田町大字伊田三千五百番地
同日左ノ者會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
林田惣七郎

◎株式會社大福自動車商會變更
昭和十一年八月十三日左ノ者監査役ニ就任ス
出光弘　福岡市大字春吉百六十八番地ノ一
昭和十一年八月十七日登記

◎株式會社日本勸業銀行社債（支店）
第十一回割引
一社債ノ總額　金二千万圓
一各社債ノ金額　金二十圓
一割引步合（利率）　最終償還ノモノニ於テ割引ノ方法ニ依リ年二分五厘一毛弱平均年二分八厘一毛弱ノ半箇年複利ニ相當ス
一社債償還ノ方法及期限　昭和十一年十月三十一日迄据置キ同年十月以後毎年四月十月抽籤ヲ爲シ毎回六万圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十九年五月迄ニ全額ヲ償還ス但シ臨時償還又ハ買入消却ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

◎株式會社日本勸業銀行社債（支店）
一第百十四回株式會社防長農工銀行第九回同第十七回株式會社京都府農工銀行第十三回株式會社和歌山縣農工銀行第八回株式會社埼玉農工銀行第五十八回株式會社長野農工銀行第七十五回株式會社栃木縣農工銀行第六十回同第六十五回株式會社宮崎農工銀行第四十九回同第五十四回ノ各社債ハ昭和十一年六月三十日其ノ全額ヲ償還シ左記社債ハ一部償還ニ因リ同日其ノ總額ヲ各左ノ通リ變更ス

	社債總額
第四回	金十七万一千四十圓
第五回	同　金十四万六千七百八十圓
第六回	同　金十二万三千八百四十圓
第七回	同　金十八万二千四百二十圓
第八回	同　金十四万九千五百二十圓
第九回	同　金十五万四百八十圓
第十回	同　金十五万四千一百圓
第十一回	同　金十六万七千一百圓
第十二回	同　金十七万五千六百二十圓
第十三回	同　金十七万九千一百八十圓
第十四回	同　金十八万六千五百八十圓
第十五回	同　金十七万五千一百八十圓
第十六回	同　金十八万五千四百二十圓
第十七回	同　金十八万八千五百四十圓
第十八回	同　金二十一万一千九百四十圓
第十九回	同　金三十万四千七百二十圓
第二十回	同　金六十三万一千八百二十圓
第二十一回	同　金三十三万五千二百八十圓
第二十二回	同　金三十三万七千二百二十圓
第二十三回	同　金九十七万四千八百九十圓
第二十四回	同　金一百四十四万三千一百四十圓
第二十五回	同　金五十万一千五百三十圓
第二十六回	同　金九十万一千四百九十圓
第二十七回	同　金八十九万四千九百八十圓
第二十八回	同　金一百一万三千二百五十圓
第二十九回	同　金八十九万一千二十圓
第三十回	同　金九十四万一百七十圓
第三十一回	同　金九十四万三千五百五十圓
第三十二回	同　金九十五万六千八百七十圓
第三十五回	同　金二百一万四千八百五十圓
第三十七回	同　金三百十二万九千一百六十圓
第三十八回	同　金二百十三万二千四十圓
第三十九回	同　金二百十万一千八百圓
第四十一回	同　金二十八万三千圓
第四十二回	同　金二十八万四千七百四十圓
第四十三回	同　金二十八万一千圓
第四十四回	同　金八十二万一千六百五十圓
第四十七回	同　金一百七十万七千八百二十圓
第四十八回	同　金一百五十四万二千一百九十圓
第四十九回	同　金一百八十二万七千二百三十圓
第五十回	同　金一百六十八万六千八十圓
第五十二回	同　金二百三十二万一千七百九十圓
第五十四回	同　金二百十六万三千七十圓
第五十五回	同　金四十万一千五百六十圓
第五十八回	同　金三百二十三万二千五十圓
第六十三回	同　金三百二十四万七千七百六十圓
第六十四回	同　金三百二十四万三百十圓
第六十五回	同　金四百七万三千四百八十圓
第六十六回	同　金四百十五万二千四百二十圓
第六十七回	同　金五百七十八万八千六百九十圓
第六十八回	同　金六百六十五万八千七十圓
第六十九回	同　金六百七十万九千九百圓
第七十回	同　金八百三十九万一千二百八十圓
第七十一回	同　金八百四十万一千五百十圓
第七十二回	同　金五百八万八千二百八十圓
第七十三回	同　金八百四十五万一千六百二十圓
第七十四回	同　金七百六十一万八千八十圓
第七十五回	同　金一千十九万六千二百四十圓
第七十六回	同　金八百二十一万七千三百四十圓
第七十七回	同　金七百七十四万二百圓
第七十八回	同　金五百六十万四千一百三十圓
第八十回	同　金七百二十三万四百四十圓
第八十二回	同　金五百十七万四千三百二十圓
第八十三回	同　金八百五十九万七千一百八十圓
第八十六回	同　金六百六十五万七千一百四十圓
第八十七回	同　金五百四十五万四千一百九十圓
第八十九回	同　金四百七十六万三千四百八十圓
第九十二回	同　金四百六万三千三百圓
第九十四回	同　金三百一万八千四十圓
割引第一回	同　金五百九十五万四千五百四十圓
同第二回	同　金九百四十五万三千七百八十圓
同第三回	同　金九百五十三万五千三百四十圓
同第四回	同　金九百六十二万六千三百八十圓
同第五回	同　金九百六十七万九千圓

第2934号 本文

同第六回	同	金九百七十万八千圓
同第七回	同	金九百八十五万一千圓
同第八回	同	金九百九十万七千三百二十圓
同第九回	同	金一千一百九十四万四百圓
同第十回	同	金一千一百九十四万五千九百二十圓
第三十四回	同	金一万四千二百圓
第三十六回	同	金二万四千七百圓
第四十回	同	金四千七百圓
第三未號	同	金一百圓
第九十回	同	金三千五十圓
第九十六回	同	金五十圓
第九十九回	同	金九百五十圓
第百回	同	金三千五百圓
第百一回	同	金一百圓
第百二回	同	金七百圓
第百十回	同	金八千五百圓
第百十三回	同	金八千六百圓
第百十五回	同	金八百圓
第百十七回	同	金七万七千一百圓
第百十八回	同	金四万七千九百圓
第百十九回	同	金四万四百圓
第百二十回	同	金二万二千八百圓
第百二十一回	同	金九百八十一万圓
第百二十二回	同	金九百八十万圓
第百二十三回	同	金一千九百六十万圓
第百二十四回	同	金九百八十万圓
株式會社防長農工銀行		
第十六回	同	金一百圓
第十八回	同	金二百圓
第二十一回	同	金一百圓
株式會社京都府農工銀行		
第十一回	同	金三百圓
株式會社長崎縣農工銀行		
第五回	同	金五十圓
株式會社埼玉農工銀行		
第五十六回	同	金三百圓
第五十回	同	金一千圓
株式會社長野農工銀行		
第六十九回	同	金三百圓
第七十回	同	金二百圓
株式會社群馬縣農工銀行		
第一回	同	金一百二十圓
第三十三回	同	金九万七千五百圓
株式會社栃木縣農工銀行		
寅號	同	金十六万七千圓
第六十三回	同	金四百圓
第六十六回	同	金一百四十二万五千圓
株式會社宮崎農工銀行		
第四十二回	同	金三千圓
復興貯蓄債券		
第一回	同	金八百九十九万二千七百二十圓
第二回	同	金八百九十六万四千四百八十圓
第三回	同	金八百九十九万二千四百七十圓
第四回	同	金五百七十万四千七百九十圓
第五回	同	金七百二十八万五千圓
第六回	同	金七百三十万四千二百二十五圓
第七回	同	金四百八十九万九千六百七十五圓
第八回	同	金五百四十一万六十圓
第九回	同	金四百九十八万一千六百八十圓
第十回	同	金四百五十二万九千五百二十圓
第十一回	同	金九百三十六万九千七百二十圓

右昭和十一年八月十八日登記

●株式會社三井銀行變更(支店)

取締役見城重平監査役下田守藏ハ 昭和十一年八月十二日辭任ス

取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役 菊本直次郎ハ昭和十一年八月十三日辭任ス

右昭和十一年八月十九日登記

●株式會社日本勸業銀行社債

第百三十回

一社債ノ總額 金一千万圓

一各社債ノ金額 金一万圓

一各社債ノ利率 年四分

一社債償還ノ方法及期限 昭和十三年八月十五日迄据置キ以後毎年一月七月抽籤ヲ爲シ毎回二十万圓以上ヲ各其ノ翌月十五日ニ償還シ昭和二十七年八月十五日迄ニ全額ヲ償還ス但シ臨時償還又ハ買入消却ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

●株式會社第一銀行變更(支店)

取締役加納友之助ハ昭和十一年八月十四日 死亡ス

●板谷生命保險株式會社支店移轉(支店)

昭和十一年八月十七日福岡市下新川端町十五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス

支店 福岡市下新川端町十八番地ノ六

●博多合同運送株式會社變更

監査役上野正信ハ昭和十一年八月五日死亡ス

●株式會社三和銀行支店廢止(支店)

昭和十一年八月十七日呉市本通三丁目二十五番地ノ二呉市阿賀町四千四百五十二番地ノ支店ヲ廢止ス

●商號新設

商號 丸福ボーロ丸福屋

營業ノ種類 菓子製造販賣

營業所 福岡市網場町二十番地

商號使用者ノ氏名住所 片山善次郎 福岡市網場町二十番地

昭和十一年八月二十一日登記 福岡區裁判所

●津奈木硅石株式會社更正

一昭和十一年七月二十日株主總會ノ決議ニ依リ會社ノ目的ニ左ノ事項ヲ追加ス

他ノ窯業事業及當會社ノ株式ヲ所有スルコトヲ主タル目的トスル他ノ會社ニ投資スルコト

右昭和十一年八月二十四日登記 八代區裁判所水俣出張所

●仙臺學用品株式會社變更

一昭和十一年八月五日左ノ者淸算人ヲ辭任ス

狩野源助佐藤達夫狩野貞作高橋直亮淺野善右エ門

●支配人選任

一支配人ノ氏名住所 松坂信亮 仙臺市行人塚十七番地

一主人ノ氏名住所 仙臺味噌醬油株式會社 仙臺市行人塚十七番地

一支配人ヲ置キタル場所 仙臺市行人塚十七番地

●仙臺味噌醬油株式會社變更

一昭和十一年八月九日取締役針生德次郎ハ辭任ス

右昭和十一年八月十九日登記

●株式會社設立

一商號 株式會社宮城縣國定教科書特約販賣所

一本店 仙臺市國分町百三十六番地

一目的 日本書籍株式會社ト特約シテ國定教科圖書ヲ宮城縣管內ニ販賣シ猶日本書籍株式會社ノ承諾ヲ得テ附帶事業ヲ爲スコト

一設立ノ年月日 昭和十一年八月六日

一資本ノ總額 金二万圓也

一一株ノ金額 金二十圓也

一各株ニ付拂込ミタル株金額 金二十圓也

一公告ヲ爲ス方法 本社ノ店頭ニ掲示ス

一取締役ノ氏名住所

狩野源助 登米郡佐沼町百五番地

狩野勇 仙臺市小田原裏山本丁十一番地

千葉貞作 登米郡佐沼町西佐沼百十番地

一監査役ノ氏名住所

高橋直亮 刈田郡白石町大字白石字中町五十一番地

淺野善右衛門 遠田郡涌谷町新町三十番地

●未成年者登記

一未成年者ノ氏名住所 須田長一郎 仙臺市北七番丁三十三番地

一營業ノ種類 諸機械ノ製作販賣及諸機械ノ修繕並ニ鑄造業

一營業所 仙臺市北七番丁三十三番地

右昭和十一年八月二十日登記

●板谷生命保險株式會社支店移轉(支店)

昭和十一年八月十七日福岡市下新川端町十五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス

支店 福岡市下新川端町十八番地ノ六

昭和十一年八月二十一日登記 仙臺區裁判所

●株式會社福島製作所變更

一昭和十一年八月十二日第三回株金拂込ニ因リ各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金二十圓ト變更セリ

昭和十一年八月二十二日登記 福島區裁判所

●株式會社白河實業銀行變更(支店)

一取締役齋藤多三郎ハ昭和十一年八月十五日死亡シタリ

右昭和十一年八月二十五日登記 白河區裁判所

●株式會社日本勸業銀行社債變更(支店)

一第百十四回株式會社防長農工銀行第九回 同第十七回株式會社京都府農工銀行第十三回 株式會社和歌山縣農工銀行第八回 株式會社埼玉農工銀行第五十八回 株式會社長野農工銀行第七十五回株式會社栃木縣農工銀行第六十回 同第六十五回 株式會社宮崎農工銀行第四十九回同第五十四回ノ各社債ハ昭和十一年六月三十日其ノ全額ヲ償還シ左記社債ハ一部償還ニ因リ同日其ノ總額ヲ各左ノ通リ變更ス

第四回	社債總額	金十七万一千四百十圓
第五回	同	金十四万六千七百八十圓
第六回	同	金十二万三千八百四十圓
第七回	同	金十八万二千四百二十圓
第八回	同	金十四万九千五百二十圓
第九回	同	金十五万四百八十圓
第十回	同	金十五万四千一百圓
第十一回	同	金十六万七千一百圓
第十二回	同	金十七万五千六百二十圓
第十三回	同	金十七万九千一百八十圓
第十四回	同	金十八万六千五百八十圓
第十五回	同	金十七万五千一百八十圓
第十六回	同	金十八万五千四百二十圓
第十七回	同	金十八万八千五百四十圓
第十八回	同	金二十一万一千九百四十圓
第十九回	同	金三十万四千七百二十圓

第二十回	同	金六十三万一千八百二十圓
第二十一回	同	金三十三万五千二百八十圓
第二十二回	同	金三十三万七千二百二十圓
第二十三回	同	金九十七万四千八百九十圓
第二十四回	同	金一百四十四万三千一百四十圓
第二十五回	同	金五十万一千五百三十圓
第二十六回	同	金九十万一千四百九十圓
第二十七回	同	金八十九万四千九百八十圓
第二十八回	同	金一百一万三千二百五十圓
第二十九回	同	金八十九万一千二十圓
第三十回	同	金九十四万一百七十圓
第三十一回	同	金九十四万三千五百五十圓
第三十二回	同	金九十五万六千八百七十圓
第三十五回	同	金二百一万四千八百五十圓
第三十七回	同	金三百十二万九千一百六十圓
第三十八回	同	金二百十三万二千四百十圓
第三十九回	同	金二百十万一千八百圓
第四十一回	同	金二十八万三千圓
第四十二回	同	金二十八万四千七百四十圓
第四十三回	同	金二十八万一千圓
第四十四回	同	金八十二万一千六百五十圓
第四十七回	同	金一百七十万七千八百二十圓
第四十八回	同	金一百五十四万二千一百九十圓
第四十九回	同	金一百八十二万七千二百三十圓
第五十回	同	金一百六十八万六千八十圓
第五十二回	同	金二百三十二万一千七百九十圓
第五十四回	同	金二百十六万三千七十圓
第五十五回	同	金四十万一千五百六十圓
第五十八回	同	金三百二十三万二千五十圓
第六十三回	同	金三百二十四万七千七百六十圓
第六十四回	同	金三百二十四万三百十圓
第六十五回	同	金四百七十万三千四百八十圓
第六十六回	同	金四百十五万二千四百二十圓
第六十七回	同	金五百七十八万八千六百九十圓
第六十八回	同	金六百六十五万八千七十圓
第六十九回	同	金六百七十九万九千九百圓
第七十回	同	金八百三十九万一千二百八十圓
第七十一回	同	金八百四十万一千五百十圓
第七十二回	同	金五百八万八千二百八十圓
第七十三回	同	金八百四十五万一千六百二十圓
第七十四回	同	金七百六十一万八千八百四十圓
第七十五回	同	金一千十九万六千二百四十圓
第七十六回	同	金八百二十一万七千三百四十圓
第七十七回	同	金七百七十四万二百圓
第七十八回	同	金五百六十万四千一百三十圓
第八十回	同	金七百二十三万四百四十圓
第八十二回	同	金五百十七万四千三百二十圓
第八十三回	同	金八百五十九万七千一百八十圓
第八十六回	同	金六百六十五万七千一百四十圓
第八十七回	同	金五百四十五万四千一百九十圓
第八十九回	同	金四百七十六万三千四百八十圓
第九十二回	同	金三百一万八千四十圓
第九十四回	同	金四百六十六万三千三十圓
割引第一回	同	金五百九十五万四千五百四十圓
同第二回	同	金九百四十五万三千七百八十圓
同第三回	同	金九百五十三万五千三百四十圓
同第四回	同	金九百六十二万六千三百八十圓
同第五回	同	金九百六十七万九千圓
同第六回	同	金九百七十万八千圓
同第七回	同	金九百八十五万一千圓
同第八回	同	金九百九十万七千三百二十圓
同第九回	同	金一千一百九十四万四百圓
同第十回	同	金一千一百九十四万五千九百二十圓
第三十四回	同	金一万四千二百圓
第三十六回	同	金二万四千七百圓
第四十回	同	金四千七百圓
第三未號	同	金一百圓
第九十回	同	金三千五十圓
第九十六回	同	金五十圓
第九十九回	同	金九百五十圓
第百回	同	金三千五百圓
第百一回	同	金一百圓
第百二回	同	金七百圓
第百十回	同	金八千五百圓
第百十三回	同	金八千六百圓
第百十五回	同	金八百圓
第百十七回	同	金七万七千一百圓
第百十八回	同	金四万七千九百圓
第百十九回	同	金四万四百圓
第百二十回	同	金二万二千八百圓
第百二十一回	同	金九百八十一万圓
第百二十二回	同	金九百八十万圓
第百二十三回	同	金一千九百六十万圓
第百二十四回	同	金九百八十万圓
株式會社防長農工銀行		
第十六回	同	金一百圓
第十八回	同	金二百圓
第二十一回	同	金一百圓
株式會社京都府農工銀行		
第十一回	同	金三百圓
株式會社長崎縣農工銀行		
第五回	同	金五十圓
株式會社埼玉農工銀行		
第五十六回	同	金三百圓
第五十回	同	金一千圓
株式會社長野農工銀行		
第六十九回	同	金三百圓
第七十回	同	金二百圓
株式會社群馬縣農工銀行		
第一回	同	金一百二十圓
第三十三回	同	金九万七千五百圓
株式會社栃木縣農工銀行		
寅號	同	金十六万七千圓
第六十三回	同	金四百圓
第六十六回	同	金一百四十二万五千圓
株式會社宮崎農工銀行		
第四十二回	同	金三千圓
復興貯蓄債券		
第一回	同	金八百九十九万二千七百二十圓
第二回	同	金八百九十六万四千四百八十圓
第三回	同	金八百九十九万二千四百七十圓
第四回	同	金五百七十万四千七百九十圓
第五回	同	金七百二十八万五千圓
第六回	同	金七百三十万四千二百二十五圓
第七回	同	金四百八十九万九千六百七十五圓
第八回	同	金五百四十一万六十圓
第九回	同	金四百九十八万一千六百八十圓
第十回	同	金四百五十二万九千五百二十圓
第十一回	同	金九百三十六万九千七百二十圓

右昭和十一年八月十八日登記

●株式會社日本勸業銀行社債(支店)

第百三十回

一社債ノ總額 金一千万圓

一各社債ノ金額 金一万圓

一社債ノ利率 年四分

一社債償還ノ方法及期限 昭和十三年八月十五日迄据置キ以後毎年一月七月抽籤ヲ爲シ毎回二十万圓以上ヲ各其ノ翌月十五日ニ償還シ昭和二十七年八月十五日迄ニ全額ヲ償還ス但シ臨時償還又ハ買入消却ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

右昭和十一年八月二十日登記 山形區裁判所

●合資會社設立

一商號 眞室川運送合資會社

一本店 最上郡眞室川村大字新町百三十三番ノ一

一目的 一旅客貨物ノ運送及運送取扱業二他ノ運送業者ノ代理店トナルコト三委托賣買四前各項ニ附帶スル一切ノ業務

一設立ノ年月日 昭和十一年八月二十四日

一代表社員ノ氏名 小野喜久治

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及ヒ責任

金二千圓 無限 小野喜久治 最上郡眞室川村大字川ノ內二千七十六番地

金三千圓 無限 近岡スエ 同所大字新町八百二十一番地ノ二

金五百圓 無限 近岡理一郎 同所同番ノ二

勞務 無限 近岡理吉 同所同番ノ二

金一千圓 有限 藤原寅治 同所八百十七番地

金一千圓 有限 杉原榮三郎 同所大字川ノ內千八百八十番地

金五百圓 有限 近岡理輔 同所大字新町八百二十一番ノ二

一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ二十箇年

右昭和十一年八月二十四日登記 新庄區裁判所金山出張所

●山形殖產無盡株式會社(支店)變更

一昭和十一年七月二十一日存立時期ヲ左ノ通リ變更ス

存立時期 設立登記ノ日ヨリ滿五十箇年

右昭和十一年八月二十四日登記 米澤區裁判所

◎産業組合登記

◉保證責任北蟹谷信用購買販賣組合變更
昭和十一年七月二十二日名稱及目的ヲ左ノ通リ變更ス
一名稱　保證責任北蟹谷信用購買販賣利用組合
一目的中左ノ一號ヲ加フ
組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

◉保證責任礪波信用購買販賣利用組合變更
理事藤田吉治ハ昭和十一年八月十七日死亡ス

◉保證責任大瀧村信用購買販賣利用組合事務所移轉
昭和十一年八月五日主タル事務所ヲ左ノ箇所ヘ移轉ス
西礪波郡大瀧村千七百番地
右昭和十一年八月二十一日登記　出町區裁判所石動出張所

◉保證責任販賣利用組合四谷農業倉庫變更
一理事鵜野伊澄栗山豐次監事中川卯三郎ハ昭和十一年七月三十日各重任同日左記ノ者新ニ各就任ス
理事　幅田宅治　西礪波郡吉江村高宮三千百三十九番地
同　米山靜夫　同郡同村吉江中七百六十六番地
同　奧野平規朗　同郡東太美村土生新六千四十六番地
同　岩佐純一　東礪波郡山田村繩藏百七十六番地
監事　石黑直吉　西礪波郡吉江村荒木五千五百三十四番地
同　渡邊武正　同郡東太美村大西千五百六十一番地
同　井幡幸順　東礪波郡山田村竹林三千四百五番地
同　安田甚兵衛　西礪波郡南蟹谷村藏原千八百七十五番地
右昭和十一年八月二十一日登記　出町區裁判所福光出張所

◉保證責任福賀信用購買販賣利用組合變更
一監事二名缺員ニ付昭和十一年七月十五日臨時總會ニ於テ左ノ者ヲ選任シ同日何レモ就任セリ
監事　木村茂　阿武郡福賀村大字福田上第三〇二番地
監事　上村健治　同郡同村大字宇生賀第七六六番ノ一地
右昭和十一年八月二十二日登記　萩區裁判所高俣出張所

◉保證責任財田村信用販賣購買利用組合變更
理事丸山篤太郎ハ昭和十一年七月二十四日死亡ス
右昭和十一年八月十七日登記　岡山區裁判所西大寺出張所

◉保證責任江見町信用販賣購買組合變更
昭和十一年七月十九日總會ニ於テ目的及名稱變更ヲ決議シ同年八月十八日地方長官之ヲ認可シタリ
一目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ヲ販賣スルコト
五組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナルモノヲ買入レ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
七農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一名稱　保證責任江見町信用販賣購買利用組合
右昭和十一年八月二十二日登記　津山區裁判所江見出張所

◉有限責任氣高農産物販賣組合變更
一理事監事全員任期滿了ノ處昭和十一年七月二十五日左ノ者理事監事ニ重任ス
商鶴熊太郎岡村勇吉林仲治澤田義治北脇永治山形長太郎木南貞治谷川保夫山根定榮本城源雄土師保藏富山長一郎
一左ノ者理事監事ヲ退任ス
有田虎藏土居好惠田中道夫福本秀次郎德田松太郎竹本貞次郎濱本馬藏
一左ノ者新ニ理事監事ニ就任ス
理事　坂田庄太郎　氣高郡東鄉村大字篠坂五十五番地
同　德田常規　氣高郡豐實村大字宮谷百九十二番地
同　山根國三郎　氣高郡湖山村五百四十一番地
同　河崎三藏　氣高郡賀露村八百五十一番地
同　西田五美　氣高郡大鄉村大字松原百二十一番地
監事　德田松太郎　氣高郡豐實村大字宮谷三百五十七番地
同　岸田正雄　氣高郡松保村大字岩吉二百二十番地
右昭和十一年八月二十一日登記　鳥取區裁判所

◉保證責任八頭畜産信用購買販賣利用組合變更
一昭和十一年八月六日監事岡田龜太郎死亡ニ因リ退任ス
右昭和十一年八月二十一日登記　鳥取區裁判所郡家出張所

◉有限責任石西購買利用組合共存病院變更
昭和十一年八月四日理事中島幸三郎監事石田茂利ハ辭任シタリ
右昭和十一年八月十八日登記　益田區裁判所日原出張所

◉保證責任樺島村信用購買販賣利用組合變更
一監事左ノ者ハ昭和十一年六月二十日總會ニ於テ補缺選任セラレ即日就任ス
石垣万之助　西彼杵郡樺島村二百六十一番地
右昭和十一年八月二十日登記　長崎區裁判所蚊燒出張所

◉保證責任入野村信用販賣購買利用組合事務所移轉
一昭和十一年八月一日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
東松浦郡入野村大字入野甲一九五四番地
昭和十一年八月二十一日登記　唐津區裁判所入野出張所

◉保證責任內野信用販賣購買利用組合變更
一昭和十年五月二十一日認可ニ因リ昭和十一年七月十五日從タル事務所ヲ左ノ地ニ新設ス
福岡縣早良郡內野村西千二百八十番地
昭和十一年八月二十日登記　福岡區裁判所西新町出張所

◉無限責任筵內信用購買販賣利用組合事務所移轉
昭和十一年八月十三日左記ニ事務所ヲ移轉ス
主タル事務所　糟屋郡席內村筵內九百二十五番地
從タル事務所　同所八百八十六番地

◉無限責任立花村信用購買販賣利用組合變更
理事上野虎吉ハ昭和十一年八月八日死亡ス
昭和十一年八月二十日登記　福岡區裁判所青柳出張所

◉保證責任松末村信用販賣購買利用組合事務所移轉
一昭和十一年六月十五日認可ニ因リ事務所ヲ左記ニ移轉ス
福岡縣朝倉郡松末村星丸千百六十八番地ノ八
昭和十一年八月二十一日登記　甘木區裁判所星丸出張所

◉保證責任小郡信用購買販賣利用組合變更
一理事增員ニ付昭和十一年七月二十五日左記ノ者就任ス
田中一夫　福岡縣三井郡小郡村小郡千百三十三番地
昭和十一年八月十八日登記　久留米區裁判所松崎出張所

◉有限責任東宮永村信用購買販賣利用組合變更
一昭和十一年六月十五日認可ニ依リ名稱及組織ヲ左ノ如ク變更ス
名稱　保證責任東宮永信用購買販賣利用組合
組織　保證責任
昭和十一年八月二十一日登記　柳河區裁判所

◉保證責任岩屋信用購買販賣組合變更
一理事矢鳴重猛ハ昭和十一年八月八日死亡ス
昭和十一年八月二十二日登記　行橋區裁判所八屋出張所

◉保證責任猪位金信用購買販賣利用組合變更
一理事佐々木茂加藤牛治監事粒井泰三ハ昭和十一年六月五日各辭任シタリ
右昭和十一年八月二十一日登記　田川區裁判所

◉有限責任上野川西信用購買組合變更
一理事內田豐太郎ハ昭和十一年七月四日死亡ス
昭和十一年八月二十一日登記　田川區裁判所金田出張所

◉産業組合設立
一名稱　保證責任松合町信用販賣購買利用組合
組織　保證責任
一事務所　熊本縣宇土郡松合町大字松合七百五十二番地
一目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
四組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト
五組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
一設立許可年月日　昭和十一年一月十六日
一出資一口ノ金額　金二十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付二圓以上トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口每ニ每年五月末及十月末迄ニ各金二圓以上宛拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所　鈴木末喜　熊本縣宇土郡松合町大字松合九十九番地　天滿善三郎　同所八百五十四番地　西良吉　同所八百五十八番地　河野又次郎　同町大字松合百六十九番地　大宅善基　同町大字永尾千六百二十八番地
一監事ノ氏名住所　浦津運太郎　熊本縣宇土郡松合町大字松合二千八百六十四番地　御船一男　同所千七百四十六番地　杉田四八　同町大字大見二千五十一番地　渡邊末喜　同町大字松合千八百四十七番地　西山恒彥　同町大字永尾五百七十五番地
一區域　熊本縣宇土郡松合町
右昭和十一年八月二十一日登記　熊本區裁判所松橋出張所

◉保證責任彌富村信用販賣購買利用組合變更
昭和十一年七月十日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
玉名郡彌富村大字中四十八番地ノ四
右昭和十一年八月二十一日登記　高瀨區裁判所

◉保證責任橫島村信用販賣購買組合變更
監事栗崎昌俊ハ昭和十一年五月二十四日辭任ス
右昭和十一年八月二十二日登記　高瀨區裁判所伊倉出張所

◉保證責任平小城村信用販賣購買利用組合變更
理事杉本勝彥佐藤一精監事田上梅次有働亭ハ昭和十一年六月十五日退任シ理事松本源太北原清太郎上田重次虎口長嘯永田貴橫手伍一監事牛島角次田中一次三野七二ハ同日重任シ左ノ者新ニ理事監事ニ同日就任ス
理事　島北吉次郎　鹿本郡平小城村平山千百七十四番地
同　田中彌次郎　同郡同村城八百二番地
監事　杉本勝彥　同所三千百十八番地
同　井上標　同村小群十七番地
右昭和十一年八月二十一日登記　山鹿區裁判所

◉産業組合設立
一名稱　保證責任宮崎市信用販賣購買利用組合
一組織　保證責任
一區域　宮崎縣宮崎市
一事務所　宮崎市請町一丁目五番地
一目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
七農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲナスコト
一設立許可ノ年月日　昭和十一年六月六日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓トス組合員ハ前項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口每ニ每年六月末及十一月末迄ニ金二圓以上宛ヲ拂込ミ第一回拂込後二箇年半以內ニ全額ヲ拂込ムモノトス
一理事監事氏名住所
理事　大平唯吉　宮崎市大工町五十七番地
同　西田時盛　同市江平町二丁目五十三番地
同　富永富平　同市下北方町戶林五千三百一番地
同　石川鹿之助　同市吉村町中原甲二千七百二十七番地
同　小松利重　同市南方町恆下五百六十番地
同　石塚弘　同市廣島通二丁目二十四番地
同　押川定雄　同市和知川原町九十八番地
同　桑畑一平　同市阿波岐原町猿野三千百六十番地
同　石川市郎　同市村角町安徭二千六十六番地
監事　湯淺新次郎　同市天神町一丁目五十七番地
同　布施一二　同市大島町國草百四十二番地イノ二
右昭和十一年八月十八日登記　宮崎區裁判所

◉有限責任都於郡村信用販賣購買利用組合變更
昭和十一年七月二十五日定款變更認可ニ因リ名稱及組織ヲ左記ノ通リ變更セリ
名稱　保證責任都於郡信用販賣購買利用組合
組織　保證責任
右昭和十一年八月十七日登記

◉保證責任都於郡信用販賣購買利用組合變更
昭和十一年七月二十五日定款變更認可ニ依リ事務所ヲ左記ノ通リ變更セリ
事務所　兒湯郡都於郡村大字都於郡町五千六百九番地
右昭和十一年八月十九日登記　宮崎區裁判所三財出張所

◉保證責任細田信用販賣購買利用組合變更
一理事田中作次郎ハ昭和十一年八月十一日辭任ス
右昭和十一年八月二十日登記　飫肥區裁判所中村出張所

◉有限責任南方村信用販賣購買利用組合變更
一監事甲斐新四郎ハ昭和十一年八月十五日死亡ス
右昭和十一年八月二十一日登記　延岡區裁判所

◉保證責任小篠村信用販賣購買利用組合變更
昭和十一年八月十日地方長官ノ認可ヲ得目的及出資拂込ノ方法ヲ左ノ通リ變更ス
目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ生産シテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金一圓トス組合員ハ前項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口每ニ每年四月末日迄ニ金一圓宛拂込ムモノトス組合員ハ前項ノ規定ヲ超エテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得
右昭和十一年八月十五日登記

◉無限責任琉球陶器購買組合解散
昭和十一年七月二十七日地方長官ノ認可ニ依リ解散ス
右昭和十一年八月十七日登記　那覇區裁判所

◉保證責任宮城千歲信用販賣購買利用組合變更
一監事宮城千藏昭和十一年六月十八日辭任ス
右昭和十一年八月十七日登記

◉保證責任宮城信用販賣購買利用組合變更
一理事宮城榮進ハ昭和十一年六月十八日辭任ス
一理事一名監事一名缺員ノ處總會ニ於テ左記ノ通選擧セラレ昭和十一年六月二十八日就任ス
理事　宮城正雄　國頭郡東村字宮城二百五十八番地
監事　宮城暉忠　同郡同村同字二百五十五番地
右昭和十一年八月二十日登記　那覇區裁判所大宜味出張所

◉無限責任岩出山信用販賣購買利用組合變更
一監事岡本留五郎ハ昭和十一年八月十五日死亡ス
昭和十一年八月二十二日登記　古川區裁判所岩出山出張所

◉無限責任上眞野報德信用購買販賣利用組合變更
監事缺員ノ處昭和十一年七月二十九日左者就任ス
菅野三郎　相馬郡上眞野村大字角川原字北原四十四番地
右昭和十一年八月二十二日登記　相馬區裁判所鹿島出張所

◉保證責任岩瀨乾蘭販賣利用組合變更
一理事柳沼甚四郎ハ昭和十一年八月十四日辭任ス
一理事缺員ノ處昭和十一年八月十六日左記ノ者就任ス
大沼正一　岩瀨郡須賀川町大字須賀川字十日山四十八番地
昭和十一年八月二十二日登記　白河區裁判所須賀川出張所

◉保證責任外間村信用購買組合變更
昭和十一年八月七日名稱目的出資拂込方法ヲ左ノ通リ變更ス
一名稱　保證責任外間村信用販賣購買利用組合
一目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムル事
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト

第2934号　本文

◎相續權主張ノ催告

本籍兵庫縣三原郡福良町甲千三百十八番地
最後ノ住所同縣同郡同町甲千二百四番地ノ
三平民無職　被相續人　亡　江本　政平
　明治三十二年十月十八日生
出生ノ場所　本籍ニ同シ
死亡ノ場所　大阪府中河内郡小阪町　上小阪七
百五十五番地阪本病院
死亡ノ年月日　昭和十年三月二十一日
右兵庫縣津名郡洲本町内通町甲五百八十番地財
產管理人白川久雄ノ請求アリタルニ因リ前記亡
江本政平ノ相續人ハ昭和十二年十月三十一日迄
ニ當區裁判所ニ其權利ヲ主張スヘシ
昭和十一年十月一日　洲本區裁判所

◎禁治產宣告

本籍群馬縣邑樂郡伊奈良村大字板倉甲二千
八百八十一番地
現在同縣勢多郡桂萱村大字江木社團法人前
橋積善會厩橋病院江木分院内
　明治三十五年五月二十二日生　小林　丑雄
右ニ對シ群馬縣邑樂郡伊奈良村大字板倉二千二
百三十七番地小林理十郎ノ申立ニ因リ當裁判所
ハ昭和十一年九月二十六日禁治產ノ宣告ヲ爲シ
タリ
昭和十一年九月二十六日　新田區裁判所

◎準禁治產宣告

本籍東京市江戸川區西一之江一丁目三百四
十三番地
住所同所同番地
　明治三十九年一月二十二日生　花島　貫
右ニ對シ同所同番地實母花島はるノ申立ニ因リ
當區裁判所ハ昭和十一年九月二十一日準禁治產
ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年九月三十日　東京區裁判所

本籍並住所千葉縣山武郡福岡村下ヶ傍示三
番地
　明治四十四年三月十二日生　川島　貞仁
右ニ對シ千葉縣山武郡福岡村上谷二千六百六十
八番地石渡鶴吉ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十
一年九月三十日準禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年九月三十日　八日市場區裁判所

熊本市新屋敷町百八十七番地
　大正元年九月二十一日生　古閑　政雄
右ニ對シ父古閑伊吉ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ
昭和十一年九月二十四日準禁治產ノ宣告ヲ爲シ
タリ
昭和十一年九月二十八日　熊本區裁判所

◎準禁治產宣告取消

本籍並住所茨城縣稻敷郡岡田村大字岡見千
七十七番地
　明治三十二年一月十四日生　坂本　婁
右者ニ對シ其ノ妻坂本とみノ申立ニ因リ昭和十
一年九月十六日準禁治產取消ノ宣告ヲ爲シタ
リ
昭和十一年九月十六日　土浦區裁判所

◎公示催告

限定承認債權請求ノ申出公告
拙者儀被相續人靜岡縣賀茂郡下田町四百五十五
番地亡鈴木吉兵衛ノ家督相續人トシテ昭和十一
年十月三日下田區裁判所ニ於テ其相續ノ限定承
認ヲ爲シタルニ付右被相續人ノ相續債權者及受
遺者ハ此公告ノ日ヨリ昭和十一年十二月十五日
迄ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘク若シ右ノ期間内ニ
申出ナキトキハ其債權ハ辨濟ヨリ除斥セラルヘ
シ右民法ノ規定ニ依リ公告候也
昭和十一年十月六日
　靜岡縣賀茂郡下田町三七〇番地
　　鈴木吉兵衛家督
　　相續限定承認者　鈴木長男

◎失踪ニ關スル屆出ノ催告

本籍福岡縣福岡市橋口町三十三番地
最後ノ住所不明
　明治二十四年三月六日生　泉澤　チカ
右不在者ニ對シ利害關係人泉澤久太ヨリ失踪宣
告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年四
月二十二日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆
出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪
ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日
迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十一年九月三十日　東京區裁判所

本籍東京市麴町區麴町三丁目七番地二
最後ノ住所同市同區元園町番地不詳
　明治十八年十一月一日生　中野　康次
右不在者ニ對シ利害關係人中野新太郎ヨリ失踪
宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年
四月二十二日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ
屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失
踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期
日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十一年九年三十日　東京區裁判所

本籍並最後ノ住所千葉縣山武郡瑞穗村永田
千二十九番地
　明治二十五年十月十八日生　不在者　石渡　龍男
右不在者ニ對シ利害關係人石渡忠治郎ヨリ失踪
宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年
四月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆
出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪
ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日
迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十一年九月三十日　八日市場區裁判所

本籍靜岡縣濱松市相生町四二七番地
最後ノ住所同縣濱名郡芳川村鼠野九番地
　弘化四年三月三日生　不在者　鈴木ちよ子
右不在者ニ對シ利害關係人鈴木道雄ヨリ失踪宣
告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年四
月二十日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出
ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ
宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄
ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十一年九月二十七日　濱松區裁判所

本籍並最後ノ住所奈良縣生駒郡矢田村大字
矢田二千七百十七番地ノ一
　明治三十九年九月十日生　不在者　田中　安藏
右不在者ニ對シ利害關係人田中淺次郎ヨリ失踪
宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年
四月十日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出
ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ
宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄
ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十一年九月二十八日　奈良區裁判所

本籍並最後ノ住所和歌山縣西牟婁郡串本町
千二百六十二番地
　安政元年十二月一日生　不在者　岡田　甚松
右不在者ニ對シ利害關係人岡田ふさヨリ失踪宣
告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年四
月二十六日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆
出ヲ爲スヘク若其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ
宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄
ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十一年九月二十六日　田邊區裁判所

◎失踪宣告

本籍東京市麻布區飯倉町二丁目八番地
最後ノ住所同市芝區二本榎町一丁目五十番
地
　明治八年五月四日生　不在者　綾瀨菊太郎
右ニ對シ同市深川區新大橋一丁目十九番地山田
方綾瀨四郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十一
年九月二十九日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年九月二十九日　東京區裁判所

本籍及最後ノ住所神奈川縣中郡成瀨村下糟
屋二三〇三番地
　安政元年八月十日生　不在者　小林　トメ
右ニ對シ同所同番地小林タケノ申立ニ因リ當區
裁判所ハ昭和十一年九月二十八日失踪ノ宣告ヲ
爲シタリ
昭和十一年九月二十八日　小田原區裁判所

本籍並最後ノ住所和歌山縣西牟婁郡串本町
大字高富五百八十四番地
　明治三十三年一月二十日生　不在者　白井　藤一
右ニ對シ和歌山縣西牟婁郡串本町大字高富五百
八十四番地白井春男ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ
昭和十一年九月二十六日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年九月二十六日　田邊區裁判所

本籍及最後ノ住所香川縣大川郡津田町三千
七百六十二番地第四
　明治十三年九月二十八日生　不在者　和田　庄藏
右ノ者ニ對シ同所同番地和田菊一ノ申立ニヨリ
當區裁判所ハ昭和十一年九月二十五日失踪ヲ宣
告シタリ
昭和十一年九月二十五日　高松區裁判所

本籍並最後ノ住所福井縣三方郡八村南前川
三十三號十九番地
　不在者　山形　寅吉
右ニ對シ福井縣三方郡八村南前三十三號十九番
地山形文二ノ申立ニ因リ昭和十一年九月二十八
日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年九月二十九日　敦賀區裁判所

本籍並ニ最後ノ住所島根縣八束郡法吉村大
字春日一七
　天保十一年二月十一日生　不在者　吉岡兼次郎
右ノ者ニ對シ島根縣八束郡法吉村大字春日一七
吉岡定次郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十一年
九月二十六日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年九月二十六日　松江區裁判所

本籍並最後ノ住所長崎縣南高來郡深江村六
百八十六番戸
　明治三十年五月二十七日生　不在者　大石　折吉
右ニ對シ同所弟大石富士男ノ申立ニ因リ當區裁
判所ハ昭和十一年九月二十六日失踪ノ宣告ヲ爲
シタリ
昭和十一年九月二十六日　島原區裁判所

本籍並最後ノ住所宮崎縣東諸縣郡高岡町大
字五町百四十四番地
　明治三年七月七日生　不在者　稻森佐一郎
右者ニ對シ同所同番地稻森スイノ申立ニ因リ當
區裁判所ハ昭和十一年九月二十六日失踪ノ宣告
ヲ爲シタリ
昭和十一年九月二十八日　宮崎區裁判所

◎破產管財人變更

　破產者　熱海溫泉土地株式會社
右者ニ對スル昭和五年(フ)第七號破產事件ニ付
キ從來ノ破產管財人安間五六ハ死亡シタルヲ以
テ當裁判所ハ本件破產管財人ニ左記者ヲ選任ス
沼津市大手町四十三番地　辯護士　田中鐵太郎
昭和十一年十月六日
　沼津區裁判所
　　判事　森　憲

◎破產管財人解任

　破產者　合名會社天賞堂
　右破產管財人　天野　弘一
右破產者ニ對スル昭和五年(ツ)第二十八號破產
事件ニ付同破產管財人天野弘一ヨリ辭任ノ申出
アリタルニ因リ其ノ申請ヲ相當ト認メ決定スル
コト左ノ如シ
　主文
破產管財人天野弘一ハ之ヲ解任ス
昭和十一年九月十九日
　東京區裁判所
　　判事　安倍恕

　破產者　株式會社辛酉銀行
　右破產管財人　天野　弘一
右破產者ニ對スル昭和七年(ツ)第一五〇號破產
事件ニ付右破產管財人ヨリ辭任ノ申出アリタル
ニ因リ其ノ申請ヲ相當ト認メ決定スルコト左ノ
如シ
　主文
破產管財人天野弘一ハ之ヲ解任ス
昭和十一年十月六日
　東京區裁判所
　　判事　安倍恕

◎復權許可

大阪市此花區玉川町四丁目五十番地
當時大阪市港區市岡元町二丁目四十一番地
　破產者　東野　丈夫
右ノ者ニ對スル昭和十一年(サ)第七九一號復權
申立事件ニ付當裁判所ハ昭和十一年九月十五日
左ノ如ク決定ヲ爲シ該決定確定シタリ
　主文
破產者東野丈夫ノ復權申立ハ之ヲ許可ス
昭和十一年九月三十日　大阪區裁判所

住所佐賀縣佐賀市松原町六九番地
　破產者　大麻　勇次
右ノ者ニ對シ當裁判所ハ昭和十一年九月十五日
左記ノ如ク決定シ該決定確定シタリ
　主文
大麻勇次ノ復權ハ之ヲ許可ス
昭和十一年十月一日　佐賀區裁判所

◎和議認可

延岡市大字岡富甲三百七十五番地
　債務者　鹿　輝一
右ノ者ニ對スル昭和十年(コ)第一號和議事件ニ
付債務者ノ提供シタル左記條件ニ依ル和議ハ昭
和十一年九月二十八日ノ債權者集會ニ於テ可決
セラレ而モ右和議不認可決定スヘキ事由存セサ
ルヲ以テ當裁判所ハ左ノ如ク決定ス
　主文
本件和議ハ認可ス
　和議條件
一、和議債權者等ハ債務者ニ對シ各自其ノ三分ノ
一ニ相當スル金額ノ債權ヲ拋棄シ債務者ノ辨
濟スヘキ總金額ヲ金一万七千百六十圓九十錢
ト定ム
其ノ内譯左ノ如シ
債權者鳥飼鶴滿ニ對シ金二千八百八十六圓六
十七錢
同遠山藤三郎ニ對シ金三千二百圓
同龜山熊男ニ對シ金千七百九圓二十一錢
同近藤貞藏ニ對シ金三千百七十三圓三十四錢
同高橋啓晃ニ對シ金二千九十五圓三錢
同酒井初治ニ對シ金二千七百二十七圓十二錢
同竹井圓治ニ對シ金六百七十五圓八十七錢
同山村辨吉ニ對シ金六百九十三圓六十六錢
合計金一万七千百六十圓九十錢也
二、本件和議認可ノ決定確定ト同時ニ右債權者ニ
對シ夫々百分ノ二ヲ支拂フ
三、殘額ハ左ノ通リノ方法ニテ支拂ヒ皆濟スルコ
ト
イ、第一期　昭和十二年ヨリ昭和十六年迄五箇
年間ハ毎年百分ノ二宛　計百分ノ十
ロ、第二期　昭和十七年ヨリ昭和二十一年迄五
箇年間ハ毎年百分ノ三宛　計百分ノ十五
ハ、第三期　昭和二十二年ヨリ昭和二十六年迄
五箇年間ハ毎年百分ノ五宛　計百分ノ二十
五
ニ、第四期　昭和二十七年ヨリ昭和三十三年迄
七箇年間ハ毎年百分ノ六宛　計百分ノ四十
二
ホ、最後ノ年タル昭和三十四年ハ殘額全部支拂
フヘキモノトス
四、辨濟資金ニ充當スヘキ主タル財源ハ三菱鑛業
株式會社ヨリノ贈與年金金額五百四十圓ヲ以
テス
五、利息ハ爾今免除タルヘキコト
昭和十一年十月五日　延岡區裁判所

◎行旅死亡人

本籍住所氏名不詳推定年齡五十五歲位身長五
尺二寸位顏稍面長鼻目耳脫落不明上前齒四本
金冠一本銀冠下齒護謨總入齒内二本金冠著衣
所持金品黑縞セル單衣白メリンス肌衣薄茶色
メリンス井形模樣腰卷茶色莫大小猿股黑色一
枚角帶布製財布(現金三圓九十七錢一厘在中)
右去月二十八日午後二時三十分頃當町字七重濱
町沿岸ニ溺死體ト爲リ漂著セルヲ發見假埋葬セ
リ心當リノ者ハ當役場ニ申出テラルヘシ
昭和十一年十月二日　北海道上磯郡上磯町役場

本籍及住所氏名不明推定年齡四十五歲位身長
五尺二寸頭髮五分刈顏小サク色淺黑ク目鼻口
普通クレープステテコヲ穿チ厚木綿縱縞厚司
ヲ著シ卷ゲートル地下足袋ヲ履ク携帶品風呂
敷包在中品千筋縱縞袷一枚財布一箇(五十錢銀
貨一枚十錢白銅三箇計金八十錢及北野梅吉ト
彫刻セル水牛角印身代不動ト烙印セル小形木
札一枚)ヲ所持ス
右本月二十三日當町大字伊加賀二番地附近ニ倒
レ居リタルヲ當役場ニ收容加療中同日午後五時
死亡セルニ依リ當町共同墓地ニ埋葬ス心當リノ
者ハ當廳ニ申出テラレタシ
昭和十一年九月二十五日　大阪府北河内郡枚方町役場

本籍住所氏名年齡不詳男自稱三十七歲身長五
尺四五寸位中肉容貌普通上齒右門齒ニ金冠一
枚著衣白半股引白毛編ノ胴卷襟ニ工事背ニ㊇
腰ニ白三筋ノ波形ヲ印セル法被ヲ著シ桐駒下
駄ヲ穿チ花月園和樂莊ト染拔キタルタオル一
筋ヲ所持シ一見土工風
右本月十八日本町木古庭地内ニテ苦悶セルヲ發
見救護中精神病者ト判明ニ依リ鎌倉腦病院ニ入
院加療中同二十一日死亡ニ依リ當町萬福寺墓地
ニ假埋葬ス心當リノ者ハ當役場ニ屆出ツヘシ
昭和十一年九月二十九日　神奈川縣三浦郡葉山町役場

本籍住所氏名不詳推定年齡二十一歲位女性形
相身長四尺八寸位中肉頭髮束髮顏圓鼻低口大
其他普通特徵ナシ著衣枇杷模樣絽單衣白ズロ
ース覆輪腰卷絹帶上覆輪名古屋帶所持品ナシ
右本年七月二十三日市内北保町第一疏水取入口
ニ於テ發見セル溺死體ニシテ假埋葬ニ付ス心當
ノ向ハ直接當市役所ニ申出テラレタシ
昭和十一年十月一日　滋賀縣大津市役所

本籍住所氏名不詳推定年齡二十五歲位ノ男性
形相身長五尺三寸位白肥頭髮前長顏圓目小眉
濃口小其他普通特徵ナシ著衣人絹綾織單衣人
絹兵兒帶黃色覆輪ステテコ木綿縮緬猿股所
持品銀側腕時計一箇
右本年七月二十三日市内北保町第一疏水取入口
ニ於テ發見セル溺死體ニシテ假埋葬ニ付ス心當
リノ向ハ直接當市役所ニ申出テラレタシ
昭和十一年十月一日　滋賀縣大津市役所

本籍住所氏名不詳推定年齡二十一二歲位男性
形相身長五尺三寸位痩型頭髮五分刈顏面長眉
濃其他普通特徵ナシ著衣黑セル詰襟服白ズボ
ン白ワイシヤツ白莫大小猿股晒腹帶バンド所
持品赤皮蝦蟇口在中現金二圓九十三錢萬年筆
ナイフ腕卷時計
右本年八月二十五日市内湖南町地先ニ於テ發見
セル溺死體ニシテ假埋葬ニ付ス心當リノ向ニ直
接當市役所ニ申出テラレタシ
昭和十一年十月一日　滋賀縣大津市役所

正誤

去月三十日本欄公債償還ノ項中七六六頁二段二
行一八七ノ上ニ「一八〇」ノ三字ヲ脫ス(報告誤)
　地方事務官(兵庫縣)
本月二日同商業登記ノ項中七六頁三段青森區裁
判所川内出張所ノ部二行「々佐木嘉太郎」ハ「佐々
木嘉太郎」同七日同商業組合登記ノ項中二二一〇頁
三段高崎區裁判所安中出張所ノ部五行「井竹菊二
郎」ハ「井艸菊二郎」ノ孰モ誤植

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

通常 普通（月日時）	通常 書留（月日時）	小包（月日時）	郵便船出帆港	船名
●南支那、香港、フイリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行				
一〇、一二前九	一〇、一二前八半	―	門司	滿泰丸
同一三前九	同一三前八半	―	同	へいぐ丸
●布哇、米國、加奈陀、南米等行				
同一三後三、一〇	同一三後二、三〇	一〇、一三前一〇、一五	横濱	プレシデント、フーヴァ號

第2934号　本文

株式會社東京府農工銀行株式失權公告

株式會社日本勸業銀行カ株式會社東京府農工銀行ヲ合併スルニ付昭和拾壹年八月拾日日本勸業銀行株主總會竝ニ東京府農工銀行株主總會ノ決議ニヨリ東京府農工銀行ノ株式壹株貳拾圓全額拂込濟株式參拾五萬株ヲ日本勸業銀行ノ株式壹株五拾圓全額拂込濟ノ株式七萬株ニ併合ノ爲メ株券ヲ提供スヘキ旨昭和拾壹年八月拾壹日附通知竝ニ公告ヲナシタル處所定ノ期日タル昭和拾壹年九月拾五日迄ニ株券ヲ提供セサルニ因リ失權シタルモノ及株式併合ニ適セサルニ因リ失權シタルモノ左ノ通リニ付此段公告候也

昭和拾壹年拾月拾日

東京市麴町區內山下町一丁目一番地
株式會社日本勸業銀行

左記株式ハ株券ヲ提供セサルニ因リ失權

丁自壹〇八參八至壹〇八四〇東京市下谷區南稻荷町九ノ九一谷本淸兵衞丁壹參參參貳同市赤坂區青山南町六ノ六一五十嵐富藏丁壹〇參〇壹同市淺草區山谷町二ノ九山森淸治郎乙五貳五九同市荒川區町屋三ノ一一五三小林辰五郎乙參參七壹、參參七〇、四四七五、八五九七丙貳七壹六同區南千住町一〇ノ九八高田高德丁貳〇五五、貳〇五六同區尾久町九ノ三〇〇八瀨沼伊兵衞丁壹〇貳六六同市本所區厩橋一ノ四久保祐三郎丁九貳七壹同市品川區大井金子町六六二六伊藤勝太郎乙自壹〇參四參至壹〇參四五丙參四四八丁壹貳壹參七、壹貳壹參八同市神田區神保町三ノ四一四森田新太郎丙貳六七丁自七八六五至七八六七東京府北多摩郡大和村淸水七四八大久保欣平丙八〇九、壹參八九同郡東村山村同田一三五一佐藤鵬二丙九六六丁自貳四壹壹至貳四壹參同郡村山村岸一七〇須賀神社乙四四壹八同府西多摩郡霞村新町三八〇松永淺治丁六四九六同郡箱根ケ崎村一九二關谷祐次郎乙壹〇七參七京都市伏見區桃山羽柴長吉二四橋村みつ丁壹壹五七〇京都府紀伊郡堀內村伊賀七九中澤快川丙參七五四同府南桑田郡馬路村中川九十郎丁七八九壹、七八九貳、壹〇五〇貳佐世保市日宇福石免下大野一五〇五小關齋丁壹壹四七六、壹壹四七七山形縣荒砥町石那田一〇六三船山輝次丁壹貳貳七參大阪市天王寺區筆ケ崎町一七藤井貞朝丁壹壹參八〇八幡市枝光新町八丁目山田武並乙六貳八七丙參參壹〇崎玉縣入間郡坂戶町坂戶佐藤佐十郎丙參貳九八豐橋市曲尺手町三二井口眞一乙四五五六、四五五七、八六壹七銚子市ロノ二四九竹內延章丙壹四貳四島根縣仁多郡龜嵩村龜嵩一七四二岩名覺右衞門丁自九參六五至九參六八、壹壹九八六、壹壹九八七水戶市南三ノ丸鐵道官舍一二號ノ二戶宮原ハツ乙壹貳四〇參、丙壹九七參愛知縣西加茂郡擧母町擧母納屋二三田正美丙參四七四丁自壹參〇七壹至壹參〇八〇沼津市牛臥三〇一〇森松雄丙參四六七丁壹貳壹七〇橫濱市中區伊勢町三ノ一一九森正榮丁自八七八〇至八七八貳、壹壹九六壹、壹壹九六貳丙參〇貳參乙九五九四、壹壹七九參、壹壹四七八神奈川縣足柄上郡松田町惣領安藤フジ

左記株式ハ株式併合ニ適セサルニ因リ失權

丁壹壹五壹八、壹壹五壹九東京市淺草區元鳥越町七小約房吉丁自參七四壹至參七四四同市神田區丁參七貳五、參七貳六、七壹八九、九七九七同市王子區丁自壹壹貳九參至壹壹貳九五同市澁谷區神山町二四原口美惠丁自壹〇四七貳至壹〇四七四、七七五六同區中通一ノ三八小澤愼平丁九六壹五同區代々木初臺町四七九山本平丁壹貳四九八同市中野區新井町四一九堀越進丁壹壹九壹壹、壹壹九壹貳同區鷲宮二ノ七四一菊田兼次郎丁八五壹同市日本橋區室町一ノ一四大西菊太郎丁六貳〇、貳五八九同區吳服橋一ノ三安田信託株式會社丁壹參壹九八同區兜町二ノ二四佐久間福衞丁壹〇四貳五自壹參壹九貳至壹參壹九四同市淺草區馬道二ノ八小原福三郎丁壹參壹九五、壹參壹九六同八ノ七小原トメ丁八〇參參同市杉並區高圓寺二ノ四一九大理てい丁貳八參五、貳八參六、五六八五、五六八六同區阿佐ケ谷一ノ七八七橫川泰作丁壹壹參〇四同市小石川區柳町一熊谷武司丁壹貳五參九同市板橋區板橋町二ノ一一一奧山正重丁壹壹五壹四、壹壹五壹五同區大泉學園町二七五二小美濃金三郎丁壹壹五貳七、壹壹五貳八同町二五四〇小美澀仁平丁四壹七四、四壹七五同市芝區白金臺町一ノ三二渡邊榮丁自四參參參至四參參六參市縣布區笄町一二五田中英之助丁八參參壹、八參參貳同市目黑區中目黑一ノ九〇五中村太郎丁七〇七貳同區三田三五山本嘉代丁六五貳五同市赤坂區溜池町九谷中きみ丁壹壹參四六、壹壹參四六同市品川區下大崎町一ノ二六山本鶴太郎丁八壹五西同市足立區千住仲町八六山崎太吉丁參貳壹壹同市江戶川區上篠崎一四二六駒井とめ丁自九貳壹貳至九貳壹四同區葛西一ノ六〇八佐久間康三丁壹六壹九同區東宇喜田町五九八佐久間安太郎丁九參〇七九參〇八、壹壹八九四同市淀橋區柏木三ノ三二五北澤熊太郎丁七五四六同區百人町三ノ二七七南あい丁九五貳六、九五貳七同市神田區鎌倉町二ノ一彥坂萬次郎丁丁九〇參、五〇參參同區東神田三ノ二鈴木善四郎丁壹貳貳壹壹、壹貳貳壹貳同市大森區新井宿四貳一二九七關法之丁自四七貳至四七四東京府西多摩郡五日市町丁參六七五同郡調布村丁六四八參同郡古里村丁自五九四貳至五九四五同郡西多摩村五ノ神五二渡邊竹次郎丁參貳九壹、參貳九貳同村川崎一六一雨倉浪次郎丁壹六參壹同郡霞村今井一〇八二森谷太平丁壹貳貳七〇、壹貳貳七壹同郡東秋留村二宮二四一七杉本角次郎丁九八九貳同郡氷川村氷川一四一三氷川保護土工森林組合丁八九參、參四〇八同府北多摩郡谷保村丁壹壹六六貳同郡小平村小川二〇七二荒井伊三郎丁壹〇四六貳、壹〇四六五同郡大和村淸水七四八大久保欣平丁九九八五同郡狛江村和泉二一七三石井三四郎丁七參八〇同村同六八六鄕社伊豆美神社丁九四〇九同郡武藏野町境五三九井田武一丁自七八五九至七八六壹同郡久留米村落合三二八大野角次郎丁八七六、四五壹六同郡村山村中藤三八三五栗原茂三郎丁壹九九九同郡谷保村青柳三七七澤井利作丁四九貳四、六參四四、九四參壹、壹貳〇參四同郡調布町上布田二九白鳥俊昌丁壹〇〇八壹同府南多摩郡稻城村東長沼五九四篠崎彌之吉丁壹〇參〇五浦和市本太二三七一石井利正丁壹壹壹壹七埼玉縣北足立郡大宮內土手宿三八川崎緊松丁壹〇郡壹貳六、壹〇壹貳七同縣比企鍋北吉見村堆頭方二〇五四井上郡治郎丁壹〇貳六九同縣南埼玉丁岩槻町新町五三二屋野福太郎三七貳九九同縣入間郡宮寺村二縣四五吉川武治郎丁七壹六九同平比企郡高坂村正代七二松本茂郡丁壹壹壹壹五、壹壹壹壹六同松山町松山四五二八野村爲吉丁貳貳壹、貳貳貳八王子市元橫山町三五〇豐泉吉兵衞丁八八四五、六八七八、六八七九同市千人町一一一後藤春樹丁壹〇壹參〇、壹〇壹參壹島根縣仁多郡龜嵩村龜嵩一七四二岩名覺右衞門丁六八五壹、六八五貳、七四七參神戶市氷室町二ノ二三石津富美子丁壹貳參五九、壹貳參六〇、七五六七新潟縣北蒲原郡黑川村黑川一三二八伊藤忠三丁八〇八壹自壹〇九四二至壹〇九四四同縣西頸城郡下早川村下出六一八春日神社丁自七六五七至七六六〇島根縣鹿足郡津和野町鷲原イ八二一村社八幡宮丁四七五〇、四七五壹宮城縣柴田郡村田町村田町五一大沼宗吉丁七九〇六千葉縣印旛郡千代田村內黑田大熊秡平丁九四六貳、九四六參、壹貳〇九壹廣島縣世羅郡西大田村加茂三三九四ノ二和田俊市丁八四壹六、八四壹七滋賀縣蒲生郡北比都佐村小谷五九二階堂梅次郎丁九五貳四、九五貳五、壹貳壹壹貳京都府與謝郡岩瀧町岩瀧二〇五吉田彌市丁九五參七京都市中京區蛸藥師通岩上西入北川八重丁壹貳貳壹參、九五九九、九六〇〇京都府加佐郡中舞鶴町餘部下一一一二願野久衞丁壹貳五六〇大阪府八尾町佐堂六一吉川久藏丁八七四九、八七五〇、壹壹四壹四大阪市此花區恩貫島南ノ町一二六ノ一松田恒松丁壹參壹四六同市東區北濱二ノ三一古川浩丁壹壹〇〇貳同市南區天王寺小宮町五六箕口臣也丁七五〇壹、七五〇貳新潟縣北蒲原郡中條町高橋宗吉丁壹貳五五八、壹貳五五九愛知縣幡豆郡吉五五吉田外狩光春丁六七貳、郡田田、壹〇九〇參茨城縣稻數八町六五下太田一二〇坪井りつ郡九同村五、八貳九七、壹〇九丁太九七同坪井悌三丁六同六、八同同八壹〇九〇五同村〇坪井英、九六八八八、八三四中、壹〇二丁參群馬縣確氷郡安、町一九九參村發平丁八七〇九村八七壹二中重縣多氣郡三瀨谷壹長ケ四〇三本郡藏丁壹壹四〇邊、壹壹九山貳岐阜縣養老郡池貳村大壞四〇長九郎丁自九五八宮至九五松永、壹貳壹八〇宇都壹市東塙八四五五松下義尙丁壹川四壹九田町壹四貳〇富山縣新參郡弓庄、壹村深川通丁自八貳金九至八村辻四壹、壹壹參七八九澤市堅貳五四山川庄太郎丁八富八八、町九八九、壹壹六參八出山縣下八川郡魚津大町一一四參澤金次新丁九貳六貳、九貳六次米澤市郎東町五二二六佐藤淺三丁壹貳關〇五六、壹貳〇五七房重縣桑名郡桑名町川岸町郡田郡次郎丁壹貳〇八參福島縣伊遠丁堰本村大關濟水五五澁谷節三備九九參九、九九四〇岡山縣吉壹郡與姝村丁九五八〇、九五八九橫濱市中區伊勢町三ノ一一九森正榮

右株券ニ對スル株式數ヲ株式會社日本勸業銀行株式數ニ換算シタル株數合計九拾九株

宮武

宮武テント商行

メダル
徽章
カップ
記念品
東京徽章製作所
東京・淺草・北三筋町

商工省推獎　優良國產品
☆☆☆
(優良品)
三星繪具製造所
豐島區高田南町三丁目
諸官廳御用

日本
テント
日本テント商會

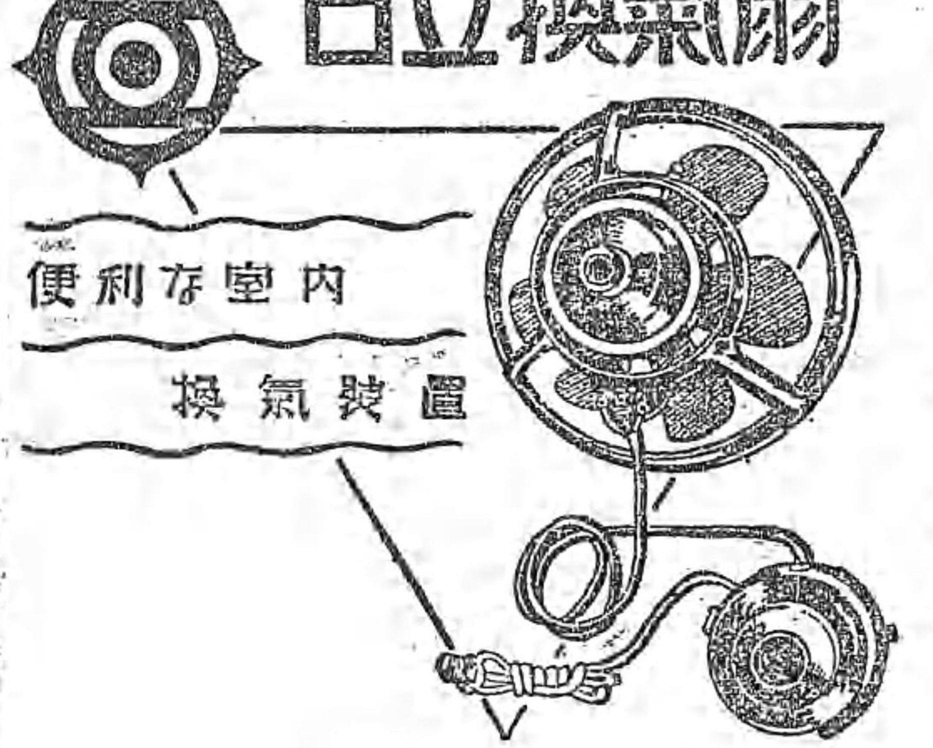
能村
天幕 雨覆
裝飾 貸物
貸テント
能村テント商會

日本特許

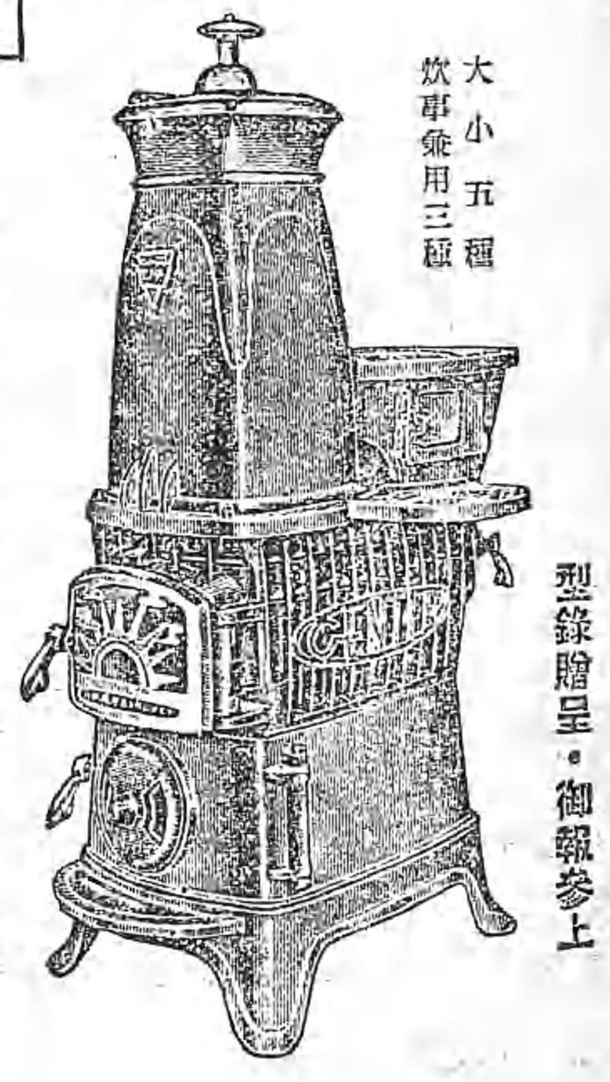
特許番號	發明ノ名稱	特許年月日	特許權者
第一〇七八五號	自働裝塡銃ノ改良	昭和九年一月三十一日	ダヌヴィア、イベリエ、ケレケスデルミ、アール、テー

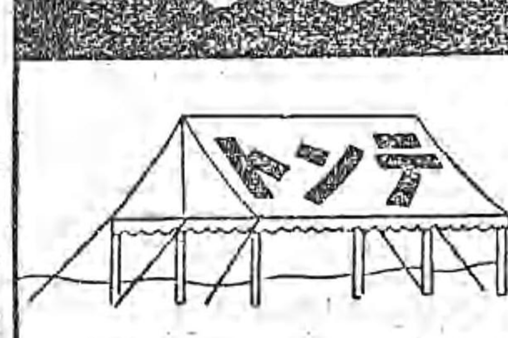
右特許ヲ讓渡シ又ハ其使用ヲ許諾可致候間御希望者ハ下名ヘ

東京市神田區駿河臺三丁目十一番地
辨理士　鈴木重禧

日立換氣扇


東京　日立製作所　丸ノ內

燦たり此光榮
曩ニ帝國發明協會より「昭和八年」被表彰
更ニ大阪府知事より「本年紀元節」被表彰
最新型
センターストーブ
ストーブの眞價は燃燒部の機構にあり
機構內容に付充分比較御研究を乞ふ
燃料　石炭・ピッチ煉炭等
特長
點火簡易　熱力强大　熱度平均　連續燃燒　堅牢優美
放熱迅速　燃料半減　除灰容易　調節自在　多產廉價
無煙炭 コークス ピッチ煉炭 褐炭等多種あり
大小五種
炊事兼用三種

型錄贈呈・御報參上
製造元
株式會社　山本最商店
大阪
東京
大連出張所　大連市駿河町二〇

矢野


矢野テント商會

株金拂込催告及失權豫告

當會社株式第二回株金拂込一株ニ付金拾貳圓五拾錢也ハ拂込催告書到達ノ時ヨリ三十日以內ニ定款ニ定メタル違約金ヲ添ヘ當會社又ハ東京出張所ヘ拂込相成度旨及右期間內ニ拂込ヲ爲サヽルトキハ商法及定款ノ規定ニ據リ株主ノ權利ヲ喪失スヘキ旨各未拂込株主ニ對シ本日通知候ニ付此段公告候也

昭和十一年十月十日

滿洲電信電話株式會社

官報附錄別刷

週報

編輯　情報委員會

定價一部　五錢　送料不要

來る十月十四日第一號發賣

政府の行はうとする政策の內容や意圖を廣く一般國民に傳へてその正しい理解を求め、公正な輿論の聲を聞くことは、國政運用の要諦である。又新たに法令が制定された場合實效を期するには、その趣旨や內容の一般によく諒解されることが肝要である。その他政府の各種機關に依つて得られる內外一般の情勢、產業經濟學術技藝等に關する資料を廣く公表して、その活用を圖ることは甚だ有用である。「週報」はこの趣旨に依り從來の官報雜報の規模を擴充してその體裁內容を改め、**法令法案各種政策の解說、內外一般情勢、產業經濟學術技藝に關する資料**等を掲載して、政府と一般國民との接觸を緊密にし、公明な政治の遂行に寄與しようとするものである。

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

定價　一ヶ月　九十五錢　一部　五錢　一間八十錢　八錢（外國郵便ニ依ル地域）各送料共

廣告料　本公告　八ポイント一行　三十錢　九ポイント五錢增　一般廣告　八ポイント一行十四字詰　二十五錢

發行所　東京市麴町區大手町　內閣印刷局　電話※九ノ內三五一九　振替東京一九〇〇〇官報課

申込所

當局發賣掛
全國各地官報販賣所
東都書籍株式會社
（東京市神田區神保町一ノ二三）
全國各地主要書店・各驛賣店等

發行所

東京市麴町區大手町
內閣印刷局
電話丸ノ內三五一一—三五九・振替東京一九〇〇〇

（本書ノ大サハ國定規格A4判）

第2934号　本文

第２９３４号 付録

本欄敍賜ノ項ニ「瑞四等」トアルハ昭和六年乃至九年事變ニ於ケル功ニ依リ勲四等瑞寶章ヲ授ケ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩瀚ニ渉ルヲ以テ其要略ノミヲ揭ク其他皆此例ニ倣フ

昭和六年乃至九年事變從軍記章ヲ授與セラル

	賞賜	陸軍官等位勲功	氏名
◎昭和九年二月十四日	銀杯一箇	從三位勲二等功五級	永井 來
◎昭和八年三月二十六日	銀杯一箇	正八位勲六等	岡 善次郎
◎昭和八年三月三十一日	木杯一組	正八位	久保田 稔
◎昭和八年七月十七日	銀杯一箇	正五位勲三等功五級	稻垣 眞
◎昭和八年九月二十二日	銀杯一箇	從五位勲四等功四級	矢土 安之
◎昭和八年九月二十五日	木杯一箇		小川 壽明
◎昭和八年八月二十六日	木杯一箇	從七位	中所 正一
◎昭和九年四月十日	木杯一組	從七位	村橋 健藏
◎昭和八年二月九日	木杯一箇	正五位勲三等功五級	大村 豐輔
◎昭和八年十月三十一日	木杯一箇	勲八等	宮崎 俊明
◎昭和八年三月九日	木杯一箇	正六位勲四等功四級	澁谷 爲吉
◎昭和九年三月二十七日	木杯一箇	從七位勲六等功七級	浦木 滿太郎
◎昭和七年五月三日	銀杯一箇	正五位勲三等	太田 達世
◎昭和八年五月三十日	木杯一組	正七位勲五等	佐々木 典
◎昭和八年七月九日	木杯一箇	從五位勲四等功五級	山下 滿五郎
◎昭和八年三月十七日	銀杯一箇	從四位勲二等功四級	船橋 芳藏
◎昭和八年十二月三十日	木杯一組	從七位	小島 宗三郎
◎昭和八年十月十二日	木杯一組	從七位	荒瀨 榮次郎
◎昭和九年一月二十日	銀杯一箇	從五位勲四等功四級	平野 四郎
◎昭和八年八月十三日	銀杯一箇	正五位勲四等功五級	矢內 正謹

◎昭和九年四月二十九日

敍賜

勲等	賜金	陸軍官等位勲功	氏名
瑞五等	—	正七位勲六等	向山 軍二郎
同	—	從七位勲六等	新島 鍋三郎
瑞六等	—	正八位	藤田 茂一郎
單光旭日章	—	從七位勲六等	關 仲次郎
瑞六等	—	勲七等	益田 左右治
瑞四等	—	正七位勲五等功五級	栗田 德次郎
旭日小綬章	—	正六位勲四等	木村 惣三郎
瑞六等	—	從七位	兒山 保之
同	—	同	西野 伊太郎
同	—	同	福原 勝影
同	—	同	永井 宗二郎
旭日小綬章	—	從五位勲四等	關 重忠
瑞四等	—	正七位勲五等功五級	富澤 直太郎
青色桐葉章	—	勲七等	飯田 秀雄
瑞六等	—	正八位	中井 雅人
同	—	勲七等	片岡 榮太郎
雙光旭日章	—	正六位勲五等	橋都 芳樹

賞賜	陸軍官等位勲功爵	氏名
金杯一箇	從三位勲一等功五級	赤井 春海
銀杯一箇	正四位勲二等功五級	飯塚 唯助
同	同	高田 豐樹
同	正四位勲一等功二級	稻垣 三郎
同	正四位勲二等功五級	篠田 次助
同	同	中嶋 虎吉
同	同	大村 有隣
同	正五位勲三等功三級	長堀 均
銀杯一組	從四位勲三等功五級	堀 吉彥
銀杯一箇	從四位勲三等功四級	伊藤 政之助
木杯一箇	正六位勲四等功五級	萩原 俊三
銀杯一箇	正五位勲三等功三級	加納 重之
同	正五位勲三等功五級	岩田 義信
同	正五位勲三等	小原 正忠
同	同	遠藤 豐三郎
同	從四位勲三等功五級	遠藤 壽儀
同	正五位勲三等	酒葉 要
同	同	大井 敢
木杯一組	正六位勲五等	佐藤 友兄
同	從六位勲六等	吉田 環
同	正六位勲五等	西野 徹
木杯一箇	正七位勲六等	品川 芳次郎
同	正七位勲六等功七級	柴崎 新松
同	正七位勲五等	吉原 延次
同	勲八等	千田 悌吉
同	同	土屋 安宗
同	勲七等	武田 一二
同	從七位勲六等功七級	渡邊 久八
同	勲八等	岡野 竹次
同	同	寺島 龜之助
同	同	尾崎 孝兒
同	同	木村 武
同	從四位勲三等功四級	小山田 仲之丞
銀杯一箇	從五位勲四等功四級	武藤 彬
同	正五位勲三等功五級	櫻村 弘道
同	從五位勲四等功五級	中野 才幸
同	正五位勲三等	吉田 知吉
木杯一組	從四位勲三等功五級	國分 習也
同	從五位勲三等	川村 玄三
同	從五位勲四等功五級	友田 米藏
同	從五位勲三等功五級	中村 敬彌
銀杯一箇	正五位勲三等	德永 熊雄
木杯一箇	從五位勲四等	香宗我部 順
銀杯一箇	從五位勲四等功五級	加藤 正純
木杯一箇	正五位勲四等	阪竹 彥三郎
木杯一組	正六位勲四等	飯泉 豐吉
木杯一箇	從五位勲四等功五級	小林 信一
銀杯一箇	從五位勲三等	中込 育三
同	正五位勲三等功四級	後藤 久次郎
木杯一組	從五位勲四等	野村 武治
銀杯一箇	從三位勲三等伯爵	香川 櫻男
同	正五位勲四等功五級	豐島 卓
木杯一箇	正六位勲五等	中西 正
木杯一組	正六位勲四等功五級	山口 唯次郎
木杯一箇		青木 克
銀杯一箇	從七位	內海 保三
同	同	吉川 克己
同	正七位	石井 孟雄
同	正八位	鬼島 喜一
同	從七位勲六等	松崎 寬造
木杯一組	勲七等功六級	拜田 長八
銀杯一箇	從七位	岡本 保之助
木杯一組	正八位勲六等	安倍 勁
銀杯一箇	正七位勲五等	鈴木 源吉
木杯一組	從七位	海野 冨藏
同	正八位	岡田 久雄
木杯一箇		橋本 幸吉
同		增田 榮一
同	從七位	石井 實
同	同	長谷川 秀吉
同	勲七等	永嶋 房次郎
木杯一組	正八位	眞泉 光顯
同	從七位	大木 政雄
木杯一箇	從七位勲六等功六級	金子 靱負
同		秋元 秀次郎
同	從七位	板尾 藤次郎
木杯一組	同	宮井 幾三
同	同	大島 庫吉
木杯一箇	正八位	武信 延治
木杯一組	從七位	栗原 光孝
同	正八位	鶴岡 修一郎
木杯一箇	從七位勲六等	佐々木 武夫
同	從七位	前川 萬治郎
木杯一組	同	宮代 英一
木杯一箇	勲七等功七級	山口 定四郎
同	從七位	安藤 敬三
木杯一組	同	吉野 武明
木杯一箇	同	福原 正太郎
同	同	木本 乘次郎
同	從七位勲六等	利根川 久衞
木杯一組	從七位	安藤 爲次
木杯一箇		藤山 精一
同	勲七等	荻野 浪平
同	正八位勲七等	荒井 留五郎
同	勲七等	井桁 幸造
同		中山 隆直
同		齊藤 二郎
同	勲八等	小澤 才助
同		加藤 嘉四郎
同	勲八等	鏑木 小平次
同	同	村田 傳治郎
同	從七位	長嶋 錠助
同		淺井 定吉
同		井上 博
同	正八位	高梨 正吉
同		森 昌太郎
同		岸 伊平
同		長谷川 金藏
同	勲八等功七級	林 九兵衞
同		耕田 松次郎
同		長谷川 惣左衞門
同		佐野 富吉
同		三枝 吉郎
同		新部 恒五郎
同		杉本 金吾
同	勲八等	增永 仙太郎

付録

第2934号付録

木杯一組	正六位勲五等	西田兵吾
木杯一箇		荻野久司
銀杯一箇	正五位勲三等功四級	松田八郎
同	正五位勲三等	赤羽佑之
同	正五位勲三等功五級	渡邊祐次
同	從七位	反町榮一
木杯一箇	同	加藤清一
木杯一組	同	佐藤教平
木杯一箇	同	原清七
木杯一組	同	山田清一
同	正七位勲六等	佐野弌夫
木杯一箇	從六位勲五等	石垣耕陸
木杯一組	從六位勲四等功五級	佐藤保吉
同	正八位	長沼權一
木杯一箇	從七位	中野欽治
木杯一組	同	安立鐵之助
同	正八位	大塚平三郎
木杯一箇	正六位勲四等功七級	若月倉藏
木杯一組	正六位勲五等	星野俊三
銀杯一箇	從五位勲四等	市川豊太
木杯一箇		齋藤久平
同		猪狩善兵衛
同	從七位勲六等	鈴木清太郎
木杯一組	從七位	新澤順吉
同	正八位	山崎清三
木杯一箇	從七位	中倉州一
銀杯一箇	正五位勲四等功五級	丸山八十司
同	從五位勲四等	小泉新治
木杯一組	正六位勲四等功六級	三五寅吉
同	從五位勲四等	植田新三
木杯一箇	正八位	藤田耕二
同	同	石坂誠一郎
木杯一組	從七位	田口薫之助
同	正八位	大塚林太郎
同	從七位勲六等	佐藤鐵郎
同	從六位勲四等	脇田鏡一郎
木杯一箇	正八位	富樫又太郎
木杯一組	從七位勲六等	川瀬愼藏
同	從七位勲六等功五級	桂恕佑
木杯一箇	正八位	吉川文一
同	勲八等	目崎俊作
同		小池幸太郎
同	勲七等	山口友江
同	從七位	小林甚平
同	同	高橋準策
木杯一組	同	米山孝雄
木杯一箇	勲七等	佐藤市太郎
同		村山修次

同	勲六等功六級	若井辰次郎
同	正七位勲五等	駒井庄五郎
木杯一組	從五位勲四等	庄司正
木杯一箇	正八位	佐藤仲吉
同	同	増子榮
同	同	宮越貞一
木杯一組	從六位勲五等功七級	長谷川寅吉
同	從七位勲六等功五級	古川孝三郎
木杯一箇	正八位	笹川泰一
木杯一組	從七位勲六等	後藤惣三郎
木杯一箇	正七位勲四等	中野八三郎
同	正八位	近藤四郎
同	同	田村弘造
同	從七位	菊地喜一
木杯一組	同	大堀常三
木杯一箇	同	吉浦榮一
木杯一組	同	丹羽溪道
木杯一箇	正八位	金井晟吉
同	同	高橋傳治郎
同	同	船山角衛
同	從七位	近藤壽治
同	正八位	大塚慶一郎
木杯一組	同	高田十三郎
同	正五位勲三等	八木雄馬
木杯一箇	正八位	黒田眞禪
同	同	松下荷次郎
木杯一組	從七位勲六等	森信吾
木杯一箇	正六位勲五等	蓬生辰喜
木杯一組	從七位	前田善兵衛
木杯一箇	同	仁藤新作
同		鈴木鹿治
同	勲七等功七級	鈴木與作
木杯一組	從七位	大石虎之助
木杯一箇	同	中島不二太郎
同	勲六等功七級	堀内寅平
同	正五位勲四等功五級	長野健
同		山田豊次郎
木杯一組	從七位勲六等功五級	時田弘太郎
銀杯一箇	從四位勲三等功四級	五味爲吉
同	正五位勲三等功五級	柴田伸吉
同	從七位	平野繁太郎
同	同	藤江金兵衛
木杯一組	正七位勲六等	瀧井忠平
銀杯一箇	正五位勲三等功三級	石川武文
木杯一組	正七位勲五等	杉浦市兵衛
同	從七位	森口淳三
同	從五位勲四等	渡利織人
同	從六位勲四等功五級	山川辨廣

同	從七位	清水操一
同	從七位勲六等功五級	櫛木伸
同	從七位勲五等功五級	伴壽一
銀杯一箇	正五位勲三等	安藤忠
木杯一箇	從五位勲五等	神田次郎
同	從七位	大河内智香
銀杯一箇	正五位勲三等	石井吉次
木杯一箇	正八位	山崎讓一
木杯一組	從七位	中西圓三郎
同	正八位	山本賢治
木杯一箇	從七位	小林博
銀杯一箇	正五位勲四等功五級	村手彦増
同	從四位勲三等	遠藤太松
同	從五位勲四等功五級	角田倉太郎
木杯一組	正六位勲五等	清信一
同	從七位	吉原一之
同	同	小栗敬五郎
同	正六位勲六等	加藤景美
同	從七位	荻原憲三
同	同	小島克實
同	同	瀧保吾郎
木杯一箇	從五位勲四等功五級	村瀬義則
同	從七位勲六等功五級	宅間重太郎
同	正八位	佐藤正次
同	同	服部賢準
同	正八位勲六等	杉崎儀一
同	正八位	虫鹿求仁夫
同	從七位勲六等功七級	大杉榮三郎
銀杯一箇	從四位勲三等功四級	金田房吉
同	從五位勲三等	加納均一
木杯一箇	從七位	石榑敬一
木杯一組	從七位勲六等	丹羽粂八
木杯一箇	勲七等	山田孝逸
木杯一組	從七位	日比野定一
同	從六位勲五等	中垣喜三郎
同	從七位	伊藤保次郎
同	同	林克己
木杯一箇	勲七等功七級	宮地崎重
銀杯一箇	正四位勲三等功三級	權藤傳次
同	正四位勲三等功五級	森下正
同	從四位勲三等功五級	三浦常太郎
同	正五位勲三等功五級	三崎鱗之助
木杯一組	從五位勲四等功五級	乾隆吉
木杯一箇	從四位勲三等功五級	石川喜代見
同	正五位勲三等功五級	赤倉彌太郎
同	從五位勲四等	武波清治
同	正六位勲五等	若松茂平

銀杯一箇	從五位勲四等功五級	佐久間清太郎
同	從五位勲三等功四級	松村和次郎
同	正五位勲三等功五級	山口直敦
同	正五位勲四等	岡部文哉
同	正五位勲三等功五級	山本直躬
木杯一組	正六位勲五等	鈴木純三
銀杯一箇	從六位勲四等功五級	平井喜之助
同	從七位勲五等	吉年宗兵衛
同	從七位勲六等功五級	藤澤章次郎
同	正八位	池田駒太郎
同	從七位	八木常太郎
同	從五位勲四等	富山林平
同	從七位	中島幾三郎
木杯一箇	正八位勲六等	山本金次郎
木杯一組	從七位	吉田種三郎
同	從七位勲六等	山村伊左衛門
木杯一箇		佐伯隆三郎
同	勲八等	後藤政吉
木杯一組	從七位	宮川正一
木杯一箇	勲八等	鈴木政治
同	正七位勲五等	田村善三
木杯一組	正七位勲六等功五級	塚口誠一
同	正八位	森井亀太郎
同	同	南治好
木杯一箇	從七位	橋本吉之
同		中島藤吉
木杯一組	從七位勲五等功五級	稲垣環二
同	從六位勲六等	山田常太郎
同	正八位	堀野福太郎
木杯一箇	從七位	前田金吾
木杯一組	同	福井源作
同	從七位勲五等	舳松倉太郎
同	正八位勲六等功五級	木田繁三
同	正七位勲六等功四級	山脇延吉
木杯一箇	正八位	寒川明忠
同	同	下野江寛雄
木杯一組	從六位	羽田熊夫
木杯一箇	勲六等功七級	中谷幸太郎
同	正八位	仁村清治郎
同	從七位	山中壽一
同	同	山本英之
同	勲七等	土井康亘
木杯一組	從七位	清水太七郎
木杯一箇	同	竹下隆雄
木杯一組	同	山口良一
木杯一箇	正七位勲六等	中村千代之助
同	正七位	田村實勇
同	正七位勲五等	大賀正造

木杯一組	從七位	貴志武夫
木杯一箇	從七位勲五等	西田幸太郎
木杯一組	正八位	外山秀松
木杯一箇	勲七等功七級	金田熊藏
同	勲八等	小綿鹿之助
同	從七位	石井豊次郎
同	正七位勲六等功六級	田中信三郎
同		藤井忠義
同	正八位	宮里源兵衛
同	同	吉川永壽郎
同		松本萬次郎
同	正八位勲六等	庭瀬義夫
同	從七位	南茂
木杯一組	同	平田廣之助
木杯一箇	勲八等功七級	前西國太郎
同		中村清太郎
同		川畑勘藏
同		禰亀太郎
銀杯一箇	從四位勲三等功五級	松本勇平
同	從四位勲三等功四級	藤井清水
同	從四位勲三等功五級	杉浦全三
同	從四位勲二等功四級	野島忠孝
同	從四位勲三等	松田善衛
同	正四位勲二等功五級	木村茂
同	從三位勲二等功四級	向西兵庫
同	從四位勲三等功四級	河瀬健吉
同	從四位勲二等功三級	田部正壯
木杯一組	正六位勲四等功五級	多田坂次郎
銀杯一箇	正五位勲三等功四級	志岐重義
木杯一組	從五位勲四等	金本康久
銀杯一箇	正五位勲三等	藤村正七
木杯一箇	從五位勲三等	足立勳
木杯一組	正六位勲六等	前田研次
木杯一箇	正五位勲三等功五級	矢野榮
銀杯一箇	從五位勲四等功五級	佐田通武
同	正五位勲四等功五級	市川一郎
木杯一組	正六位勲四等	久利秀孝
銀杯一箇	從四位勲三等功四級	高津幾太郎
同	正五位勲三等功五級	麥田登
同	同	三戸五男
木杯一箇	正六位勲四等	福馬啓造
木杯一組	正六位勲六等	安田次男
同	正六位勲五等	岩松正人
銀杯一箇	正五位勲四等功五級	隸村與四郎
木杯一組	正六位勲四等	名和田豊作
同	正七位勲五等功五級	水津易吉
同	從七位勲六等	能美精一
木杯一箇	正七位勲五等	友村德治郎

木杯一組	從七位	富岡雲英
木杯一箇	從六位勲五等功五級	金川朝重
同	正八位勲六等	香月周吉
同		柘植正理
同	勲六等	宮田賢太郎
同	勲七等	柳樂善治郎
同	從七位勲六等功七級	古野勘次郎
同		森與一
同	勲七等	平井岩太
同	勲八等	渡部敷太郎
同		岩田新一
同		一二三晴一
銀杯一箇	從四位勲三等功五級	末松俊造
同	同	本多虎司
同	同	中根正常
銀杯一組	正四位勲二等功三級	緒方多賀雄
木杯一組	從七位	浮池勇
同	從五位勲五等	大島彌市
銀杯一箇	正五位勲三等功四級	原寅生
木杯一組	正六位勲六等	山下竕
同	從五位勲四等	渡邊清
同	正六位勲五等	福永秉吉
同	從六位	北原照二
同	從七位	本山守
同	同	恒松伊三八
同	同	高松光藏
同	正八位	橋本五郎
木杯一箇	從六位勲五等功五級	井上敬太郎
同	正五位勲三等功五級	小島德貞
同	從五位勲四等	大賀又男
銀杯一箇	正五位勲三等功五級	梶原景憲
木杯一箇	勲八等	齋藤豊次
同	勲七等功七級	中島義一
同	勲八等	岡又平
同	勲七等	塚本新
同		德永德次郎
同		西尾榮太郎
同		藤永貞喜
同	勲八等	片岡廣
同	勲六等	塩見芳太郎
銀杯一箇	正四位勲二等功五級	郷田秉安
同	正五位勲三等功五級	田村守衛
同	正五位勲三等功四級	櫻井麟次郎
木杯一箇	從七位	佐藤清八
銀杯一箇	正五位勲三等功五級	櫻田要次郎
同	正五位勲四等	麻生國彦
木杯一箇	從七位勲六等	川上隆正
木杯一組	同	伊藤讓作

同	從七位	後藤脩
同	從五位勲四等功五級	清水勉
同	從七位	荒木寛吉
木杯一箇		日下加太郎
同	勲七等	佐藤道雄
同	同	衛藤忠彦
同		渡部源一
同	勲八等	深江福一
同		矢田雅雄
銀杯一箇	從四位勲二等	谷村定規
同	從五位勲四等	河野圭三
同	正五位勲三等	大島正次郎
同	正五位勲四等	鈴木基行
同	同	平野庫太郎
木杯一組	從五位勲四等	椋田新之煕
同	從七位	山口一二
同	正六位勲六等	東政吉
木杯一箇	從七位	三重野老吉
同	正七位勲五等	辰養良
同	從七位勲七等	椛島善一
同		永友市藏
同	勲八等	深草周策
同		中武豊吉
同		谷口祐吉
同		河野健治
同		湯地武雄
銀杯一箇	正五位勲四等功五級	川畑宗次郎
同	正五位勲三等功三級	宅間豊彦
同	正五位勲四等	篠原長千代
同	從五位勲三等	井畔儀彦
木杯一組	從五位勲四等	黒江可
同	正六位勲四等	江口佐次郎
銀杯一箇	從四位勲三等功五級	濱島彌熊
木杯一組	從六位勲五等功七級	青崎甚吾
同	從六位勲五等	前野實
木杯一箇	正五位勲三等功四級	橋口秉董
木杯一組	正七位勲五等功七級	中村盛藏
木杯一箇	勲七等功七級	竹内孝助
同	勲八等	國分友陸
同	從七位勲六等	谷口正次郎
同	勲八等	柞木虎吉
同	勲七等	上平休藏
同		今別府規一
銀杯一箇	從四位勲三等	山田政一
同	從五位勲四等功五級	谷口元次郎
同	從四位勲三等功五級	米倉冬藏
木杯一組	從五位勲四等功五級	櫻井利吉
同	從五位勲四等	廣辻金次郎

同	從五位勲四等功五級	小森正鋭
同	正六位勲五等	鶴見直三郎
銀杯一箇	正五位勲三等	長岡清三郎
木杯一箇	從五位勲五等	島野岩五郎
銀杯一箇	從四位勲三等	小倉春之助
木杯一組	正六位勲五等	佐藤清彌
同	從五位勲五等	當間隆二
同	從七位	古川繁次郎
木杯一箇		辻德夫
木杯一組	從六位勲六等	大野順未
同	正六位勲五等功五級	菅安右ヱ門
同	從七位	下田豊松
木杯一箇	同	宮腰伊七郎
木杯一組	從七位勲六等	小林一治
木杯一箇	從六位	中瀬貫一
木杯一組	從七位	吉田貞次郎
木杯一箇	同	大坪孝一
同	同	白山彌太郎
同	正六位勲五等功五級	中山九郎
同		立花德太郎
同	正八位	常盤野清
同	正七位勲四等	大串又吉
木杯一組	正八位勲五等	荒井信治
木杯一箇	從七位	高村新次郎
同	從七位勲六等功六級	藤田松次郎
同	正七位勲五等功七級	今野岩吉
木杯一組	正八位	寺本護宗
木杯一箇	從七位	宮崎大四郎
同	正八位	齋藤平吉
同	從七位	植村貞吉
木杯一組	正八位	金子裕
木杯一箇	正八位勲六等	飯豊健吾
同	勲七等	石田五良吉
木杯一組	正八位	山本瀧平
木杯一箇		桑原喜助
銀杯一箇	從七位勲六等	竹村由雄
同	從四位勲三等	松本五左ヱ門
同	從七位勲六等	村井惣次郎
同	從四位勲三等	林成三
同	正五位勲四等功五級	安東貞治
同	正五位勲三等功五級	室岡翁三
同	正五位勲三等	屋代享輔
木杯一組	從六位勲五等功六級	小山内鐵陽
銀杯一箇	從四位勲三等	長嶺俊之助
木杯一組	正六位勲五等	鈴木智重
同		吉田慶太郎
同	正八位	野村重治
銀杯一箇	從六位	内山庄太郎

第2934号 付録

木杯一組	從七位	成田良策
同	從七位勳六等	齊藤彰
同	從七位	後藤鐵太郎
同		吉崎壽助
銀杯一箇	正八位	中田儀直
同	正五位勳三等	梅津政太郎
木杯一箇	正八位	平賀綱之助
同	正六位勳四等	八嶋鈔吉
同	從七位	山岸德次郎
銀杯一箇	同	花山實
木杯一組	同	畠山覺助
木杯一箇	正八位	桝澤久一
木杯一組	同	永田龜之助
同	從七位	伊藤一太郎
木杯一箇	正八位勳七等	荒川喜四郎
木杯一組	從七位勳六等功五級	相澤十市郎
同	從七位	高橋藤作
銀杯一箇	正五位勳四等	稻城豐穗
木杯一箇	正八位	渡邊武
同	從七位	博田恭之助
同	同	米澤直次
同	從五位勳五等	村岡善太郎
同	正六位勳四等	山内貞藏
同	從七位	辻兵太郎
木杯一組	同	田村英一
銀杯一箇	正五位勳三等	佐藤清作
木杯一組	從七位	柴田吉治
同	同	湯川岩之輔
同	同	高橋久兵衞
木杯一箇	同	佐藤茂一郎
木杯一組	從七位勳六等功五級	盛合綏之
同	從七位	伊藤浩一
銀杯一箇	正五位勳四等	小花初治
木杯一箇	勳七等	成田貞治
同	正八位	佐藤啓治
木杯一組	從七位	太田敬義
同	同	平田彦左衞門
同	正八位	立花喜兵衞
木杯一箇	同	本間光正
木杯一組	從七位	西谷靜司
木杯一箇	正八位	岡田武敏
同	同	平野正造
同	從七位	齋藤太治右衞門
木杯一組	從七位勳六等	松尾傳吉
木杯一箇	勳八等	柴田伊惣治
木杯一組	從七位	尾形賢寛
同	從七位勳六等	奈良七五郎
木杯一箇	勳七等功七級	小助川寛藏
同	從七位勳七等	宮靜治
同	勳八等	金子知一
木杯一組	從七位	原子・武磨
木杯一箇		小場無心
同		石黑順太
同	從七位勳七等	武田茂一
同		佐々木石藏
同		谷松未治
同	正六位勳五等	能登森治郎
同		橋高黃一
同	勳七等	馬場岩藏
同	同	遠藤蕃
木杯一組	從七位	今野金八
木杯一箇	同	橋本正次
同		原田清兵衞
同		松本正藏
同	勳七等	谷口與四郎
同		福井正六
同		阿部忠恩
同	勳八等功七級	宮手儀三郎
同		佐藤清藏
同		富樫泰治
同	勳七等功七級	近江金治
同		樋渡忠藏
同		晴山一郎
銀杯一箇	正五位勳三等功五級	後藤昔壯
同	從五位勳四等功五級	土田琢治
同	從五位勳三等功四級	稻枝豐成
同	正五位勳三等功五級	河野義雄
木杯一組	從六位勳四等功五級	吉野儀作
同	正七位	黑田鐵二
同	正八位	奥一太郎
同	從七位	小林直次
同	同	濱邊直三
木杯一箇	同	井口清次
木杯一組	同	廣島彌兵衞
木杯一箇	正八位	東吉次
木杯一組	從七位	新田象七郎
木杯一箇	同	野口晉作
木杯一組	正八位	宮森基
木杯一箇	同	英安吉
同	從六位勳五等功七級	大垣平吉
同	從五位勳四等功五級	明珍宗映
木杯一組	正六位勳五等	矢野幾三郎
銀杯一箇	正五位勳三等功五級	篠原成好
同	正五位勳四等功五級	上原清二
同	正八位	井本和平
木杯一箇	正八位勳六等	堀彌三郎
木杯一組	從七位勳五等	中川才次郎
同	正八位	西田正義
木杯一箇	正七位勳五等功五級	杉木信行
木杯一組	從七位	桑月信夫
同	正八位	吉川喜代春
同	從七位勳六等	結城福五郎
同	正八位	匠勝造
同	同	佐々木三郎
同	正七位勳五等功五級	高井盛策
同	正八位勳六等	上野彰
同	同	廣川周造
同	從七位勳四等功五級	木津太郎平
木杯一箇	勳八等	宮田與二
同		並木德太郎
同	勳七等功七級	岩池貞次郎
同		水島大倹
銀杯一箇		成田宇多
同	從六位勳四等功五級	岩田冨士太郎
同	正五位勳四等功五級	野田豐
同	正五位勳三等	椋田外弥
同	正五位勳三等功五級	石井斧三
同	正五位勳三等	新田長太郎
木杯一組	從七位	白崎卯太郎
同	正八位勳六等	三木佐右衞門
同	從七位	兒玉武雄
同	同	楠了惠
同	從七位勳六等	菖蒲池孫次
同	正八位	高田才治郎
木杯一箇	同	角田惣市
同	同	高木貞元
同	從七位勳六等	光友長治
木杯一組	從七位	佐藤忠信
同	同	香川正雄
同	同	福井弥藏
木杯一箇	同	追分音吉
同	勳八等	山本康一
銀杯一箇	勳七等	小木津
同	正五位勳三等功四級	松尾傳藏
同	同	浦井隆
木杯一組	從五位勳四等功五級	酒井重禮
同	正六位勳五等	水野蕭
同	從六位	豐岡剛齊
同	從七位	藤本寛一
木杯一箇	正八位	波多野玄猷
同	從七位	臼井金藏
同	勳八等	深谷藤市
同	從七位	田邊顕治
同	同	半田康六
同	正八位	本谷正意
同	從七位	伊藤助右エ門
同	正八位	岩佐武
銀杯一箇		河田正太
同	從四位勳二等	池田卓藏
同	從四位勳三等	山村英太郎
同	從四位勳三等功五級	園藤作藏
同	正四位勳二等功五級	狩野育彦
同	正五位勳三等功五級	中賢治
同	從五位勳四等功五級	守屋序平
同	從五位勳四等	西原乙吉
木杯一組	從五位勳四等功五級	時實作次郎
同	正五位勳四等功四級	河田惠長治
同	正五位勳三等功五級	岡島敏行
同	正五位勳四等功五級	田中穩士
木杯一箇	正六位勳五等	前田壽己
銀杯一箇	從五位勳四等	別府方太郎
同	正五位勳三等	前田小太郎
木杯一組	從五位勳四等功五級	玉木庄太郎
同	從五位勳五等	瀧野基
同	正八位	吉村猪吉郎
銀杯一箇	從七位	藤井琢平
同	正七位勳五等功七級	能見實藏
同	從七位	池田鑒
木杯一組	從七位勳六等	小坂金吾
銀杯一箇	從七位	伏屋哲造
木杯一組	從六位勳四等功五級	松本萬年
同	從七位	井上利三治
木杯一箇	同	大森虎藏
木杯一組	從七位勳六等	立川繁二
木杯一箇	同	原田甲子
木杯一組	勳八等	土師保藏
木杯一箇	正七位勳五等功五級	飯塚隆重
同	從七位	神崎久万治
同	同	重松太喜三
同	正八位	撰覺次
木杯一組	勳七等	牧田松三
同	正七位勳六等	片岡里二
同	正七位勳五等功六級	幸田幸一
同	從七位	谷垣英定
木杯一箇	同	黑田包美
同	同	金藤傳四郎
木杯一組	勳八等	石戸時之助
木杯一箇	正七位勳五等	宇野義夫
木杯一組	從七位	三宅利一郎
木杯一箇	同	大村國藏
同	從七位勳六等	六岡周三
木杯一組	從七位	内田初四郎
木杯一箇	同	小松潔
木杯一組	正八位	松田一郎

同	從七位勳六等功五級	前田恒久
木杯一箇	正八位	久山淳一
木杯一組	從七位勳六等	清水靜磨
木杯一箇	同	渡邊幸助
木杯一組	正八位	氷室龜次
木杯一箇	從七位	尾谷半三郎
木杯一組	同	荻原政胤
木杯一箇	正八位	神先清之進
同	從七位	永見重信
同	勳八等	岸網三郎
同	正八位	田中登
木杯一組	從七位	丸濱啓太郎
同	從六位勳五等功五級	成相武臣
同	從七位	大西龜太郎
木杯一箇	勳七等	大野純雄
同	從七位	南久一
木杯一組	從七位勳六等	山口武二
銀杯一箇	正七位勳五等	作野諒之助
木杯一組	從七位	岡崎若松
同	同	中田龜悦
同	正七位勳五等	畠寛治
木杯一箇	正七位勳五等功七級	大西光之助
木杯一組	從七位勳六等	木下桂二
同	正八位	安達豐一郎
同	從七位	越尾淺治
同	從六位勳六等	中村平太郎
同	從七位	伊丹東慶
木杯一箇	正八位	植木勝二郎
木杯一組	從七位	服部力
同	同	福原一二
同	從七位勳五等	光岡五八郎
木杯一箇	從七位	八十川榮治
木杯一組	從六位勳六等	倉内嘉也
木杯一箇	從七位	井上弘成
同	正八位	奥平市雄
木杯一組	從七位	牧野英一
木杯一箇	同	福田辰次郎
木杯一組	正八位	稻垣金治
木杯一箇	從七位	原正太郎
同		上仲濱五郎
同		嘉賀半治
同	勳八等	谷口梅藏
同	同	三宅竹男
同		高部勘次
同	勳八等	川田多市
同	同	桑原辰巳
木杯一組	從五位勳四等功五級	村尾源次
木杯一箇	從五位勳四等	兒玉德鄉
銀杯一箇	正五位勳三等功五級	喜田卯吉
同	正六位勳三等	濱田眞秋
同	正五位勳三等功五級	永野爲孝
木杯一箇	正五位勳三等	細木橘
同	從四位勳三等功四級	鈴木良員
同	從五位勳四等	詫間幡太郎
木杯一組	正六位勳五等	中瀬俊二
銀杯一箇	正五位勳三等功四級	久野康
木杯一組	正六位勳四等功五級	佐川金太郎
木杯一箇	從四位勳三等功五級	池上德平
同	正六位勳四等功五級	北尾桂二郎
木杯一組	正七位勳六等功七級	井内磯三郎
木杯一箇	正七位勳五等功六級	細川嘉治次
同	正八位	關谷勝利
同	同	明神鐵吉
木杯一組	勳七等	磯部万助
同	從七位勳六等	曾我部房一
同	正八位	山本廣治
同	從七位勳六等	吉良柳太郎
同	從七位	有馬清平
木杯一箇	正八位	山崎玄泰
木杯一組	從七位	吉田基芳
同	正八位勳六等	梶河佐次郎
同	從七位	松浦具樹
同	同	松末興輔
同	同	佐々木幸治
木杯一箇	正八位	石川啟夫
木杯一組	同	清水研一
木杯一箇	勳八等	竹村虎治
銀杯一箇	從三位勳一等功三級	西川虎次郎
同	從四位勳三等功五級	馬淵万次郎
同	同	永田小太郎
木杯一箇	正八位勳七等	本山和雄
銀杯一箇	正五位勳三等	伊吹元五郎
同	同	高柳常一
同	正五位勳三等功五級	光安勝
同	正五位勳三等功四級	赤司安一郎
同	正七位勳六等功五級	福田龜太郎
同	從五位勳四等	千々和種助
同	正五位勳三等功五級	古森住四郎
木杯一組	從七位	平田瑞穗
銀杯一箇	正五位勳三等功五級	水川充
木杯一組	從七位勳六等	大武正人
銀杯一箇	正五位勳三等功五級	朝長芳夫
木杯一組	從七位勳五等	元野耕道
同	正七位勳五等功五級	松本宇吉
銀杯一箇	從四位勳三等功五級	松井幹愛
木杯一箇	正五位勳三等	宇都宮三千雄
銀杯一箇	正五位勳四等功五級	土井知清
同	正五位勳三等功四級	勢三郎
木杯一箇	正六位勳四等功五級	眞井滿
木杯一組	正八位勳六等	吉永節治
同	從六位勳四等功五級	進藤村治
木杯一箇	從七位	松尾民也
銀杯一箇	從五位勳四等	牟田準三郎
木杯一箇	正五位勳三等功五級	吉田豐彥
同	正五位勳三等功四級	永島金四郎
同	正八位	森田福次
同	從七位	石本猛
木杯一組	同	花村久兵衞
木杯一箇	同	賀來義雄
同	正五位勳三等功五級	小池八十次
同	正七位勳五等	宮副英
銀杯一箇	正五位勳四等	富澤原太郎
木杯一箇	從七位勳六等功六級	牛島惠三
同	正五位勳四等	江良定治
同	從七位勳五等	山中彌助
木杯一組	正六位勳五等功五級	藤井金之助
同	正六位勳六等	北島利一
木杯一箇	正六位勳四等功五級	安武愛次郎
木杯一組	正五位勳四等	池田芳德
木杯一箇	從七位勳六等	篠原倍藏
木杯一組	同	國廣靜
木杯一箇	正八位	戸上俊德
同	從七位勳六等	山口光藏
同	從七位	百合野潔
木杯一組	同	川崎寶次郎
木杯一箇	正八位	氷室勘次
同	正六位勳五等功六級	原卓爾
同	正八位勳七等	井上權市
木杯一組	從七位勳六等	富永郁郎
同	從七位	石内邦夫
木杯一箇	從七位勳六等	矢野久米司
木杯一組	從七位	齊藤義
同	從五位勳六等	松居吉應
同	正八位	草場義夫
同	正六位勳五等	古賀榮太
同	正六位勳六等	古賀一雄
同	正八位勳六等	松井規
同	正八位	武田星輝
同	從七位勳五等	黑瀨眞一郎
銀杯一箇	正五位勳三等	川原長六
木杯一組	從五位勳四等	出口立三郎
木杯一箇	勳七等	田村鶴吉
同	同	清水武一
同	勳八等	松本正雄
同	勳七等	有馬福太郎
同		琴岡義豐
同		原憲太郎
同		沼八郎
銀杯一箇	勳七等	淺井光三郎
同	從四位勳三等功四級	倉島冨次郎
同	從四位勳三等功五級	飯田延太郎
同	正五位勳三等功四級	小貫義久
同	正五位勳三等	安藤正義
同	正五位勳四等	中村敏之介
木杯一組	正五位勳三等	石川吉郎
銀杯一箇	正六位勳四等	杉田精義
同	從四位勳三等	入江彦太郎
同	正五位勳三等功五級	大角忠文
木杯一組	正六位勳四等	相良孝太郎
銀杯一箇	從五位勳四等	野本臈之助
木杯一組	同	石川脩爾
木杯一箇	正六位勳四等	野口俊太郎
木杯一組	正五位勳三等	塩澤良造
銀杯一箇	從四位勳三等	寺内要
同	從七位勳六等	高橋一郎
同	正八位	福田重清
同	同	塙孫三郎
同	從七位	小笠原政美
同	同	宮澤修二
同	從七位勳六等	田島準一郎
木杯一組	從七位	野澤茂堯
銀杯一箇	同	今井敬三郎
同	同	伯田式之介
同	同	磯崎郡昌
同	從六位勳四等	関戸愛民
同	從七位	市瀨繁
同	同	小野祐之
同	正八位	周東慶次郎
同	從七位勳五等	中島今朝次郎
同	從七位	前島要三郎
同	同	横田哲
同	同	小澤治
同	從七位勳六等	飯田澤吉
木杯一組	從六位勳五等	伊藤朋衞
同	正七位勳六等	太田洋一郎
同	從七位	小野澤信滋
同	同	齊藤修太郎
同	正八位	永瀨清作
木杯一箇	勳七等	小澤義人
木杯一組	從七位	廣瀨亮一
同	正八位	内藤四朗
同	同	西澤辨吉
同	從七位	出浦茂男
同	正八位	長澤與市

第2934号 付録

同	從七位	齋藤民三
同	從七位勳六等	瀧野重五郎
同	正七位勳六等功五級	黑田要一郎
同	正八位	原壽男
同	從七位勳六等功五級	鈴得巖
同	從七位	塚田國一郎
同	從七位勳六等	江幡保男
木杯一箇	從七位	高橋英
同	勳八等	根本宗壽
木杯一組	從七位勳八等	柴田郁太郎
同	從七位	佐藤基浩
同	同	矢島順一
同	同	前原太郎
木杯一箇	正八位勳六等	篠三郎
同	正八位勳五等	高堀長之介
同	從七位勳六等功七級	小川辰之介
木杯一組	從七位	細田延一郎
同	從七位勳六等	栗岩壽作
木杯一箇	同	長尾源一郎
同	同	羽生田俊次
同	從七位	谷川清
同	從七位勳六等	宮本俊雄
同	勳七等	檀原靄
同	勳六等	伊藤好之助
同	勳七等	村上金三郎
同	正八位	黑澤昌弘
同	從七位	本田俊一
同	正八位	荻原龜吉
同	同	中田三雄
同	同	高野正衛
同	勳七等	中島源吾
同	正八位	林忠志
同	從七位	中原謹司
同	同	猪瀨忠男
同	從七位勳六等	粉川幸之介
同	正八位	藤井伊右衞門
同	從七位勳五等	倉田多吉
同	正八位	深澤巖
同	從七位勳六等	青木米治郎
同	勳六等	山崎善三郎
同	正八位	關將市
同	勳七等	三代澤正雄
同	勳八等	横田彥一
同	從七位勳六等功五級	青木賢一郎
同	從七位	伊藤駒之亮
同	正八位	土橋安次
同		大島太平
同		佐藤淺雄
同	勳七等	大河原福三郎
同	同	倉科今朝義
同		本間貞喜
同	勳八等	石原與平
同	勳七等	水谷甚一
同		加藤喜一郎
同		野口金一郎
同		小林公平
同		西牧顯武
同		土屋學志
同		丸山嘉一
同		大月義廣
同		櫻井喜子七
同	勳七等	小澤勝三郎
同	勳七等功七級	下田史郎
同		中澤多計治
同		荻原脩作
同		新井種一郎
同		宇都木辨藏
同		山口晨一郎
同		鈴木壽三郎
同		古屋安正
同		五十嵐松太郎
同		船山大吉
同		堀與志雄
同		小島清種
同		石北弘一
同		森益吉
同	勳八等	野口豐吉
同	同	天田仙藏
同		高橋龜尾
木杯一組		吉村禎三
銀杯一箇	正五位勳三等功五級	速水約藏
同	從五位勳四等功四級	岡吉長
木杯一箇	正八位	船橋新助
銀杯一箇	從六位勳五等	伊藤文喆
同	正八位	矢部侶二
同	從七位	藤井源次郎
同	同	大橋理祐
木杯一組	同	辻利一
同	同	北尾半兵衞
木杯一箇		畠山久太郎
銀杯一箇	從五位勳三等功四級	中谷定之丞
木杯一組	從七位	杉本勉
同	同	木村松雄
同	從七位勳六等	田中甚一郎
同	從七位	久保久一郎
同	從七位勳五等	小杉末太郎
木杯一箇	正八位	下村淼一
同	同	長谷川幸太郎
同	從六位	今田重一郎
同	從七位	西村久之助
同	正八位	中路恒三郎
同	從五位勳四等	藤田正直
木杯一組	正五位勳三等	竹澤金五郎
銀杯一箇	從五位勳四等	東悅次郎
同	從七位	山田瀨兵衞
同	正五位勳四等	山路周倍
木杯一組	從七位	吉田秀雄
同	從五位勳四等功五級	小島酉一
同	從五位勳四等	島川羊二
同	從七位	廣瀨熊男
同	同	川村又助
同	同	濱中廣之輔
同	從七位勳六等	下村一郎
銀杯一箇	正五位勳三等	高瀨一郎
木杯一組	正七位勳六等	矢守貞吉
銀杯一箇	正五位勳三等	藤堂博文
木杯一組	從七位勳六等	水野茂助
同	正八位	莊司晋左衞門
同	同	村岡恒藏
同	正六位勳六等	林博
同	從七位	民上俊平
木杯一箇	從六位勳五等	塚本金平
同	從七位勳六等	梅本宗二郎
同	勳六等	菅尾末松
同	正八位	菱川榮男
同		東村滿三郎
同		岡澤市治郎
同	勳八等	栢本直吉
木杯一組	從七位	山邊誠一
同	同	中川義雄
同	正八位	井上平吉
木杯一箇		河合和藏
銀杯一箇	正五位勳三等功五級	小牧斧助
木杯一組	從七位	日下部五右衞門
同	同	城戶平左衞門
同	同	松田鏻太郎
木杯一箇	正八位	土屋順男
木杯一組	從七位	大畠良雄
木杯一箇		玉置知之助
銀杯一箇	從四位勳四等功四級	山下善太郎
木杯一組	正七位勳五等	小川倍平
木杯一箇		山本庄吉
木杯一組	從七位勳六等	本田仙太郎
同	從四位勳四等功五級	竹之內彥熊
同	從七位勳五等	星野和正
同	正七位勳四等	山田清八
木杯一箇	從六位勳四等	神野孝夫
木杯一組	從四位勳三等	大河內雪
木杯一箇	正八位	白石宗城
同	勳七等	近藤角五郎
同	從七位勳五等功五級	國行健輔
同		稻葉吉次郎
同	正七位勳五等	坂元林兵衞
同	勳七等	古橋吉右ヱ門
同	正八位	辻宗一
同	從七位勳七等	宮田榮之介
同	正五位勳三等功五級	橋本益太郎
同		佐伯三郎
同	勳八等功七級	杉山潤
同	正八位勳七等	阿部友三郎
同	勳八等	千明榮久
同	從七位勳六等功六級	國枝捨九郎
同	正七位勳五等功七級	石淵貫之
同		市來燊
同	正八位	內田安彌太
同		藤本領次郎
同	正八位勳七等	吉村秀治
同	從七位勳七等	横山菊吾
同		藤居濟太郎
同	正八位	日賀田捨三
同		井上勘一
同	勳七等	河村千代松
同	從七位勳七等	田村勝治
同	正八位	伊藤祐義
同	勳八等	細井光次
同	正八位	西尾海治
同	勳七等	菊地卯之助
同		下國勇
同		小谷茂
同		伊藤朗視
同	正八位勳六等	山口久吉
木杯一組	正八位	落合秀之助
木杯一箇	同	吉井次作
同		竹中韓一
同	正五位勳三等功五級	中西正
同		矢野勝次
同	從六位勳六等	岡谷修二
同		岸本吉尾
同	正八位	小野明治郎
同	正八位勳六等功六級	足立長吉
同	正五位勳三等	菊地茂七
同	勳七等	田沢貞雄
銀杯一箇	正六位勳四等功五級	嶋崎龍一
木杯一組	從五位勳五等	向井最一
木杯一箇	正八位	寺尾令吉
同	從七位	山名松太郎

同	正八位	物部幸雄
同	勳七等	村田孚
同	正五位勳三等	渡邊龍
同	正七位勳五等	林唯亮
同	正八位勳六等	千葉喜千彌
同		松宮榮三郎
同	正八位	伴康衞
同		龜田常次
同	正六位勳四等	野坂清成
同	從七位	松永刻一
同	勳六等	高野永治
同	正八位	大島勝太郎
同	勳八等	陣之內鹿雄
同		松永政盛
木杯一組	正六位勳五等	小栗直臣
木杯一箇	勳八等	西村哲次郎
同	同	樋口千太郎
同	勳六等	佐藤三郎
同	正七位勳六等	小島準一
同	正六位勳五等	青山貞次郎
同	勳八等	西田竹次郎
同	正八位	熊谷巖
同	同	原口一二
同	從七位勳六等	安井大之助
同	正七位勳五等	芦田定男
木杯一組	從七位	迫間一男
木杯一箇		中村高次
同		大場金藏
同		大嶋芳輔
同		角永金助
同	從七位	高橋清次
同	正七位勳五等	田代虎太
同	正八位	迫間秀雄
同		河野政男
同		青柳直臣
同	從七位勳六等功七級	岡田豐虎

賞賜	海軍官等位勳功爵	氏名
金杯一箇	從三位勳一等功四級	中野直枝
銀杯一組	從四位勳二等	向田金一
銀杯一箇	同	植村信男
同	正四位勳二等功四級	飯田久恒
同	從三位勳一等功五級	大谷幸四郎
同	從三位勳二等功五級	鳥巢玉樹
同	正五位勳三等	中村寬
同	同	池田敬之助
同	同	佐藤恕
同	子爵 正三位勳三等功五級	田村丕顯
木杯一箇	正七位勳五等功七級	伊藤淸五郎
木杯一組	從五位勳四等功五級	山口一治
銀杯一箇	正五位勳三等	中村熊三
同	從四位勳二等功五級	保坂孝太郎
同	正五位勳三等功五級	井手元治
木杯一組	從五位勳三等功四級	武久晴完
同	同	藤岡忠次郎
銀杯一箇	正五位勳三等功四級	市村潔
同	從五位勳三等	小澤孝一
木杯一組	從七位勳六等	西尾鉦太郎
銀杯一箇	正五位勳三等	幸田次三郎
木杯一組	從五位勳四等	釣谷秀俊
同	正五位勳三等	細川英太
同	從五位勳四等	一ノ瀨倚熊
同	從五位勳四等	田中照彥
同	正六位勳五等	立花安藏
銀杯一箇	正五位勳三等功五級	香田[illegible]
木杯一組	從六位勳五等	庄野平左衞門
銀杯一箇	正五位勳四等功七級	緒方三郎
木杯一組	從六位勳五等功五級	山本雅一
銀杯一箇	從五位勳四等功六級	安田直正
同	從六位勳五等	鮫島香
木杯一組	從六位勳四等	田口廣當
銀杯一箇	正五位勳三等	北村榮虎